

はじめに

このたびは、委託業務積算システム Ver7 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めの委託業務積算システムVer7を正しく使っていただくために、まず『委託業務積算システム Ver7 操作マニュアル』をお読み下さい。

この操作マニュアルは、お客様の本システムに対する理解をより一層深めることを目的としております。 本システムを初めてご使用になるお客様は、本書の手順通りに操作してみて下さい。

今後、この操作マニュアルはお客様が本システムを末永くご使用していただくための辞書代わりにして 頂ければ幸いです。

開発スタッフ一同

尚、製品の仕様に変更があった場合、製品と本書の内容の一部が異なる場合がありますので、ご容赦 願います。

※最新の情報は弊社ホームページにありますので、そちらをご参照下さい。

http://www.gi-r.com/survey/operation.html

【使用許諾条件】 本ソフトウエアを使用するに際し、下記使用許諾条件をよく御理解のうえご使用願います。 万一、この使用許諾条件に不服のある場合は、本製品の使用は認められません。 本ソフトウエアの使用は1台のパソコンに限らせていただきます。 有償・無償に関わらず第3者に貸与、頒布することは禁止します。 本ソフトウエア及び、操作マニュアルの一部または、全部をバックアップ以外の目的で無断複写 することは禁止します。

本製品を運用したいかなる結果についても、販売元・開発元の両者は責任を負わないものとします。

本書の構成

第1章 システムの特徴

1.1 委託業務積算システムVer7の特徴

- 第2章 システムの組込
 - 2.1
 動作要件

 2.2
 セットアップ(インストール/アップデート)

 2.3
 起動確認

 2.4
 ライセンスキーの登録方法
- 第3章 初めてお使いになる場合は

<u>3.1</u>システムの起動方法 3.2システム情報・自社情報の設定

- 第4章 新規見積書の作成
 - 4.1
 新規見積書の作成・編集

 4.2
 見積提出先の登録・選択

 4.3
 業務件名の登録・選択

 4.4
 業務工種の登録・選択

 4.5
 見積書の作成・編集
- 第5章 既存見積書の編集
 - <u>5.1</u> 既存見積書の呼び出し <u>5.2</u> 既存見積書の編集
- 第6章 総括表の作成

6.1総括表の作成6.2総括表の編集

- 第7章 応用編
 - 7.1
 業務の登録・編集

 7.2
 単価セットの登録・編集

 7.3
 変化率(補正率)セットの登録・編集

 7.4
 各種経費率セットの登録・編集

 7.5
 システム情報・自社情報の設定

 7.6
 お客様独自の見積書表紙の作成

 7.7
 低入札調査価格の設定

 7.8
 バージョン・アップデート情報/ヘルプ
- 第8章 操作に関する、よくある質問(説明箇所へのリンク)

8.1 操作に関するよくある質問

第9章 エラーとその対処

<u>9.1 エラーとその対処</u>

後書き

<u>後書き</u>

※青色下線の部分をクリックするとその章にジャンプします。

第1章 委託業務積算システムVer7の特徴



1. 高いコストパフォーマンス

SurveyPlanは使いやすい豊富な機能で98,000円(税込)



を

バージョンアップ料金は年1回のみ、定価の**10**~20% もう高いシステムを購入する必要も、毎年高い更新料を払う必要もありません。

Ver7ではこれまでのお客様のご要望をさらに取り入れ、大幅に機能アップしました。

さらに<mark>ネットワーク対応!</mark>1台購入して頂ければ、ネットワーク(LAN, WAN)接続環境にある パソコンは何台でも無料で使用出来ます。

高価な他社ソフトと機能を比較してお選びください!

Survey Plan の機能を他社のシステムと比較していただければ、Survey Plan コストパフォーマンスの高さ おわかりになっていただけると考えます。

積算システムの導入はこれからの時代には欠かすことができません。 ぜひ、この機会に Survey Plan の新規導入、他システムからの移行をご検討ください。

2. 誰にでもすぐできる簡単操作

画面のガイダンスに従い、設計書を見ながら項目を選択し、数量・変化率を入力設定するだけで、



積算システムを使用すれば、積算はもはや特殊な技術ではありません。(多少の操作方法や機能の違いはあり ますが、)どのようなシステムを選択しても、設計書を見ながら見積項目を選択し、数量や変化率を設定するだ けで誰にでも同じ積算結果を算出することができるはずです。

- 4 -

3. 委託業務のほとんどを標準でサポート

測量	基準点測量/水準測量/平板測量/路線測量/河川測量/深浅測量/用地測量/流量 観測/成果品検定料
補償調査	権利調査/建物等の調査/営業その他の調査/予備調査/移転工法の検討/事業認定 申請図書作成/再積算業務/土地評価/補償説明業務/消費税等調査/物件調書作成 /工損調査
国土交通省 設計	道路設計/交差点設計/道路休憩施設設計/歩道詳細設計/道路設計関係その他設計 等/一般構造物設計/橋梁設計/地下横断歩道設計/トンネル設計/共同溝設計/電 線共同溝(CCBox)設計/仮設構造物詳細設計/河川構造物設計/砂防施設設計
農林水産省 設計	頭首工/ポンプ場/水路工/ほ場整備/畑地かんがい施設/農道/積算参考資料作成 /ため池改修/コンクリートダム/フィルダム/営農飲雑用水施設/渓流取水工/小 電力発電所
国土交通省 調査	道路環境調査/洪水痕跡調査/河川空間水辺調査/河川空間利用実態調査/生物調査 /ダム湖版生物調査/河川調査/道路施設点検業務/橋梁定期点検
農林水産省 機能診断	機能診断/基本調査/機能保全対策
空中写真測量	空中写真測量
地質調査	土質ボーリング/岩盤ボーリング/サンプリング/サウンディング/原位置試験/オ ーガーボーリング/土木調査ボーリング/孔内計測/孔内試験/CBR試験/土質試験 /岩石試験/現場内小運搬/足場仮設/弾性波探査/軟弱地盤技術解析/地すべり調 査/水文調査/物理検層
農林水産省 用地調査	権利調査/土地の測量/登記資料収集整理/建物等調査/営業その他調査/予備調査 /移転工法案の検討等/再算定業務/土地評価/補償説明/事業損失/費用負担の説 明/環境調査/事業認定/物件調書の作成/保安林解除等/完了図書の作成/内水面 漁業権等調査
上水道設計	開削工法/推進工法/シールド工法/水道橋/配水池/ポンプ場/浄水場/震災対策 用貯水施設/震災対策用応急給水施設
下水道設計	下水道基本構想/公共下水道全体計画/下水道法による事業許可設計/都市計画決定 図面作成/都市計画事業許可申請図書作成/管渠設計/ポンプ場設計/終末処理場設 計
土地区画整理	土地区画整理事業調査/事業計画/換地設計/移転・工事設計/換地計画・換地処分 等/管理
地籍調査	地上法(C行程,D行程,E行程,F行程,G行程,H行程)/航測法/併用法/数值情報化/地籍集成図/都市再生地籍調查事業
国土地理院 基本測量	基準点測量/精密測地網高度地域基準点測量/精密辺長測量/ジオイド測量/電子基準点付属金属標取付観測/水準測量/精密基盤傾動測量観測/空中写真測量/デジタルオルソ作成/地図修正/地図調整/数値地図作成/数値地図修正/地図複製/基準点維持/基準点現況調査作業/基準点測量(セミダイナミック補正)/水準点水平位置決定作業/都市再生街区基本調査(土地活用促進調査)/電子基準点現地調査作業
都市再生機構 (UR都市機構) 測量作業	基準点測量/水準測量/平板測量/方眼測量/空中写真測量/境界測量/路線測量/ 確定測量/用地確定測量
NEXCO (旧道路公団) 委託業務	測量/土質地質調査/環境関係調査/設計/試験/維持関係調査・設計等/参考基準
防衛省 設計業務	駐屯地等基本設計/特別地区基本設計/飛行場基本設計/道路基本設計/水道施設基本設計/雨水排水基本設計/汚水排水処理基本設計/用地造成実施設計/飛行場施設 実施設計/排水施設実施設計/給水施設実施設計/港湾施設実施設計/河川海岸施設 実施設計/燃料貯蔵施設実施設計/爆薬貯蔵施設実施設計/環境整備実施設計/防災 施設実施設計/建物付帯土木工事実施設計/単独構造物実施設計
(独)森林総合研究所 林道工事測量・建設 コンサルタント 委託業務	地表・地質等調査業務/調査測量設計業務/設計業務/林道環境調査業務

港湾局 委託業務	計画·開発/予備設計/基本設計/詳細設計/実施設計/測量業務/水域環境調査業務/環境生物調査業務/磁気探査業務/潜水探査業務/土質調査業務
国交省 発注者支援業務	 ・用地補償総合技術業務 ・用地関係資料作成整理等業務 ・技術審査業務、工事監督支援業務、積算技術業務 ・事業計画業務 ・施工段階確認業務 ・ダム管理支援業務 ・道路情報管理業務 ・道路許認可審査・適正化指導業務 ・特殊車両事務業務 ・河川巡視支援業務 ・河川巡視支援業務 ・堰・排水機場管理支援業務 ・堤防等点検支援業務 車両管理業務
日本治山治水協会治山事業調査業務	一般調査(ボーリング、弾性波等)/地すべり調査・解析/山地治山等調査・解析/ 保安林管理道調査/流域別調査/渓間工測量・設計/山腹工測量・設計/海岸防災造 林造成測量・設計
日本林道協会 林道工事調査等業務	一般調査(ボーリング、弾性波等)/路線全体計画調査/地区全体計画調査/二車線 林道測量/一車線林道測量/保安林調査/二車線林道設計/一車線林道設計

※市場単価、市場材料費等を使用している場合があります。 ※市場単価、材料費等は地域/時期によって異なります。 ※市場単価、材料費、機械経費、損料等は各地域の最新のデータをご使用下さい。 ※未設定の市場単価、市場材料費もありますので、ご確認の上、お願い致します。

※積算したい工種がみつからない場合、工種名称を入力する事により業務工種を検索できます。

- << 上記以外の業務が必要な場合は、お客様が新規に追加することができます >>
 - 4. 多様できめ細かな見積書の作成が可能

積算熟練者の方にも満足出来る、高度で豊富な機能をそなえています。

- ① お客様独自の見積書表紙を作成出来ます。
- ② 見積書毎(提出先毎)に単価セットの選択が出来ます。
- ③ あらかじめ標準で登録されている単価/単価セットの編集/追加/複写が自由に出来ます。
- あらかじめ標準で登録されている業務の編集/複写が自由に出来ます。 (4)
- <u>) あらかじめ標準で登録されている変化率(補正率)セット、各種経費率セットの編集/追加/複写が</u> 自由に出来ます<u>。</u> (5)
- ⑥ 調査価格及び低入札価格の設定が出来ます。
- ⑦ 既存見積書(以前に作成した見積書)の再編集が容易に、確実に出来ます。

・見積書の保存により、お客様が編集/選択等を行った全ての情報を自動的に保存し、次に呼び出しを 行った際に完全に再現します。

- 新規見積書作成の場合は常にまっさらな初期状態から作成できます。
- 5. 多彩な帳票出力が可能
 - ① 通常プリンタ、Excelファイル、PDFファイルへの帳票出力が可能。
 - 全ての積算データの印刷が可能。

 - ・見積書表紙、 ・見積内訳書 ・変化率内訳表 ・単価表

 - ・代価表
 - ・変化率(補正率)一覧表
 - ・安全費率一覧表 ・冬期補正率一覧表
 - ·各種経費率一覧表

 - ・総括表

第2章 システムの組込

- 2.1 必要システム構成
- OS WindowsX p (32ビット)、WindowsVista(32ビット)、Windows7 (32ビット/64ビット)、 Windows8 (32ビット/64ビット) ※64 ビット版WindowsX p、iMdowsVistaには対応していません。
- CPU/メモリ お使いのOSが推奨する環境以上 ※CPUの能力が低いあるいはメモリ容量が少ない場合、作業に時間がかかる場合 があります。
- ハードディスク 10GB以上の空き容量が必要です。 ※見積書保存数の増加により必要容量が増加します。
- 2.2 セットアップ(インストール/アップデート)

① I E (インターネットエクスプローラ) で下記のホームページアドレスを開きます。

http://www.gi-r.com/survey/setup/setup.html

② **START** ボタンをクリックします。

ダウンロード/セットアップ

●セットアップ/インストール方法はこちら。

●アンイストール(削除)方法はこちら。

ダウンロードによる料金(試用期間経過後も使用して頂ける場合)

・平成26年1月1日以降にご購入/有料バージョンアップのお客様:無料

- ・バージョン7.1以上のお客様:無料(ライセンスキーの再登録不要)
- ・バージョン6.0以上のお客様:¥18,000-(税抜)
- ・2台目以降購入のお客様:¥47,000-(税抜)
- ・新規ご購入のお客様:¥94,000-(税抜)
- ・乗り換え/2台目キャンペーン購入のお客様:¥64,000-(税抜)
- ※CDによるご購入の場合は上記金額に¥2,000(税抜)-追加

▲ページTOPに戻る

ダウンロード(ヤットアップ)開始 -->> START

ソフトウェア使用許諾条件

本ソフトウェアを使用するに際し、下記使用許諾条件をよく御理解のうえご使用願います。 万一、この使用許諾条件に不服のある場合は、本製品の使用は認められません。

・本ソフトウェアの使用は1台のパソコンに限らせていただきます。

・有償・無償に関わらず第3者に貸与、頒布することは禁止します。

③「www.gi-r.comからSurveyPlan7-SetUp.EXEを実行または保存しますか?」が画面下に表示 されたら「実行(R)」をクリックします。



	本ソフトウェアを使用するは 万一、この使用許諾条件は	こ際し、下記使用許調 こ不服のある場合は	若条件をよく御理解 、本製品の使用は言	のうえご使用願います。 忍められません。	
78% / SurveyPlan7	-SetUp.EXE ダウンロード済み	一時停止(<u>P</u>)	キャンセル(<u>C</u>)	ダウンロードの表示(⊻)	×

④「SurveyPlan7-SetUp.EXEはダウンロードしたユーザーの人数が少ないため、コンピュータに問題を起こす可能性があります。」が画面下に表示されたら、「操作(A)」をクリックします。



⑤「このプログラムは、コンピュータに問題を起こす可能性があります」が表示されたら、 「実行」をクリックします。



⑥「ユーザーアカウント制御」が表示されたら「はい(Y)」をクリックします。



※ ご使用のウィルス対策ソフトウェアによっては、ダウンロードや実行により警告が表示される場合が あります。 その場合は、ファイル名、ダウンロード元等を確認の上「開く」、「実行」、「許可」等をクリック

して下さい。

? × 不審なファイル
安全のため、危険性を判定できないファイルをブロックしま した。信頼できるダウンロード元からのファイルのみ開いて ください。
ファイル名: SurveyPlan7-SetLp.EXE ン: ダウンロード元: http://www.gi-r.com/
ок
クリック! 開く ファイルの削除
🥏 TREND ウイルスバスター クラウド

⑦「WindowsによってPCが保護されました」が表示されたら「詳細情報」をクリックします。





⑨「SurveyPlan7 セットアップ」が表示されたら、セットアッププログラム解凍フォルダーを指定して下さい。

初期値の「C:¥SurveyPlan7」で良い場合は「OK(O)」をクリックします。

※フォルダーを変更する場合は「参照(B)」を クリックします。

SurveyPlan7.1.1 セットアップ	×
セットアッププログラム解凍フォルダー	
"C:¥SurveyPlan7"	参照(<u>B</u>)
□ スタートメニューに登録(S)	
□ 関連付け(A)	
OK(<u>0</u>) キャンセル	↓(<u>C</u>)

⑩ 既にSurveyPlan7がインストールされていた場合は自動削除処理を行います。

Window	vs インストーラー		
	削除の準備中		
		*	

①初めてSurveyPlan7をインストールする場合は、次のようなコンポーネント(マイクロソフトの 追加ソフトウェア)のインストールを行う画面が表示される場合があります。

「同意する(A)」をクリックし、画面の指示に従ってインストール処理を行って下さい。

👸 SurveyPlan7 セットアップ 🛛 🛛 🗙	
インストールするコンポーネント:	
.NET Framework 3.5 SP1	
 次のライセンス条項をお読みください。PageDown キーを使ってスクロールしてください。	
マイクロソフト ソフトウェア 追加ライ 🇯 センス条項	
MICROSOFT .NET FRAMEWORK 3.5 SP1 FOR MICROSOFT WINDOWS	
「 「 印刷用のライセンス条項 (MSLT) を表示する ライセンス条項に同意しますか?	
同意しない] を選ぶとインストールを中止します。インストールするには、この契約に同意 してください。	
——— 注記 ———	
コンポーネント(.NET Framework 3.5 SP1)のイン WindowsLpdate が正常に行われていないなどの理由により、まれにインス も終了しない場合があるようです。	バストールに於いては、 トールがいつまで経って
その場合は一旦パソコンを終了・再起動しインターネットから 「Microsoft .NET Framework3.5 Service Pack 1」をインストールして下さ	<u>د</u> ري.
「Microsoft . NET Framework3.5 Service Pack 1」はインターネットでその 次のURLを入力して下さい。	の文字列で検索するか
http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=22	
「その他の推奨ダウンロード」が表示された場合は「ダウンロードせずに; 下さい。	続けます」を選択して

インストールの際、○修復/○削除の選択が表示された場合は一旦、◎削除を選択して、再度イン ストール処理を行って下さい。

⑫初めてSurveyPlan7をインストールする場合は、次のようなコンポーネント(マイクロソフトの 追加ソフトウェア)のインストールを行う画面が表示される場合があります。

「同意する(A)」をクリックし、画面の指示に従ってインストール処理を行って下さい。



⑬「SurveyPlan7 セットアップウィザード」の画面が表示されたら「次へ(N)」をクリックします。

🚽 SurveyPlan7			
SurveyPlan7 セットアップ ウ	7ィザードへよ	うこそ	
インストーラは SurveyPlan7 をインストー	-ルするために必要	「な手順を示します	•
この製品は、著作権に関する法律および または一部を無断で複製したり、無断で 注意ください。	刈国際条約により保 複製物を頒布する。	護されています。こ と、著作権の侵害と	この製品の全部 cなりますのでご
[キャンセル	< 戻る(<u>B</u>)	<u> 次へ(N)</u> >

④「インストール フォルダの選択」が表示されたら、SurveyPlan7をインストールするフォルダを指定して下さい。
 初期値の「C:¥SurveyPlan7¥」で良い場合は「次へ(N)」をクリックします。

※フォルダーを変更する場合は「参照(R)」をクリックします。

B SurveyPlan7	
インストール フォルダの選択	
インストーラは次のフォルダへ SurveyPlan7 をインストールします。	
このフォルダにインストールするには「次へ」をクリックしてください。別の ルするには、アドレスを人力するかに参照」をクリックしてください。)フォルダにインストー
フォルダ(E):	
C:¥SurveyPlan7¥	参照(<u>R</u>)
	ディスク領域(<u>D</u>)
キャンセル く戻る(日) 法へ(N) >

⑮「インストールの確認」が表示されたら「次へ(N)」をクリックします。

-	BurveyPlan7
	インストールの確認
	SurveyPlan7 をインストールする準備ができました。
	[次へ]をクリックしてインストールを開始してください。
1	
•	キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) >

⑥「インストールが完了しました。」が表示されたらセットアップ/インストール処理は終了です。
 ディスクトップにSurveyPlan7のアイコン
 が作成されます。

BurveyPlan7	x
インストールが完了しました。	3 ~
SurveyPlan7 は正しくインストールされました。	
終了するには、 [閉じる] をクリックしてください。	
Windows Update で、NET Examplesek の垂亜な亜新があるかどうかを確認してください	
Windows Opdate で、INET Framework の単要な更利があるがとうかど確認していたでい。	
キャンセル < 戻る(B) 閉じる(C)	

- 2.3 起動確認
 - 2. 3. 1 初めてSurveyPlan7をインストールした場合。

① デスクトップにあるSurveyPlan7のアイコン をダブルクリックし、本システムを 起動します。

②試用中あるいはライセンスキー取得中の場合は「試用中(ライセンスキー取得中)」をクリック します。

ライセンスキー登録	R Contraction of the second seco
<委託業務科	清算システム(SurvevPlan7)ご試用、有り難うございます。>
この委託業務	務積算システムの試用期限は本日を含めて後 20日 です。
その後も引続	売きご使用頂ける場合は、ライセンスキーを取得して登録処理
を行って下る	きい。
ライセン	ンスキー登録処理
製品	1⊐−ド 711-23311007
5-	イセンスキー - 登録
	ライセンスキー取得方法
	試用中(ライセンスキー取得中)
	ネットワークライセンスの取得
	製品概要・特徴(ホームページ)
	購入前によくある質問(ホームページ)

③「労務単価の反映」画面が表示された場合は、ご利用の都道府県名を選択し、「全選択」を クリックします。 ※都道府県名がご使用の都道府県名と一致している場合でも必ずこの作業を行って下さい。

労務単価()	D反映				_		
		設定され 選択され	にいる都道府県 る単価セットの	見別の労 D労務単)務単価を 単価を更新	さ使用して fします。	
都道府	県別 労	務単価	東京都			-	
				ŀ			
単価セ	ミット					全選択 全選択 全解除	
選択	番号			名	称		
	1	標準単価	平成25年度				
	2	標準単価	平成24年度				
					反映実行	キャンセル	



労務単価の反映		
していた。 設定され 選択され	にいる都道府県別の労務単価を使 しる単価セットの労務単価を更新し	使用して します。
都道府県別 労務単価	東京都	•
単価セット	北海道 青森県 岩手県 宮城県	全選択 全解除
選択 番号	秋田県	
□ 1 標準単価 □ 2 標準単価	山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県	E キャンセル
	「全選択」を	クリックします。

④「反映実行」をクリックします

労務単価の	の反映						
		設定され 選択され	ている都道府! る単価セットの	県別の労 の労務単)務単価 単価を更	を使用して 新します。	
都道府	張別 労	務単価	秋田県			•	
				<mark>↓</mark>			
単価セ	ット					全選択 全選択 全解除]
選択	番号			名	称		
	1	標準単価	平成25年度				
	2	標準単価	平成24年度				
					反映実	行 キャンセル]

⑤ Surveyplan7のメインメニューが表示され、起動確認ができました。

※終了するには「委託業務積算システムの終了」をクリックします。



2.3.2 以前SurveyPlan7をインストールし、使用していた場合。 セットアップ(アップデート)後の初回起動。

① デスクトップにあるSurveyPlan7のアイコン 起動します。

💯 をダブルクリックし、本システムを

②試用中あるいはライセンスキー取得中の場合は「試用中(ライセンスキー取得中)」をクリック します。

ライセンスキー登録	R.						
<委託業務	漬算システム(SurveyPlan7)ご試用、有り難うございます。>						
この委託業務	この委託業務積算システムの試用期限は本日を含めて後 20日 です。						
その後も518 を行って下る	っさこ使用頂ける場合は、フイセンスキーを取得して登録処理 さい。						
ライセン	ンスキー登録処理						
製品	コード 711-23311007 登録						
5-							
	ニノヤシフキー即得方法						
	試用中(ライセンスキー取得中)						
	ネットワークライセンスの取得						
	製品概要・特徴(ホームページ)						
	購入前によくある質問(ホームページ)						

③「前バージョン情報の移行情報選択」画面が表示された場合は、移行したい情報を選択して「実行」 をクリックします。 ※通常「システム設定情報及び業務データを選択して移行する。」を選択します。 (注)「システム設定情報及び全業務データをユーザー定義として移行する。」を選択すると、 使用していない業務データも全て複写されデータ容量が大きくなりますのでご注意下さい。

前パージョン情報の移行情報選択
SurveyPlan Ver 7.1.1 へのバージョンアップ有り難う御座います。 前バージョン (7.1.1) でお客様が入力/編集した情報を新バージョンに移行します。 移行したい情報を選択し「実行」ボタンをクリックして下さい。
 ○ 前バージョンの情報は引き継がない。 ○ シュフェム記字/注釈(合社名笑)の3/8/5747
 ● システム設定情報(法社名寺)のが移门する。 ● システム設定情報及び全業務データをユーザー定義業務として移行する。 説明 ● システム:歌字/注釈取び学致データをユーザー定義業務として移行する。
 ● ン人テム政上IF#Q及び美防テーダを選択して移打する。 説明 実行

④「システム情報及び業務データを選択して移行する。」を選択した場合、下記の「システム設定・業務 データの選択」画面が表示されます。 移行したい、システム設定情報及び業務データを選択して、「F5:保存実行」をクリックします。

SurveyPlan Ve	er.7.1.1 - 移行する旧バージョン (7.	1.1) のシステム設定・業務データの選択	and the second se		
システム	设定				
保存選択	設定名称	日/(-	-ジョンでの設定		
V	自社情報 郵便番号	018-5601	=		
V	自社情報 住所1	秋田県大館市十二所字太平117			
V	自社情報 住所 2				
V	自社情報 会社名	(株)地理情報リサーチ			
V	自社情報 部署名/役職				
V	自社情報 担当者	高橋 力			
	自社情報 電話番号1	0186-52-3753	①クリック		
		保存運動			
244 / TE "					
単個テージ	▶ ● 旧ハーションで追加された		ヘージョンの単価テータを移行しない		
業務デー会	9				
保存選択	見積書提出先	業務名称	業務種別		
	見積提出先1	測量 1	測量業務		
	見積提出先1	補償 1	補償調査		
	見積提出先 2	道路設計 1	道路設計		
V	見積提出先 2	地質調査1	地質調査(全地連)		
※選択された	こ業務データはユーザー定義業務	として保存されます。 保存選択	R 保存解除 全選択 全解除		
F1	F2 F3 F4	F5 F6 F7 F8	F9 F1 F11 F12		
		保存実行	終了		
処理を選択して	処理を選択してください。				
		③クリック			

⑤「労務単価の反映」画面が表示された場合は、ご利用の都道府県名を選択し、「全選択」あるいは 必要な単価セットを選択し、「反映実行」をクリックします。

※都道府県名がご使用の都道府県名と一致している場合でも必ずこの操作を行って下さい。

労務単価の	の反映	_	_	_		
設定されている都道府県別の労務単価を使用して 選択される単価セットの労務単価を更新します。						
都道府	F県別 労	務単価	秋田県		-	
				÷		
単価も	マト				全選択	全解除
選択	番号			名 称		
	1	標準単価	平成25年度			
	2	標準単価	平成24年度			
				反日	映実行 キ	ャンセル

⑥Surveyplan7のトップメニューが表示され、アップデート後の起動確認ができました。

※2「既存見積書の呼出・編集」及び6「システム情報・自社情報の設定」で以前に作成・編集 したデータが移行されている事を確認して下さい。



-- 単価の移行条件 -

システムで予め用意されているシステム単価に関しては、旧バージョンで変更を行った単価データを、新バー ジョンに移行する事は出来ません。

お客様が変更した単価をその後のバージョンに移行するには次の2つの方法があります。

(1)単価セットの複写

トップメニューの「単価セットの登録・編集」でシステムで予め用意されている基本単価(属性がシステム単価)を「F8:セット複写」により複写し、ユーザー単価(属性)となった単価セットを変更(編集)して下さい。

~~。 複写/追加されたユーザー単価セットは新バージョンでもそのまま使用出来ます。

(2)単価の複写あるいは追加

、システムで予め用意されている基本単価セットでも、「単価項目の登録・編集」画面の「F5:項目追加」あるい は「F7:項目複写」により、追加/複写された単価については新バージョンに移行出来ます。

システムで予め用意されている基本単価セットの中で変更した単価を新バージョンにも移行したい場合は、追 加あるいは複写を行ってから、その単価項目を編集して下さい。

追加/複写した単価項目は「業務工種の登録・選択」画面の「F2:代価編集」でその単価項目を編集し直す必要があります。

ユーザー単価セットの内容はバージョンアップにより「技術者単価」を更新出来ません。 その場合はお客様ご自身でユーザー単価セットの「技術者単価」を更新して頂く必要があります。

バージョンアップにより「技術者単価」を更新したい場合は、上の説明のように、システムで予め用意されて いる基本単価セットの単価の複写あるいは追加により「技術者単価」以外の単価の変更を行って下さい。 2. 4 ライセンスキーの登録

・試用中あるいはライセンスキー取得中の場合は「試用中(ライセンスキー取得中)」をクリック します。

・ライセンスキーを登録していないお客様で試用期限(20日)を過ぎて、その後も引続きご使用 頂ける場合は、ライセンスキーを取得(購入)し て登録処理を行う必要があります。

ライセンスキー登録
<委託業務積算システム(SurveyPlan7)ご試用、有り難うございます。>
この委託業務積算システムの試用期限は本日を含めて後 20日 です。
その後も引続きご使用頂ける場合は、ライセンスキーを取得して登録処理
を行って下さい。
ライセンスキー登録処理
製品コード 711-23311007
ライセンスキー - 登録
ライセンスキー取得方法
試用中(ライセンスキー取得中)
ネットワークライセンスの取得
製品概要・特徴(ホームページ)
購入別によくのる貝问(小一ムハーン)

2. 4. 1 ライセンスキーの取得(購入)方法

画面に表示されている製品コードをメモの上「ライセンスキー取得方法」をクリックします。

- ※ 製品コードはインストールしたパソコン及びバージョンによって異なります。
- ※ ライセンスキーを取得したら、そのライセンスキーを入力して「登録」ボタンをクリックします。
- ※ ライセンスキー登録後は、「ライセンスキー登録」画面は表示されません。

②インターネットに接続出来る場合は「インターネットで取得申込みする場合は、ここをクリック」 ボタンをクリックして下さい。

http://www.gi-r.com/survey/maila ppl.php

ライセンスキー取得方法
「ライセンスキー取得方法
1、製品コード、会社名、氏名、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスを
もれなく記入して下記のメールアドレスあるいはFAX番号に送信して下さい。
メールアドレス info@gi=r.com
JFAX番号 J0180-52-2313
インターネットで取得申込みする場合は、ここをクリック。
※販売店からご購入の場合は、販売店にお申込みください。
※購入申込みされていない(請求書をお持ちでない)お客様には請求書を送付させて 頂きます。
3、諸求書に記載された振込先に諸求金額をお振込下さい。
※お振込手数料はお客様のご負担でお願いします。
4、ご入金を確認次第、ライセンスキーを電子メールかFAXにてご連絡差し上げます。
※ご入金頂いても、製品コードをお知らせ頂かないと、ライセンスキーが発行出来ません。
必ず製品コードをお知らせ下さるようお願い致します。
1、無償あるいは有償バージョンアップされた場合も新しいライセンスキーが必要となる
場合があります。
2、別のハソコノに本見積ンステムを1フストールする場合、別述ライセンスキーか 必要となります。(50%実际)
※1、2の場合共、その旨電子メールかFAXでご連絡下さい。
ΟΚ

※ メールあるいはFAXで取得申込みする場合は<mark>製品コード</mark>、会社名、氏名、郵便番号、住所、 電話番号、FAX番号、メールアドレス(お持ちの場合)をもれなく記入して、送信して下さい。

※ 請求書を送付させて頂いていない、お客様には請求書を送付させて頂きます。

※ ご入金を確認次第、ライセンスキーを発行させて頂きます。

③IE(インターネットエクスプローラ)により下記の画面が表示されます。
 ④質問、通信欄以外の全ての項目を正確に入力し、「送信」ボタンをクリックして下さい。
 ⑤電子印鑑で捺印した請求書をメールにて送付させて頂きます。
 ⑥ご入金を確認次第、ライセンスキーをメールにて連絡させて頂きます。

測量設計等委託業務積算システム Survey Plan Ver6

ライセンス登録

SurveyPlan 6のライセンス取得/購入を行います。

質問以外の項目は必ず入力、選択して下さい。

SULVE

Plan

会社名:	(株)地理情報リサーチ
氏名:	高橋 力
メールアドレス:	info@gi-r.com (半角英数字)
郵便番号:	018-5601 (半角英数字)
住所:	秋田県大館市十二所字太平117
電話番号:	0186-52-3753 (半角英数字)
FAX番号:	0186-52-2313 (半角英数字)
使用OS:	Windows 8 👻
製品コード:	711-12345678 (半角数字及びハイフン"-")(例 1234-12345678)
質問: 通信欄:	*
	送信(りあ)

<製品コードについて>

ご購入の申込みされていないお客様には、後日電子印鑑で捺印した請求書をメールにて送付させて頂きます(通常の印鑑で捺印した請求書の郵送も可能です)。
 ご入金を確認後、ライセンスキーをメールにてご連絡いたします。

- ・アップデートの場合は、その旨通信欄でお知らせ下さい。
- ・2台目以降の申込みの場合は、その旨通信欄でお知らせ下さい。

上記内容送信先:info@gi-r.com

- 2. 4. 2 ネットワークライセンスの取得方法
- ① 「ネットワークライセンスの取得」をクリック。

<委託業務積算システム(SurveyPlan7)ご試用、有り難うございます。>
この委託業務積算システムの試用期限は本日を含めて後 20日 です。
その後も引続きご使用頂ける場合は、ライセンスキーを取得して登録処理
を行って下さい。
ライセンスキー登録処理
製品コード 711-23311007
ライセンスキー - 登録
ライセンスキー取得方法
試用中(ライセンスキー取得中)
ネットワークライセンスの取得
製品概要・特徴(ホームページ)
購入前によくある質問(ホームページ)

②「参照」をクリックして、既にライセンスキーを取得しているSurveyPlan7をインストールしたフォルダーを指定して下さい。

ネットワークライセンスの取得
ネットワークライセンス取得条件
1. 社内の別のパソコンで既にSurveyPlan7のライセンスキーを取得している事。
 ライセンスキーを取得しているパソコンとLAN(ローカルエリアネットワーク)で つながっている事。
3. ライセンスキーを取得しているパソコンにインストールされたSurveyPlan7のフォルダーを このパソコンから参照出来る事。
ライセンスの取得
SurveyPlan7のライセンスを取得したパソコンのインストールフォルダーを指定(参照) してください。
¥¥OPT790¥SurveyPlan7 参照
※ 通常はCドライブの「¥SurveyPlan7」というフォルダーにインストールされます。
※ 他のパソコンからネットワークライセンスを取得する為には、「ネットワークのファイルと フォルダーの共有」により、SurveyPlan7のライセンスを取得したパソコンのインストール フォルダーを共有に設定しておく必要があります。
注記
※ インストールフォルダーに関してのサポートは出来かねます。
※ ネットワーク/セキュリティに関してのサポートは出来かねます。
戻る 完了

③「完了」をクリックします。



④ネットワークライセンスを確認出来れば、SurveyPlan7が起動します。

⑤次回からの起動時には、下記画面が表示されます。

⑥「ネットワークライセンス取得済み」ボタンをクリックします。

ライセンスキー登録
<<委託業務積算システム(SurveyPlan7)ご利用、有り難うございます。
ライセンスキー登録処理 製品コード 711-23311007 ライセンスキー -
ライセンスキー取得方法 試用中(ライセンスキー取得中)
ネットワークライセンス取得済み
製品概要・特徴(ホームページ)
購入前によくある質問(ホームページ)

⑦もしネットワークが切断されていたり、既にライセンスキーを取得しているパソコンが起動されて いない場合は下記ようなメッセージが表示されます。

⑧「OK」ボタンをクリックして、再度ネットワークライセンス取得処理を行って下さい。

ネットワークライセンス確認失敗
 ネットワークライセンスが確認出来ません。 再度ネットワークライセンスの取得を行って下さい。 (※ネットワークが切断されている可能性があります。)
ОК

2.4.3 SurveyPlan7のライセンスを取得したパソコンを他のパソコンからネットワーク ライセンスを取得出来るようにする為の共有設定の方法。

①SurveyPlan7のライセンスを取得したパソコンのSurveyPlan7のインストールフォルダーのプロパティを開きます(右クリック)。

📜 SurveyPlan7のプロパティ
全般 共有 セキュリティ 以前のバージョン カスタマイズ
ネットワークのファイルとフォルダーの共有
SurveyPlan7 「」 共有されていません
ネットワーク パス(N): 共有されていません
共有(S)
ます通な共有 カスタムのアクセス許可を設定したり、複数の共有を作成したり、その他の詳 細な共有のオブションを設定したりできます。
- パスワード保護
共有フォルダーにアクセスするには、ユーザー アカウントとパスワードが必要です。
この設定を変更するには <u>ネットワークと共有センター</u> を使用してください。
開じる キャンセル 適用(<u>A</u>)

②共有(S)を クリックすると下記の画面が表示されます。 共有する相手を追加する必要がある場合は矢印をクリックして追加して下さい。「Everyone」を追加 すれば全てのユーザーと共有出来ます。

よければ共有(H)をクリックします。

12 9×794 # 100	×
28 ファイルの共有	No. 2012/01/2012 10:00
共有する相手を選んでください	
名前を入力して [追加] をクリックするか	、または、矢印をクリックして相手を検索してください。
	 ✓ 追加(<u>A</u>)
名前	アクセス許可のレベル
Administrators	所有者
Serveryone	読み取り 🔻
L 共有の問題の詳細	
	○ 単有(日)

③詳細な共有(D)をクリックすると下記の画面が表示されます。 「このフォルダーを共有する(S)」の チェックボックスにチェックを入れて「OK」をクリック すれば共有フォルダーとなります。

詳細な共有	×
▼ 207ォルダーを共有する(S)	
設定	
共有名(日):	_
SurveyPlan7	•
追加(<u>A</u>) 削除(R)	
同時に共有できるユーザー数(L): 20	÷
שאטאנ <u>ס</u> :	_
アクセス許可(P) キャッシュ(C)	
OK キャンセル 適用	1

④「ネットワークと共有センター」をクリックすると下記の画面が表示されます。 ・「ネットワーク探査を有効にする。」および「ファイルとプリンターの共有を有効にする。」を 選択して下さい。

※ご使用のOSあるいはネットワークの設定により画面が異なる場合があります。

00- % «	ペネットワークと共有センター → 共有の詳細設定 マ 49 コントロール パネノ	レの検索 👂
		A
	別のネットワーク プロファイル用に共有オプションを変更します	
	Windows では、使用するネットワークごとに別々のネットワーク プロファイルが作成されます。 各プロフ ァイルに対して、特定のオプションを選択できます。	=
	ホームまたは社内 (現在のプロファイル)	
	ネットワーク探索	
	ネットワーク探索を有効にすると、このコンピューターは他のネットワーク コンピューターやデ バイスを参照することができ、また他のネットワーク コンピューターからもこのコンピューター を参照することができます。 <u>ネットワーク探索とは?</u> ◎ ネットワーク探索を有効にする ◎ ネットワーク探索を無効にする	
	ノアイルとプリンターの共有	
	ファイルとプリンターの共有が有効の場合、このコンピューターで共有しているファイルとプリ ンターは、ネットワーク上のユーザーからアクセス可能になります。	
	◎ ファイルとプリンターの共有を有効にする ◎ ファイルとプリンターの共有を無効にする	
		-
	· 愛変更の保存 キャンセル	

システムの組込に関する説明は以上です。

第3章 初めてお使いになる場合は

3.1 システムの起動方法

WindowsのデスクトップにあるSurveyPlan7のイコン をダブルクリックし、本システムを 起動します。



最初に下記画面(以下「トップメニュー」という)が表示されます

※ 下記「トップメニュー」が表示されない場合はインストール後の初回起動時ですので、その場合は 「2.3 起動確認」を参照して下さい。

💽 SurveyPlan 委託業務積算システム Ver 7.1.4.2	
見積提出先	宛名
業務件名	業務
箇所	単価
トップメニュー	
1 新規見積書の作成・編集	5 単価セットの登録・編集
2 既存見積書の呼出・編集	6 システム情報・自社情報の設定
3 総括表の作成・編集	7 / バージョン・アップデート情報/ ヘルプ/マニュアル
4 業務の登録・編集・検索	8 委託業務積算システムの終了
	E7 E9 E0 E10 E11 E12
処理を選択してください。	2014/08/25 14:18 NUM:

終了するには、「委託業務積算システムの終了」あるいは「F12:終了」をクリックして下さい。

3.2 システム情報・自社情報の設定

初めてお使いになる場合は「システム情報・自社情報の設定」の「1.自社情報の設定」「2.印刷 情報の設定」「3.システム設定」を行って下さい。

以前からSurveyPlan7を使用し、アップデート(再インストール)した場合でも各設定をを行って、 内容を確認して下さい。

また、都道府県名が設定したい都道府県名になっていたとしても、アップデート(再インストール) した場合は再度、「労務単価の反映」を行って下さい。

3.2.1 自社情報の設定

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver 7.4.2.8 - システム情報・自社情報の設定						
システム情報・自社情	報の設定					
1. 自社情報の設定 2.	印刷情報の設定 3.システム設定 4.システム復旧/バックアップ 5.データ最適化 6.編集設定					
郵便番号	018-5601					
住所1	秋田県大館市十二所字大平117					
住所 2						
会社名	(株)地理情報リサーチ					
部署名/役職						
田山王	宣婚 力					
電話番号 1	0186-52-3753					
電話番号 2						
F A X 番号	0186-52-2313					
都道府県別 労務	単価 秋田県 → 労務単価の反映 労務単価の編集					
	登録 取消					
F1 F2 F	3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12					
郵便番号を入力して下さい。	2017/04/25 09:32 NUM					

自社情報の設定

該当事項を入力し、「登録」をクリックして下さい。 入力された情報は見積書表紙に反映されます。

② 労務単価の反映

(1) 労務単価を設定する都道府県を選択します。

(2)「労務単価の反映」をクリックすると、次の画面が表示されます。

労務単価0	D反映	_	_	_		
設定されている都道府県別の労務単価を使用して 選択される単価セットの労務単価を更新します。						
都道府	県別 労	務単価	秋田県		•	
				Ŷ		
単価セ	ット				全選択 全選択 全 解除	
選択	番号			名 称		
	1	標準単価	平成25年度			
v	2	標準単価	平成24年度			
				反映	実行 キャンセル	

(3) 労務単価を設定する単価セットを選択し、「反映実行」をクリックします。

(4) 設定する労務単価は自社情報設定の「労務単価の編集」により確認/編集出来ます。

(5) 設定された労務単価はトップメニューの「単価セットの登録・編集」により確認/編集出来ます。

3.2.2 印刷情報の設定

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - システム情報・自社情報の設定
システム情報・自社情報の設定
1. 自社情報の設定 2. 印刷情報の設定 3. システム設定 4. システム復旧/バックアップ 5. データ最適化 6. 編集設定
「「「用紙設定」
サイズ A 4サイズ ▼
出力先指定 (プリンタ ・ Excel ・ PDF)
出力先 PDF ▼ プリンタの設定
出力先フォルタ [®] C:¥SurveyPlan7¥帳票保存¥
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12
2013/09/17 13:28 NUM .::

標準で使用する、用紙サイズ、用紙方向、出力先(プリンタ・Excel・PDF)、出力先フォルダー 等を設定し、「登録」をクリックします。

※1 印刷指定時にも設定変更出来ます。

※2 Excelファイルに出力するには、そのパソコンにあらかじめ Microsoft Excel 2000以上 (Windows8/7/Vista の場合はMicrosoft Excel 2003以上)がインストールされている必要があります。

※3 Excelファイルに出力する場合、既にExcelが起動されているとエラーが発生します。 Excelを使用していない状態で、Excelファイルの出力処理を行って下さい。

3.2.3 システム設定

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - システム情報・自社情報の設定
システム情報・自社情報の設定
1. 自社情報の設定 2. 印刷情報の設定 3. システム設定 4. システム復旧/バックアップ 5. データ最適化 6. 編集設定
見積項目の設定
□ 消費税項目を追加する(内訳表)
 ☑ 消費税項目を追加する(統括表) ○杭平 5.000 %
□ 冬期補正項目を追加する
◎ 安全費率項目を追加する
□ 安全費・冬期補正を外業数量で計算する
② 合計金額の改め(丸め)項目を追加する → 1万円未満丸め(切り捨て)
◎ 値引き項目を追加する
■ 見積書表紙で「件名:」、「場所:」等を印字しない (Excel オリジナル見積表紙編集用)
パスワードの設定
□ パスワードを有効にする → パスワード ****
※ 変更されたパスワードは次回起動時より有効です。
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12
2013/09/17 13:46 NUM:

1 見積書に追加する項目をチェック/選択/入力して「登録」をクリックします。
 ※見積項目の設定は「見積書の作成・編集」の「条件設定」でも変更出来ます。

② 起動時のパスワードを設定する場合は、「パスワードを有効にする」をチェックし、パスワードを入力して、「登録」クリックします。

- ※1 変更されたパスワードは次回起動時より有効です。
- ※2 パスワードの管理はお客様ご自身で行って下さい。

第4章 新規見積書の作成

- 新規見積書の作成・編集 4.1
 - ・トップメニューで「新規見積書の作成・編集」あるいは「F1:新規作成」をクリックすると下記画面 (以下「新規見積作成メインメニュー」という)が表示されます。



4.

2 見積提出先の登録・選択 ① 新規見積作成メインメニューで「見積書提出先の登録・選択」あるいは「F1:提出先」をクリック すると下記画面(以下「見積提出先の登録・選択画面」という)が表示されます。

SurveyPlan	委託業務	務積算システム	Ver.7.1.1 -	見積書提出先	の登録・選択	र					
見積提出	先見	積提出先1				宛:	名				
業務件	名選	択されていまt	th			業	務				
箇	所					単位	西				
見積害提	出先の	D登録・選択									
1 *	名 称	見積提出先	51					作成日時	2013/06/25	09:06	
3	宛 名							更新日時	2013/09/17	14:54	
1	備 考]			
:	名称	新規登録						作成日時			
5	宛 名							更新日時			
1	備 考										
	夕 ¥4							作中口味			╡ _═ ║
	白竹							TF 成口时			
3	犯名							更新日時			
1	備 考										
:	名 称							作成日時			
3	宛 名							更新日時			
1	備 考										
	名称							作成日時			i – I
,	立 名							東新日時			
	告老							24100			
		F2	E4		50		F0	50	F10 F11	E10	
名称選択	F2	F3	F4	F0 名称編生	名称追加	名称削除	1-8	F9	FIU FII	×12 終了	
処理を行う見	積書提	」 出先を選択して	ください。		<u>א-</u> א-א	1 登録数: 1	2013	/09/17 15:32		NUM	



SurveyPlan 委託業務績算システム Ver.7.1.1 - 見積書提出先の登録・選択											
	見積提出	先」	見利	責提出先1 宛名							
	業務件	名	選択	Rされていません 業務							
	箇	所		単価							
	見積書提	提出先の登録・選択									
	1	名 称	. [見積提出先1	作成日時	2013/06/25 09:06					
		宛 名			更新日時	2013/09/17 14:54					
		備考									
		名称	i [;	新規登録	作成日時						
		宛名	Ē		更新日時						
		備考	· Ē	見積書提出先の登録							
┢		名称	: [多称 新相見積提出先							
		1 · · · · 尔 名	F								
		備考	-	死名 ○×爭務所長							
╞		かい。 タ 新	. Г	備考							
		石村		作成日時 2013/09/17 16:01 F10	F9						
		夗石		更新日時 2013/09/17 16:01 変更確定	変更破棄						
╞		1佣 15	4								
		名称			作成日時						
		宛名			更新日時						
		備考				•					
ſ	F1 ∕Z≆ttiaat⊡	E	2	F3 F4 F5 F6 F7 F8	F9 I	F10 F11 F12					
h		=1 = - = +	Bul								
処理を行う見積蓄提出先を進択してくたさい。 h-リル: 1 登録数: 1 2013/09/17 16:02 NUM:											

③見積提出先の選択 見積提出先の登録・選択画面で「F1:名称選択」をクリックすると、カーソル位置(濃い水色の行) の見積提出先が選択され、画面上部の「見積提出先」及び「宛名」に選択された見積提出先の「名称」 及び「宛名」が表示されます。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - 見積書提出先の登録・選択													
見積提出	出先	新	規見積提出先				宛	名	О×	事務所長			
業務件	‡名	選	選択されていません			業務						ļ	見積書
包	氲所												
見積書	是出线	ħσ	登録・選択										
1	名	称	見積提出先1							作成日時	2013/06/25	09:06	
	宛	名								更新日時	2013/09/17	14:54	
	備:	考											
2	名	称								作成日時	2013/09/17	17:09	
	宛	名	O×事務所長							更新日時	2013/09/17	17:09	
	備:	考											
	名	称								作成日時			
	宛	名								更新日時			=
	備:	考											
	名	称								作成日時			
	扇	名								百新日時			
	備:	者								又利日时			
	A7 1									# d o d			
	石。	你 夕								11F 成口时			
	州	白							史制口时				
	加用。	75	F2	E4		F 0	F7	-	0	E0	F10 F11	E1/	
名称選択		٢Z	FJ	F4	名称編集	名称追加	名称削除	-	0	F9	FIV FII	- 12 終了	
						<u>מ</u> -אוי:	2 登録数:	2	2013/	09/18 16:46		NUN	4:
④見積提出先の編集 見積提出先の名称、宛名等を変更したい場合は「F5:名称編集」をクリックして編集して下さい。
⑤見積提出先の削除

〕見積提出先を削除したい場合は、「F7:名称削除」をクリックして下さい。



⑥見積提出先の登録・選択の終了 見積提出先の登録・選択を終了したら「F12:終了」をクリックして下さい。 新規見積作成メインメニューに戻ります。

4.3 業務件名の登録・選択



① 新規見積作成メインメニューで「業務件名の登録・選択」あるいは「F2:業務件名」をクリック すると下記「業務件名の登録」画面が表示されます。

業務件名の登録	
提出先	4 新規見積提出先 →
業務件名	
業務箇所	
担当者名	
見積条件	
作業期間	2014 / 08 / 25 選択 ~ 2014 / 08 / 25 選択
業務	1 測量業務 測量業務 🗸 🗸
単価セット	1 標準単価 平成26年度 🗸 🗸
提出日	2014 / 08 / 25 選択 日抜き
作成日時	2014/08/25 15:18 F10 F9
更新日時	2014/08/25 15:18 変更確定 変更破棄

- ② 業務件名
 業務件名を入力します。
 入力された業務件名は見積書表紙に印字されます。
 ※業務件名は必須項目です。
- ③ 業務箇所 業務箇所を入力します。 業務箇所が入力されていた場合、見積書表紙に印字されます。
- ④ 担当者名 担当者名を入力します。
- ⑤ 見積条件 見積条件入力します。 見積条件が入力されていた場合、見積書表紙に印字されます。
- ⑥ 作業期間 作業の年月日を直接入力するか、選択ボタンによりカレンダーから選択します。

🖷 日代	の選	R					×
							選択
4		20	13年9	月		►	++>/2/L
日	月	火	水	木	金	±	
25	26	27	28	29	30	31	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	1	2	3	4	5	
							L
開始	日付	2	013/	09/	20		-
MUNH				0.07			

作業期間の開始日と終了日が異なる場合、見積書表紙に印字されます。

 ⑦ 業務の選択 業務の箇所の下矢印 表示されます。

ボタンをクリックすると、下記のように現在登録されている業務が

見積を行う業務を選択(クリック)します。

Ŧ

	1	測量業務	測量業務	-
	2	補償業務	補償調査	
	3	土木設計	道路設計	
	4	土木設計	交差点設計	
	5	土木設計	道路休憩施設設計	
	6	土木設計	歩道詳細設計	
	7	土木設計	道路設計関係その他設計等	=
	8	土木設計	一般構造物設計	
	9	土木設計	橋梁設計	
	10	土木設計	地下横断步道	
	11	土木設計	トンネル設計	
	12	土木設計	共同溝設計	
	13	土木設計	電線共同溝(CCBox)設計	
	14	土木設計	仮設構造物詳細設計	
	15	土木設計	河川構造物設計	
	16	土木設計	砂防施設設計	
	17	設計業務	頭首工	
	18	設計業務	ポンプ場	
業務件名の登録	19	設計業務	水路工・構想設計	
提出先	20	設計業務	水路工・基本設計	
	21	設計業務	水路工・実施設計	
*12111	22	設計業務	ほ場整備	
業務箇所	23	設計業務	畑地かんがい施設	
担当者名	24	設計業務	農道・基本設計	
目珠冬州	25	設計業務	関道・実施設計	
元1頁本日	26	設計業務	横算参考資料作成	
作業期間	27	設計業務	コンクリートタム	
業務	28	設計業務		
単価セット	29	設計業務	送流现水上	
4 ш сл	30	設計未労		Ŧ
提出日 2	013	/ 09 / 1	8 選択	
作成日時	2	013/09/18	17:16 F10 F9	
更新日時	2	013/09/18	17:16 変更確定 変更破棄]

使用する単価セットを選択(クリック)します。

) 単価セットの選択 単価セットの箇所の下矢印ボタン 単価セットが表示されます。

(8)

業務件名の登録	
提出先	1 見積提出先 1 🗸
業務件名	新規業務件名
業務箇所	業務箇所
担当者名	担当者名
見積条件	見積条件
作業期間	2013 / 09 / 20 選択 ~ 2013 / 11 / 30 選択
業務	3 土木設計 道路設計 🗸
単価セット	1 標準単価 平成25年度
提出日	1 標準単価 平成 2 5 年度
作成日時	2 標準単価 半成 2 4 年度 2013/09/18 18:08 F10 F9
更新日時	2013/09/18 18:08 変更確定 変更破棄

 9 提出日
 見積書提出日の年月日を直接入力するか、選択ボタンによりカレンダーから選択します。 提出日は見積書表紙に印字されます。

「日抜き」ボタンをクリックすると、提出日が空白となり見積書表紙の提出日が日抜き印字 されます。

業務件名の登録	
提出先	4 新規見積提出先 →
業務件名	
業務箇所	
担当者名	
見積条件	
作業期間	2014 / 08 / 25 選択 ~ 2014 / 08 / 29 選択
業務	1 測量業務 測量業務 ▼
単価セット	1 標準単価 平成26年度 ▼
提出日	/ / 選択 日抜き
作成日時	2014/08/25 15:20 F10 F9
更新日時	2014/08/25 15:20 変更確定 変更破棄

4. 4 業務工種の登録・選択

😭 SurveyPlan 委	託業務積算システム Ver.7.1.1 【測量業務】 *	Street States in contract of	
見積提出先	新規見積提出先	宛名 〇×事務所長	
業務件名 業	新規業務件名	業務 測量業務 - 測量業務	
箇所	業務箇所	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	
【測量業務】	業務種別の登録・選択	新規	見積作成
	見積書提出先の登録・選択	5 変化率セットの登録・編集	ŧ.
2	業務件名の登録・選択	6 各種経費率セットの登録	·編集
3	望 業務工種の登録・選択	7 ヘルプ(ホームページ)	
4	見積書の作成・編集	8 東京都会にある 10 本朝品 10 本前 10 和前 10 本前 10 本前 10 本前 10 和前	のヘルプ (ホームベ
F1 F 提出先 業務	12 F3 F4 F5 F6 件名 業務工種 員積編生	F7 F8 F9 F10 F1 変化率 経費率 ヘルプ	11 F12 终了
処理を選択してく	ださい。	2013/09/21 11:11	NUM .::

① 新規見積作成メインメニューで「業務工種の登録・選択」あるいは「F3:業務工種」をクリック すると下記「業務工種の登録・選択」画面が表示されます。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1	【測量業務】	- 業務工種の登録・選択
---------------------------------	--------	--------------

見積提出先新規見積提出先	宛名 O ×	〈事務所長	
業務件名 新規業務件名	業務 測量	業務 - 測量業務	
箇所 業務箇所	単価 標準	単価 平成25年度	
業務工種の登録・選択			
業務工種名称		作業数量	変化率
 □ []]] 量業務 □ 基準点測量 □ 水準測量 □ 現地測量 □ 平面創里 □ 平面創里 □ 部線測量 □ 部線測量 □ 二次浅測量 □ 用地測量 □ 用地測量 □ 用地測量 □ 二流量観測業務 □ 直接経費 □ 支術管理費 □ 直接経費 □ 支術接費 □ 支術接費 □ 支術接費 □ 支術経費 □ 二 調経費 □ 二 		20.000 点 100.000 Km 0.100 Km ² 0.500 Km ² 1.000 Km 10.000 Km 10,000.000 m ² 1.000 万m ² 1.000 万m ² 1.000 式 1.000 式 1.000 式 集 計 費 率 業務計	+0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000
F1 F2 F3 F4 F5	F6 F7 F8	F9 F10	F11 F12
	種追加工種削除工種複写		彩平 終了
	カーソル: 1 登録数: 558 2013	3/09/21 11:14	NUM:

② 工種選択

見積業務工種のチェックボックス 📄 をクリックするかカーソル位置で「F1:選択切替」を クリックすると業務工種が選択状態、 📝 となります。

親区分の工種の選択状態を変えるとそれに付随する子区分の工種も全て変化します。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【測量業務】 - 見積業務工種の選択・登録 *		
見積提出先 新規見積提出先 宛名 O×3	事務所長	
業務件名 新規業務件名 業務 測量業	ξ務 − 測量業務	
箇所 業務箇所 単価 標準単	鱼価 平成25年度	
見積単務工種の選択・登録		
業務工種名称	作業数量	変化率
⋼□□平面測量	0.100 Km²	+0.000 🔺
■■数値図化(写真測量)	0.500 Km²	+0.000
ᇦ	1.000 Km	+0.000
──────────────────────────────────────	1.000 業務	+0.000
──────────────────────────────────────	1.000 Km	+0.000
	1.000 Km	+0.000
□· ··· ································	1.000 Km	+0.000
──	10,000 点	+0.000
	1.000 Km	+0.000
→図IP設置測量	1.000 Km	+0.000
──────────────────────────────────────	1.000 Km	+0.000
→ 図102 B 102 直測重	1.000 Km	+0.000
──────────────────────────────────────	1.000 Km	+0.000
─────────────────────────────────────	1.000 KM	+0.000
● 計 柳 別 里 (柳 切 別 里) ■ 詳 細 測 長 (講 紙 測 長)	0.300 KM	+0.000
□ □ 〒 − − − − − − − − − − − − − − − − −	0.000 KM	+0.000
一日七幅加成進烈生	1.000 Km	+0.000
	1.000 果奶	+0.000
「「「「「「「」」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」	1.000 🗐	+0.000
□ 中间11 日 C	1.000 業務	+0.000
■□河川測量	1.000 Km	+0.000 +
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8	F9 F10	F11 F12
選択切替 代価編集 工種編集 工種追加 工種削除 工種複写 (数量変更	北率 終了
業務工種を選択してください。 カーツル: 75 登録数: 558 2013/0	09/21 11:18	NUM .::

--- 補足説明(親区分/子区分) ---
 1、親区分とはその下に更に親区分や子区分を持つ工種を言います。 工種名称の左にプラス Ⅰ が表示されている場合は、展開(表示)されていない、親区分や 子区分が存在する事を表しています。
工種名称の左にマイナス 🕒 が表示されている場合は、その親区分に付随する、親区分 や子区分が全て展開(表示)されている事を表しています。 そのプラスあるいはマイナスをクリックすると展開(表示) 非展開(非表示)が切り替わり
ます。 親区分の位置で数量変更を行うとその親区分に付随する親区分や子区分の数量も全て変更され ます。(但し単位が同じ場合)
また親区分の位置で変化率や補正率の変更を行うとその親区分に付随する親区分や子区分の 該当する変化率や補正率も全て変更されます。
2、子区分とは代価を登録出来る工種を言います。 子区分のカーソル位置で「F2:代価編集」をクリックすると、代価の確認/変更が出来ます。

③ 数量変更

「業務工種の登録・選択」画面で「F10:数量変更」をクリックすると、カーソル位置の下記 「業務工種の数量変更」画面が表示されます。

作業数量を見積数量に変更して下さい。

区分が親区分の場合はその親区分に付随する、親区分や子区分の数量も全て変更されます。 (但し単位が同じ場合)

親区分の場合

業務工種の数量変更						125	
名称: 1: 測量業務 2: └ 路線測量							
区分:	親区分						
作業数量:		1.000	Km				
標準作業量: 標準作業数量:	1km当り	1.000	Km				
					F10 変更確定	F9 変更破棄	

子区分の場合

業務工種の数量変更	6.100 Met	
名称: 1: 測量業務	务	
2: └ 路終	泉測量	
3: └ 村	黄断测量	
区分:	子区分	
作業数量:	0.500 Km	
標準作業量:	1km当り,幅60m、縦1/100,横1/100,クロソイト。曲線1ヶ所含む	
標準作業数量:	1.000 Km	
	F10 F9	
	変更確定 変更破棄	

③ 変化率(補正率) ③-1 変化率(補正率)変更

「業務工種の登録・選択」画面で「F11:変化率」をクリックすると、カーソル位置の下記 「変化率 設定」画面が表示されます。

「設定変化率名称」の各行をクリックすると、それに設定されている「選択項目」一覧が 表示されます。

変化率を設定する項目を選択して下さい。

項目を選択すると「設定変化率名称」の変化率が選択された変化率に変更されます。

区分が親区分の場合は変化率に該当する、親区分や子区分の変化率も全て変更されます。 親区分の場合

変化率 設定	
業務種別名称	
測量業務/路線測量	
設定変化率名称	設定変化率 5
変化率名称	変化率
路線測量 地域差変化率 地域区分	(六通县) +0.000
路線測量	10.000 車線数(1Km当り) +0.000
中心線測量 測点間隔変化率	+0.000
選択項目	変化率項目数 17
No 地形	地物 変化率
1 平 地 大市街	地 +1.000 _
	T T0.400 Z +0.300 =
4 平地 都市近	郊 +0.200
6 平 地 版 野	+0.200
	+0.300
9日2月20日日日四日四日四日四日四日四日四日四日四日四日四日四日四日日四日日日日日日日日	郊 +0.300 -
	F10 F9
	変更確定 変更破棄

子区分の場合

100	変化率	設定			<u> </u>	-
ſ	業務	重別名称				
ŀ	測量	業務/路線測量/橫断測量				
l	設定額	经化率名称		設定	変化率	4
1		変化率行	名称		変化率	
	路線線	則量 地域差変化率	也域区分 見地条件(交通量) 創曲線換算曲線数(1Km当り)		+0.300 +0.100 +0.200	
	禎 助)	<u>則重 測点間隔・測重幅変化率 </u> 測	前点間隔及び測量幅	ļ	-0.100	
	選択耳	自		変化率	項目数	80
l	No	測点間隔	測量幅		変化率	
l	10	Om Om	155m∼165m 165m∼175m		+1.600 +1.700	-
l	12	Qm	175m~185m		+1.800	
I	13	Om Om	185m~195m 195m~205m		+1.800 +1.900	
ł	15	Ŏm	205m~250m		+2.100	
ł	16	Um YOm	250m~300m 45m未満		+2.400	
	18	Ôm	45m以上~75m未満		+0.000	-
ſ				F10	F9	
				変更確定	変更破棄	ŧ

③-2 変化率(補正率)の数量入力

変化率(補正率)の設定方法によっては数量の入力が必要な場合があります。 その場合は下記画面のようにガイダンスに従って数量を入力して下さい。 入力された値により変化率が変更されます。 ※既定に戻すボタンをクリックする事により、数量が標準作業量に戻ります。

変化	率設定		
業	務種別名称		
測	量業務/河川測量/河川定期横断測量/直接水準(平均	也)	
設	定変化率名称		設定変化率 1
	変化率名称	ī	変化率
河	川定期横断測量 直接水準(平地) 平均	7横断幅,450~800は450と同じ	-0.250
選	択項目		変化率項目数 2
N	b 横断幅による補正の有無		変化率
	1 横断幅による補正あり		-0.250
	2 横断幅による補正なし		+0.000
			变化率积
ः म्	₽均構断 300 m 均横断幅を入力して下さい。	既定に戻すの変	F10 F9 更確定 変更破棄

③-3 現地測量(平板測量)の作業量補正について

現地測量の場合、数量(作業量)そのものを補正する作業量補正を行います。

作業量補正は耕地・平地部、1/500の標準歩掛(0.1Km当り)に対し下記補正式により 算出した補正係数を乗じるものです。

補正係数 = (y/100)

 $y = 7 4 4. 0 4 \times A + 2 5. 5 9 6$ (%) A: (Km²)

- (例1)作業量Aに標準作業量0.1Kmを入れるとy=100%、補正係数=1.00となり
 標準歩掛(0.1Km当り)をそのまま使用すれば良い事になります。
- (例2)作業数量が0.05Kmの場合、y=62.798%、補正係数=0.63となり
 標準歩掛が0.1Km当りなので、作業量を0.1×0.63=0.063Km (0.1の63%)
 と補正して標準歩掛に乗じる事になります。

※SurveyPlan7では、通常の変化率(地域、地形、縮尺)に作業量補正を加算する事は出来ないため、 変化率の数値には反映していません。 作業補正量は見積書の備考欄あるいは変化率内訳表で確認して下さい。

※地域、地形、縮尺が異なる場合は変化率を適用します。

※平板測量については、以前あった歩掛をそのまま残してありますが、現在は使用されていません。

③-4 現地測量(平板測量)の総面積補正、個別面積補正について

現地測量の作業量補正は作業場所が隣接している場合などは総面積により作業量を補正します。

総面積補正で部分的に地域、地形等が異なる場合は、「2.現地作業量補正あり(総面積補正)」を 選択し、変化率を個別に設定します。

現地測量箇所が分かれていて、場所が離れている場合などは、個々の作業箇所毎に作業量補正を行います。

その場合は変化率の設定で「3.現地作業量補正あり(個別面積補正)」を選択します。

※現地測量箇所が分かれていて、場所が離れている場合でも総面積補正を行う場合もあります。 総面積補正にするか個別面積補正にするかは発注者の考え方によります。

SurveyPl	an 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【測量業務】 - 業務工種の	D登録・選択	1. The second se	1
見積损	出先新規見積提出先	宛名 O ×	《事務所長	
業務	6件名 新規業務件名	業務 測量	業務 - 測量業務	
	箇所 業務箇所	単価 標準	単価 平成25年度	
業務コ	「種の登録・選択			
業務工	種名称		作業数量	変化率
🖃 🗷 測	量業務			<u>*</u>
]基準点測量		20.000 点	+0.000
	山水準測重		100.000 Km 0.100 Km ²	+0.000
	□见現地測量		0.050 Km²	+0.000
			0.100 Km²	+0.000
			0.100 Km²	+0.000
	変化率設定		1.00	000
÷	業務種別名称			
	測量業務/現地測量/現地測量			.000
	設定変化家名称		設定変化家	3 000
	亦化变之抗			
		パル域区分	+0.000	.000
	現地測量作業量補正 ソー(フ	744.04XA)+	25.59 +0.000	.000
				.000
				.000
	選択項目		変化率項目数	3 .000
	No 作業量補正の有無		変化率	.500 -
F1	1 現地測量作業量補正なし 2 現地測量作業量補正あり(総面積補正) 0	1 4Km²≢7?	+0.000	F12
選択切	3.現地測量作業量補正あり(個別面積補正) 0.	1 4Km まで	+0.063	終了
				NUM
<u> </u>				
1				
	面積 0.050 Kmi		F10 F9	
	※補正面積		変更確定 変更破棄	2

③-5 同じ工種で部分的に変化率が異なる場合

例えば総延長1.5Kmの路線測量で1.0Kmは平地・都市近郊、0.5Kmは丘陵地・耕地というような場合があります。

その場合は業務工種をコピーして、各々に数量、変化率を設定します。

コピーする業務工種にカーソルを移動(濃い青色)し、「F8:工種複写」をクリックします。

下記、複写の確認が表示されたら、「はい(Y)」をクリックします。

複写の確認
業務工種:現地踏査を複写します。 よろしいですか?
(はい(Y) いいえ(N)

「〇×(工種名称)を複写」という工種が出来ますので、工種名称を適当な名称に変更します。

業務工種の複写	A data and						
名称: 1: 測量業務	к Л						
2: └ 路糸	2:						
3: - 🖽	地踏査を複写						
区分:	子区分						
作業数量:	1.500 Km						
標準作業量:	1 km当り						
標準作業数量:	1.000 Km						
	F10 F9 変更確定 変更破棄						

工種名称、作業数量を変更したら、「F10:変更確定」をクリックします。

業務工種の編集	1.000 100
名称: 1: 測量業務	
2: └路線測量	
3: L 現地踏査(丘陵地・耕地)	
区分 : 子区分	
作業数量: 0.5 Km	
標準作業量: 1km当り	
標準作業数量: 1.000 Km	
	F10 F9 変更確定 変更破棄

次に各々に変化率を設定します。

変化率を設定する業務工種にカーソルを移動(濃い青色)し、「F11:変化率」をクリックします。

変化率	設定			
業務	種別名称			
測量	業務/路線測量/現地踏査(丘陵地・耕地)		
設定	変化率名称		設定変化率	2
	変化	上率名称	変化率	
路線	測量 地域差変化率 測量 恭通量変化率		+0.100	
L D døk		网络西本田 (大地里)	10.000	
				_
選択	項目		変化率項目数	17
No	地形	地物	変化率	
3	平 地 亚 地	市街地乙 都市近郊	+0.300	-
5	<u></u>	耕地	+0.000	
6	平地	原野	+0.200	≡
Ś	丘陵地	林 117 市街地乙	+0.500	
9	丘陵地	都市近郊	+0.300	_
11	丘陵地	原野	+0.300	-
			F10 F9	
			変更確定 変更破棄	E

選択項目を選択し、「F10:変更」をクリックします。

総延長1.5Kmの路線測量で1.0Kmは平地・都市近郊、0.5Kmは丘陵地・耕地とした場合の積算例は下記のようになります。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【測量業務】 - 見積業務工種の選	択・登録	*				
見積提出先新規見積提出先	宛名	O×	事務所長			
業務件名「新規業務件名	業務	測量業	ξ務 − 測量業務			
箇所 業務箇所	単価	標準単	单価 平成25年度	ŧ		
見積業務工種の選択・登録						
業務工種名称			作業数量		変化率	
ᇦ፼路線測量			1.500	Km	+0.000	
			1.000	業務	+0.000	
			1.000	Km	+0.200	
			0.500	Km	+0.100	
			1.500	Km	+0.000	
			1.500	Km	+0.000	
▲ ● ● ● 条件点観測			10.000	点	+0.000	
↓──線形決定			1.500	Km	+0.000	_
——■IP設置測量			1.500	Km	+0.000	=
			1.000	Km	+0.200	
			0.500	Km	+0.100	
──☑仮BM設置測量(平地·都市近郊)			1.000	Km	+0.200	
── 図 仮BM設置測量(丘陵地・耕地)			0.500	Km	+0.100	
→			1.000	Km	+0.200	
			0.500	Km	+0.100	
■■横断測量(平地・都市近郊)			1.000	Km	+0.200	
			0.500	Km	+0.100	
			1.500	Km 	+0.000	
			1.500	Km 	+0.000	
──□用地幅机設直測重			1.500	Km	+0.000	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			1.000	耒務	+0.000	
			1.000	未扮	+0.000	Ŧ
	7	F8	F9 F10		F11 F12	_
	削除し工権	「銀石」	数量裂		彩化率 終了	
業務工種を選択してください。 カーツル: 91 登録	数: 563	2013/0	09/21 19:02		NUM	

補足説明(変化率/補正率)
1、歩掛をその条件によって補正する場合は変化率と補正率という方法があります。 またその2つの方式のどちらも使用する場合(混合型)もあります。
 2、変化率は主に測量業務で用いられ、プラスあるいはマイナスの符号が付きます。 それぞれの変化率は加算され、最終的に1加算された値を標準歩掛に乗算します。 (例1)路線測量、横断測量の場合 地形/地目 ご平地/都市近郊 -> +0.2 交通量 道由線換算曲線数(1Km当たり) 1 20m間隔45m未満 -> -0.1
とすると合算値は+0.1、補正値は1.1となり 横断測量の積算金額は「標準歩掛金額×1.1×数量(km)」となります。
 3、補正率は農水省設計業務等で用いられ、常にプラスの値で、符号は付きません。 各々乗算した値を標準歩係に乗算します。 (例2)農道、実施設計の場合 前段設計補正 基本設計作業済み -> 0.9 地形補正 山地等で曲線が多い -> 1.2 車線数の補正 1 車線 -> 0.9 距離補正 1000m -> 1.0
とすると乗算値は0.972となり 補正工種の積算金額は「標準積算金額×0.972」となります。
4、変化率と補正率の混合型は国交省設計業務、地籍調査、上下水道設計等で用いられています。 混合型の場合、まず変化率を加算したものに1を加算し、その後補正率を乗算する事になりま
9。 (例3)橋梁詳細設計/コンクリート上部工/(RC)単純T桁工の場合 橋長補正 :12.5m ->+0.00 予備設計補正の有無 :予備設計補正なし ->+0.05 経間変化 :5経間 ->+0.20 形状変化 :バチ形(幅員方向) ->+0.30 類似構造物 :類似構造物あり -> 0.65 標準設計利用 :標準設計あるいはJIS桁を利用する場合 -> 0.60
とすると変化率加算値は0.55、1加算すると1.55となり、それに補正率を乗算すると 1.55×0.65×0.60=0.6045≒0.605 となります 補正工種の積算金額は「標準積算金額×0.605」となります。
5 、補正方法の設定はトップメニューの「F4:業務編集」により「業務の登録・編集」の「補正」 により確認出来ます。 新規に業務を作成する時以外、補正方法を変更する事は出来ません。

④ 代価編集

「業務工種の登録・選択」画面で「F2:代価編集」をクリックする事により下記「代価項目の登録・ 編集」画面が表示されます。

業務工種の代価(歩掛)を自由に変更(編集)出来ます。

お客様が編集した代価(歩掛)については、作成した見積書(「業務件名」)でのみ有効です。

トップメニューで「新規見積書の作成・編集」を選択した場合は、システムで標準で用意されている 代価(歩掛)となります。

ここで作成/編集した代価(歩掛)を今後、使用する場合はトップメニューの「既存見積書の呼出・ 編集」で今回作成した見積書(「業務件名」)を選択して下さい。

SurveyPl	jurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【測量業務】 - 代価項目の登録・編集						
見積提	見積提出先 宛名 O×事務所長						
業務	件名 新規業	转件名			業務 測量業務 - 注	則量業務	
	箇所 業務箇	前所			単価 標準単価 平	成25年度	
代価項	目の登録・	編集					
編集	業務工種 🔡	:測量調	業務-基準点測量-4級基準	準点測量-伐排	彩なし 永久標識設置な	ե	•
標準	準作業量 新,	<u> 煮35点</u> (新点170点以下)				選択種別数
標準(乍業数量	35.00	0 点 •	当り	変更書込	変更取消	1
番号	費目	属性	名称・規格	単価	 数量・単位	金額	
3	直接人件費		測量技師補	22,400	内(2.50)外(5.50) 8.00人	179,200	
4	直接人件費		測量助手	20,300	内(1.00)外(7.00) 8.00人	162,400	
5	機械経費	経費	機械経費 直接人件費、比率	578,800	3.00 %	17,364	E
6	通信運搬費	経費	通信運搬費等 直接人件費、比率	578,800	4.50 %	26,046	
7	材料費	経費	材料費 直接人件費、比率	578,800	4.00 %	23,152	
8	精度管理費	経費	精度管理費 1 件書等 + 機械終費 - P	596,164	9.00 %	53,654	-
* 1	※1単位当たり ¥ 19,971 小計 ¥ 699,016						
F1	F2	F3	F4 F5	F6 F	7 F8 F9	F10	F11 F12
単印刷	全印刷	前に移動	後に移動し項目編集」項	夏目追加 │項目第	削除 項目複写	費目編集	位編集終了
処理を選	択してください。	•		カーソル: 4 登録	数: 8 2013/09/24 1	.3:21	NUM .::

ーーー 補足説明(旅費交通費について) ーーー

1、直接経費の「打合せ旅費」及び「旅費交通費」については個々の業務内容及び条件により、 その数量等が異なる為、お客様ご自身で「代価編集」を行う事により、経費を算出して頂く必要が あります。

2、旅費交通費の算出方法についは国土交通省のホームページに「設計業務等標準積算基準書 および同(参考資料)について」として記載されています。

http://www.mlit.go.jp/tec/sekis an/sekkei/h20kijun.html

http://ww.mlit.go.jp/tec/sekis an/sekkei/pdf/h14_kij_un_sankou_01.pdf

3、同内容が「設計業務等標準積算基準書」として刊行されています。

④-1 単印刷
 「代価項目の登録・編集」画面で「F1:単印刷」クリックすると下記画面が表示され、表示中の
 代価表の印刷が出来ます。 ExcelファイルあるいはPDFファイルの出力も可能です。

代価表 印刷 出力先	プリンタ Excel ファイル PDFファイル	
用紙設定		
用紙サイズ:	A 4 🔹	
用紙方向:	構置き ▼	
プリンタ設定		
出力プリンタ名:	RICOH imagio MP C3000 RPCS	
フォント名:	M S ゴシック ▼	
印刷部数:	1 部	
ファイル設定		
	 ファイル保存する ③ ファイル保存しない 	
ファイル名:	代価表橫-20130924-001.pdf	
出力先フォルダ:	C:¥SurveyPlan7¥帳票保存¥	参照
ビューア設定		
Excel	○ プレビューから印刷する ◎ プレビューしないで印刷する	
PDF		
	 ビューアを起動する ジョーアを起動しない 	
	印刷開始 キャンセル	

④-2 全印刷
 「業務工種の登録・選択」画面の親区分のカーソル位置で「F2:代価編集」をクリックすると、
 下記画面のように、その親区分に付随する全ての子区分が代価編集の対象となります。

※親区分(基準点測量)のカーソル位置で「F2:代価編集」をクリックした場合、次のようになります。

SurveyP	lan 委託業務種	責算システム	Ver.7.1.1 【測	側量業務】 - 代伯	西項目の登録・	編集						
見積扱	是出先「新規	見積提出	先			宛名	O × I	事務所長				
業務	务件名 新規	見業務件名	l			業務	測量業	ŧ務 − 浿	则量業務			
	箇所 業務	簡所				単価	標準単	鱼価 平月	成25年度			
代価リ	頁目の登録	・編集										
編集	業務工種	5: 測量:	業務-基準点	測量-3級基≧	≞点測量-伐排	采有り 永	久標識	設置なし	,			-
標準	準作業量 作業数量	1:測量 2:測量 3:測量 4:測量	業務-基準点 業務-基準点 業務-基準点 業務-基準点	測量-1級基準 測量-2級基準 測量-2級基準 測量-3級基準	售点測量-伐排 售点測量-伐排 售点測量-伐排 售点測量-伐排	采なし 采有り 采有り 永 采有り 永	.久標識	設置有「)			
番号	費目	<u>5:測量</u> 6:測量 7:測量	業務-基準点 業務-基準点 業務-基準点	<u>測量-3級基</u> 測量-3級基準 測量-3級基準	■ <u>点測量- 伐</u> 推 ■点測量- 伐排 ■点測量- 伐排	米有り 永 采なし 永 采なし 永	<u>久標識</u> 久標識 久標識	设置なし 設置有り 設置なし	,) ,			
1	直接人件	8:測量 9:測量 10:測量	業務-基準点) 業務-基準点) 業務-基準点	測量-4級基準 測量-4級基準 測量-基進点	售点測量-伐排 售点測量-伐排 設置-地上埋	采有り 永 采なし 永 設(普通)	.久標識 .久標識)	設置なし 設置なし)			
2	直接人件	11: 測量 12: 測量 13: 測量	業務-基準点 業務-基準点 業務-基進占	測量-基準点 測量-基準点 測量-基進占	設置-地上埋 設置-地下埋 設置-屋上埋	設(上面 設 設	舗装)					
3	直接人件	14: 測量 15: 測量 16: 測量	業務-基準点 業務-基準点 業務-基進点	測量-基準点 測量-基準点 測量-打合せ	設置-コンクリー 設置-3級、4 協議-業務着		髶 〔埋設					
4	岜按 ∧ïT	17: 測量 18: 測量	余扮- 臺丰点 業務- 基準点 耒務 ⁻ 基华只	測量-打合せ 測量-打合せ	協議-中間打 協議-放禾品	合せ 納入時						
5	労務費		普通作業員		13,500	内(0.	00) 外(0	0.50) .50 人	6,750			
6	機械経費	経費	機械経費	比索	602,850		3	.00 %	18,085			Ŧ
* 1	1 単位当たり		¥ 22,303				小計		¥ 780,631			
F1	F2	F3	F4	F5	F6 F	7	F8	F9	F10	F11	F12	_
単印刷	副 全印刷								費目編集	単位編集	終了	
編集する	る業務工種を選	択してくだる	さい。		カーソル: 1 登録	擞: 9	2013/0	09/24 13	3:18		NUM	

このとき、「代価項目の登録・編集」画面で「F2:全印刷」クリックすると親区分(この場合:基準点 測量)に付随する、全ての子区分の代価表が印刷対象となります。

④-3 代価項目位置(行)移動

「業務工種の登録・選択」画面で「F3:前に移動」をクリックすると、カーソル位置の代価項目が1行上に 移動します。

「業務工種の登録・選択」画面で「F4:後に移動」をクリックすると、カーソル位置の代価項目が1行下に 移動します。

④-4 代価項目編集

「業務工種の登録・選択」画面で「F5:項目編集」をクリックすると、カーソル位置の代価項目を編集出来ます。

1) 単価項目が人件費の場合は、「内業数量」あるいは「外業数量」を変更します。

単価自体は通常、トップメニューの「単価セットの登録・編集」で変更/編集しますが、「ここで単価の 変更を許可する」をクリックする事により、この画面での変更も可能です。

代価項目の編集			
単価項目			
6 直接人作	持費 測量助手		•
費目:	直接人件費	属性: 通常項目	
名称:	測量助手		
規格:			
単位:	А		
単価:	20,300	で単価の変更を許可する	
内業数量:	1.00 人		
外業数量:	7.00 人		
合計数量:	8.00 人		
金額:	162,400		
備考:			
		F10	F9
		変更確定	変更破棄

2) 単価項目が経費率(%)の場合は数量を入力します。

単価項目			
46 機械経	費機械経費	直接人件費、比率	2
費目:	機械経費	属性: 経費項目]
名称:	機械経費		
規格:	直接人件費、比率		
単位:	%		
単価:	578,800	ここで単価の変更を許可する	
数量:	3.00 %		
合計数量:	3.00 %		
金額:	17,364		
備考:			
		E10	F9

3) 直接業務費などの場合は、金額を数量として入力する場合もあります。

代価項目の編集	
単価項目	
79 直接業	務費 直接業務費
費目:	直接業務費 属性: 通常項目
名称:	直接業務費
規格:	
単位:	Η
単価:	1 ここで単価の変更を許可する
数量:	1.00 円
合計数量:	1.00 円
金額:	1
備考:	
	F10 F9
	変更確定 変更破棄

代価項目の編集」画面で単価項目右側の矢印ボタンを - クリックすると、単価の変更が出来ます。

1	代価項目	の編集		
	単価項	目		
	6	直接人件費	測量助手	-
	1	_	測量業務	
	2	直接人件費	測量上級主任技師	
	3	直接人件費	測量主任技師	
1	4	直接人件費	測量技師	
	5	直接人件費	測量技師補	
	6	直接人件費	測量助手	
	7	-	航空関係	
	8	直接人件費	操縦士	
	9	直接人件費	整備士	
	10	直接人件費	撮影士	
	11	直接人件費	撮影助手	
	12	-	地質業務	
	13	直接人件費	地質調査技師	
1	14	直接人件費	主任地質調査員	
	15	直接人件費	地質調査員	
	16	-	設計業務	
-	17	直接人件費	主任技術者(特殊)	ſ
	18	直接人件費	主任技術者	
	19	直接人件費	技師長	
	20	直接人件費	主任技師	
	21	直接人件費	技師 A	
	22	直接人件費	技師 B	
	23	直接人件費	技師 C	
	24	直接人件費	技術員	
	25	直接人件費	試験員 A	
	26	直接人件費 末は 1 件業	試験員 B	
	27	直接人件費	試験員C	
	28		その他人件費	
	29	<u> </u>	製凶上	
	30	万務費	普通作業員	Ŧ

④-5 項目追加 「代価項目の登録・編集」画面で「F6:項目追加」をクリックする事により代価の項目を追加します。

④-4 代価項目編集と同様に単価を選択し、数量を入力します。

代価項目の追加		
単価項目		
2 直接人们	件費 测量上級主任技師	•
費目:	直接人件費 属性: 通常項目	
名称:	測量上級主任技師	
規格:		
単位:	λ	
単価:	42,000 ここで単価の変更を許可する	
内業数量:	人 00.0	
外業数量:	0.00 人	
合計数量:	0.00 人	
金額:	0	
備考:		
	F10 F9	₽ ₽
	ZITTE ZITTE	*

追加した項目は最下行に追加されます。

④-6 項目削除 「代価項目の登録・編集」画面で「F7:項目削除」をクリックするとカーソル位置の代価項目を削除 出来ます。

削除の確認	Z X
?	"代価項目:測量上級主任技師"を削除します。 よろしいですか?
	(はい(Y) いいえ(<u>N</u>)

④-7 項目複写 「代価項目の登録・編集」画面で「F8:項目複写」をクリックするとカーソル位置の代価項目を複写 出来ます。



複写した項目は最下行に追加されます。

④-8 費目編集

「代価項目の登録・編集」画面で「F10:費目編集」をクリックすると、費目の編集が出来ます。

※費目編集は新たな業務工種や代価表を作成する場合に行うもので、通常の積算で使用する事はありません。

「費目」とは、単価の属性/種別の事で大きく分けて「通常項目」と「経費項目」があります。

「通常項目」は人件費や材料費などの、単価がそれ自体で決まるもので、「経費項目」は直接人件費の何%というように比率により単価が決まるものです。

費				
	1 <mark>直接人件費</mark> 2 労務費 3 材料費 4 材料費 5 機械経費 6 運転費 7 材料費 8 材料費 9 材料費2	通常項目 労務の費用 通常項目 燃通常項目 通常項目 材料費 粧品 材料費2	直接人件費、比率 主要材料費、比率 直接人件費+労務費、比率 登録数: 39	編集 追加 削除 終了

「編集」ボタンをクリックする事により、費目の編集が出来ます。

「経費属性」の右のチェックボックスにチェックを入れると「経費属性」となり、比率を掛ける費目を 選択出来るようになります。

·費	通常項目 第次の費用 通常項項目 通常項項目 利料 開 報料 新 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 2	直接人件費、比率 主要材料費、比率 直接人件費+ 労務費、比率	▲ 編集 追加 削除 ※ 終了
		登録数:	39
材料費			
%	•		確定
材料費			BUSH
直接人件費、比率			AX/H
◎ 数量 or % 入	力(1 数量)	◎ 外業・内業 入力(2数量)	
V			
費目	–		
+宜 : 通常項 : 労務の : 通常項 : 燃料項 : 通常項 : 通常項 : 通常項	■ 費用 目 目 目 目		-
	費 材料費 % 材料費 1	遭常項目 労務の費用 通常項目 別務常項目 が料費 通常項目 が料費 通常項目 が料費 96 材料費 1	遭常項目 労務の費用 通常項目 通常項目 通常項目 直接人件費、比率 通常項目 通常項目 直接人件費、比率 資常項目 直接人件費、比率 資金 一 材料費 直接人件費、比率 登録数: が料費 ご 資金 96 96 1 <td< th=""></td<>

④-9 単位編集

「代価項目の登録・編集」画面で「F11:単位編集」をクリックすると、単位の編集が出来ます。

※単位編集は新たな業務工種や代価表を作成する場合に行うもので、通常の積算で使用する事はありま せん。 また単位の編集/削除等を行うと、現在ある歩掛内容に影響を与える場合がありますので、追加以外 は行わないようにして下さい。

単位編集		
20	995N	編集
22 23 24	台日 台時 筆	追加
25	車 式 タイフ [®]	削除
28 29	二法 橋 ▼	終了
	登録数 : 155	
~ 編集内	內容	
9⁄6		確定
数量:	1 に対する掛 0.010	取消

- ⑤ 工種編集
 - 「業務工種の登録・選択」画面で「F5:工種編集」をクリックする事により業務工種の編集が出来ます。 業務工種名称及び作業数量の編集(変更)が出来ます。

業務工種の編集	10.000 A
名称: 1: 測量業務	Š.
2: └ 路翁	泉測量
3: └ 横	断測量
区分:	子区分
作業数量:	1.000 Km
標準作業量:	1km当り,幅60m、縦1/100,横1/100,クロソイド曲線1ヶ所含む
標準作業数量:	1.000 Km
	F10 F9 変更確定 変更破棄

⑥ 工種追加

「業務工種の登録・選択」画面の親区分のカーソル位置で「F6:工種追加」をクリックすると業務工種 を追加出来ます。

※親区分以外の区分では工種の追加は出来ません。

▲ 名称: 1: 測量業務
2: └用地測量
3: - 用地実測図等の作成
4: 山
区分: 子区分 ▼
作業数量 : 10,000.000 m ² ▼
標準作業量: 10,000m ² 当り
標準作業数量: 10,000.000 m ²
F10 F9 変更確定 変更破棄

・業務工種の名称、区分、作業数量、単位、標準作業量、標準作業数量を入力/選択し、 「F10:変更確定」により業務工種を作成します。

※区分について

業務工種の追加			1.000 80	
名称: 1: 測量業系	务			
2: └用地	也測量			
3: └用	地実測図等の作成			
4: ∟ 1	地積測量図の作成			
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	고묘사			
区方:	士区分			
作業数量:	税区分 子区分			
	経費項目			_
標準作業量:	朱司 項日 安全書項日			
標準作業数量:	冬期補正項目			
	未初計項日 技術経 費 項目	F	10 F9	
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	確定 変更破棄	
				-

- ・業務工種に代価を登録する場合は「子区分」を選択します。
- ・代価を登録せず、さらにその下に子区分を作成する場合は「親区分」を選択します。

・経費項目、集計項目、安全費項目、冬期補正項目、業務計項目、 新たな業務を作成する時に使用するもので、通常は使用しません。 それらの項目については、「第7章 応用編」で説明します。 業務計項目、技術経費項目等については、

追加した工種が子区分の場合、④代価編集の説明のとうり、「業務工種の登録・選択」画面で「F2:代価編集」をクリックする事により代価の編集を行います。」

・業務工種を追加した場合、見積書に反映させるためには 「7.4.3 経費/集計セットを適用する工種の選択」により追加した工種を集計項目 (直接業務費計、直接人件費)や各種経費率(諸経費、技術経費)の対象とする(「F4:適用工種」に チェックを追加する)必要があります。

4.5 見積書の作成・編集

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【測量業務】	
見積提出先新規見積提出先	宛名O×事務所長
業務件名新規業務件名	業務 測量業務 - 測量業務
箇所業務箇所	単価 標準単価 平成25年度
【測量業務】 見積書の作成・編集	既存見積編集
1 見積書提出先の編集	5 変化率セットの登録・編集
2 業務件名の編集	6 各種経費率セットの登録・編集
3 業務工種の登録・選択	7 (ホームページ)
4 見積書の作成・編集	8 見積書編集作業の終了
F1 F2 F3 F4 F5 F6	F7 F8 F9 F10 F11 F12
提出先 業務件名 業務工種 見積編集	変化率 経費率 ヘルプ 終了
処理を選択してください。	2013/10/28 15:12 NUM

① 新規(既存)見積作成メインメニューで「見積書の作成・編集」あるいは「F4:見積作成」を クリックすると下記「見積書の作成・編集」画面が表示されます。

	SurveyF	lan 委託業務積算システム Ver.7.1.1	【測量業務】 - 見種	責書の作用	成・編集 ∗					
	見積損	是出先 新規見積提出先			宛名	〇×事務所	f長			
l	業務件名 新規業務件名 業務 測量業務 一測量業務									
		箇所 業務箇所			単価相	票準単価 平	ℤ成25年度			
	見積	書の作成・編集								
	番号	費目	数量	単位	単価	変化率	金額	備考	^	
	1	測量業務								
	2	路線測量								
	3	作業計画	1.000	業務	67,720	+0.000	67,720			
	4	現地踏査	1.000	Km	58,201	+0.200	69,841			
	5	中心線測量	1.000	Km	278,600	+0.200	334,320			
	6	仮BM設置測量	1.000	Km	83,389	+0.200	100,066		Ξ	
	7	縦断測量	1.000	Km	157,114	+0.200	188,536			
	8	横断測量	1.000	Km	472,805	+0.200	567,366			
	9	打合せ協議								
	10	業務着手時	1.000	業務	28,650	+0.000	28,650			
	11	成果品納入時	1.000	業務	28,650	+0.000	28,650			
	12	直接測量費					1,385,149			
	13	諸経費	77.2	%	1,385,149		1,069,335			
I	1.4	涧县業務計					9 454 484		Ŧ	
	+Shif	: キー : 調査価格 or 低入札価格 詞	设定			見積金額合	h言十	¥ 2,450,000		
	F1	F2 F3 F4	F5	F6	F7 F8	F9	F10	F11 F12		
	一式印	刷。表紙印刷(内訳印刷)一変化印刷	」(代価印刷)項	目編集	項目削除項目復	玩	条件設定	文書保存 編集終了	_	
	処理を追	観沢してください。		<u></u> <u> </u>	. 登録数: 16	2013/10/28	15:21	NUM	.::	

②一式印刷

「見積書の作成・編集」画面で「F1:一式印刷」クリックすると下記画面が表示され、「見積書表紙」、 「見積内訳書」、「変化率内訳表」、「代価表」の印刷が出来ます。ExcelファイルあるいはPDFファイル の出力も可能です。

見積書一式 印刷	RE C-BRAS
出力先	プリンタ Excel ファイル PDFファイル
用紙設定	
用紙サイス:	A 4 •
用紙方向:	構置き
プリンタ設定	
出力プリンタ名:	RICOH imagio MP C3000 RPCS -
フォント名:	M S ゴシック ▼
印刷部数:	1 部
ファイル設定	
	 ファイル保存する ③ ファイル保存しない
ファイル名:	見積書一式橫-20131028-002.pdf
出力先フォルダ:	C:¥SurveyPlan7¥帳票保存¥ 参照
ビューア設定	
Excel	◎ プレビューから印刷する ◎ プレビューしないで印刷する
PDF	◎ ビューアを起動する ◎ ビューアを起動しない
	印刷開始 キャンセル

③見積書表紙印刷

「「見積書の作成・編集」画面で「F2:表紙印刷」クリックすると「見積書表紙」の印刷が出来ます。

・見積書表紙サンプル



平成25年10月28日

```
_<u>新規見積提出先</u>
___<u>O×事務所長</u>
```

下記のとおり御見積りいたします。

<u>御見積金額 ¥3,350,000-</u> (この金額に消費税は含まれておりません。)										
但し	件	名	ł	新規業務件名						
	場	所	0	業務箇所						
	I	期	÷	自 平成25年11月1日 至 平成25年12月30日						
見積条件:		:	見積条件							

※見積書表紙については、EXCELの帳票レイアウトを変更する事により、お客様独自の見積書表紙 を作成する事が可能です。

お客様独自の見積書表紙の作成方法については、「第7章 応用編」で説明します。

④見積内訳書印刷 「見積書の作成・編集」画面で「F3:内訳印刷」クリックすると「見積書内訳書」の印刷が出来ます。

・見積内訳書サンプル

	1	ノビ 1月		X		
費目	数量	単 位	単価	変化率	金額	備考
測量業務						
現地測量						
現地測量	0. 050	Km	8, 579, 570	+0. 000	540, 512	作業量補正:0.063
路線測量						
作業計画	1.000	業務	67, 720	+0.000	67, 720	
現地踏査	1.000	Km	58, 201	+0. 200	69, 841	
中心線測量	1.000	Km	278, 600	+0. 200	334, 320	
仮BM設置測量	1.000	Km	83, 389	+0. 200	100, 066	
縱断測量	1.000	Km	157, 114	+0. 200	188, 536	
横断測量	1.000	Km	472, 805	+0. 200	567, 366	
打合せ協議						
業務着手時	1.000	業務	28, 650	+0.000	28, 650	
成果品納入時	1.000	業務	28, 650	+0.000	28, 650	
直接測量費					1, 925, 661	
諸経費	74.000	%	1, 925, 661		1, 424, 989	
測量業務計					3, 350, 650	
改め					3, 350, 000	1万円未満切り捨て
見積金額合計					3, 350, 000	

見積内	訳	表
-----	---	---

- 1-

⑤変化率内訳書印刷 「見積書の作成・編集」画面で「F4:変化印刷」クリックすると「変化率内訳書」の印刷が出来ます。 ・変化率内訳書サンプル

費目	数量	単 位	変化率/条件	変化率	備考
測量業務					
現地測量					
現地測量	0. 050	Km [*]	現地測量 縮尺・地域/地形変化率 縮尺:1/500 地形:平 地 地物:都市近郊	+0. 200	
			現地測量 作業量補正 作業量補正の有無:現地測量作業量補正あり(総面積補正) :0	+0.000	総面積:0.050Km²
合 計				+0. 200	
路線測量					
現地踏査	1.000	Km	路線測量 地域差変化率 地形:平 地 地物:都市近郊	+0. 200	
			路線測量 交通量変化率 交通量:0~1,000台/12時間 適用:影響をうけやすい	+0.000	
合 計				+0. 200	
中心線測量	1.000	Km	路線測量 地域差変化率 地形:平 地 地物:都市近郊	+0. 200	
			路線測量 交通量変化率 交通量:0~1,000台/12時間 適用:影響をうけやすい	+0.000	
			路線測量 曲線数変化率 単曲線換算曲線数(1Km当り):2	+0.000	
			中心線測量 測点間隔変化率 測点間隔:20m	+0.000	
合 計				+0. 200	
仮BM設置測量	1.000	Km	路線測量 地域差変化率 地形:平 地 地物:都市近郊	+0. 200	
			路線測量 交通量変化率 交通量:0~1,000台/12時間 適用:影響をうけやすい	+0.000	
合 計				+0. 200	
縱斷測量	1.000	Km	路線測量 地域差変化率 地形:平 地 地物:都市近郊	+0. 200	
			路線測量 交通量変化率 交通量:0~1,000台/12時間 適用:影響をうけやすい	+0.000	
合 計				+0. 200	
橫断測量	1.000	Km	路線測量 地域差変化率 地形:平 地 地物:都市近郊	+0. 200	
			路線測量 交通量変化率 交通量:0~1,000台/12時間 適用:影響をうけやすい	+0.000	

- 1 --

変化率内訳表

⑥代価表印刷

「見積書の作成・編集」画面で「F5:代価印刷」クリックすると「代価表」の印刷が出来ます。

・代価表サンプル

作業種別 · 測量業務/現地測量/現地測量

代価表

標準作業量:現地測量	S=1/500 0.1Km当り					
費目	名 称 · 規 格	単価	数量	単位	金額	備考
直接人件費	測量主任技師	31, 600	0. 50	Х	15, 800	
直接人件費	測量技師	25, 700	7.00	Х	179, 900	
直接人件費	測量技師補	22, 400	16. 50	Х	369, 600	
直接人件費	測量助手	20, 300	8. 00	۶.	162, 400	
機械経費	機械経費 直接人件費、比率	727, 700	8. 00	%	58, 216	
通信運搬費	通信運搬費等 直接人件費、比率	727, 700	1.50	%	10, 915	
材料費	材料費 直接人件費、比率	727, 700	3. 00	%	21, 831	
精度管理費	精度管理費 人件費等+機械経費、比率	785, 916	5.00	%	39, 295	
				合 計	857, 957	1K㎡当り : 8,579,570

- 1 -

⑦ 見積項目の編集

「見積書の作成・編集」画面で「F6:項目編集」をクリックすると下記「見積項目 編集」画面が 表示されます。

見積項目 編集		-	1						
費目	現地測量								
単価	8,579,570]					
数量	0.050	単位	Km						
変化率	+0.200								
金額	648,615								
備考	作業量補正:0	.063							
本見積書内の	本見積書内のみ有効 F10 F9 単価の変更を許可する 変更確定 変更破棄								

費目、数量、変化率、備考及び「単価の変更を許可する」ボタンをクリックする事により、 単価(各項目の歩掛)の編集(変更)が出来ます。

但し、ここでの変更は、本見積書内のみで有効であり、新規見積作成メインメニューで「業務工種の 登録・選択」により、数量等を変更すると、見積項目の編集(変更)内容は元に戻ります。 またここで変化率、単価(各項目の歩掛)を変更しても、変化率内訳表、代価表等は変更されません。 「見積書の作成・編集」画面で「F7:項目削除」をクリックすると下記「削除の確認」画面が 表示され「はい(Y)」を選択する事により見積項目を削除出来ます。

SurveyF	Plan 委託業務積算システム V	/er.7.1.1	【測量業務】 - 見利	責書の作ら	ጲ・編集 ∗		10 A	
見積損	是出先 新規見積提出先	č			宛名	O×事務所	f長	
業利	簩件名 新規業務件名				業務	則量業務 -	測量業務	
	箇所 業務箇所				単価相	漂準単価 平	4成25年度	
見積	書の作成・編集							
番号	費目		数量	単位	単価	変化率	金額	備考
6	現地踏査		1.000	Km	58,201	+0.200	69,841	
7	中心線測量		1.000	Km	278,600	+0.200	334,320	
8	仮BM設置測量		1.000	Km	83,389	+0.200	100,066	
9	縦断測量		1.000	Km	157,114	+0.200	188,536	
10	横断測量		1.000	Km	472,805	+0.200	567,366	
11	打合せ協議	削除の確認	認					
12	業務着手時					00	28,650	
13	成果品納入時	?	見積明細:(反BM設置	測量を削除します。	00	28,650	
14	直接測量費		× 40000090	· f			2,033,764	
15	諸経費						1,494,816	
16	測量業務計			(tu	(Y) いいえ	.(N)	3,528,580	
17	改め						3,520,000	1万円未満
18	見積金額合計						3,520,000	
							j.	
+Shif	t キー : 調査価格 or 低入	、札価格 設	定			見積金額合	計	¥ 3,520,000
F1	F2 F3	F4	F5	F6	F7 F8	F9	F10	F11 F12
117 <u>1</u>	唰 表紙印刷 内訳印刷	変化印刷	代価印刷項	目編集	項目削除項目復	元	条件設定	文書保存 編集終了
[削除]	はい/いいえを選択して	ください。		לא−y⊮: 8	登録数: 18	2013/10/28	17:53	NUM

⑨見積項目の復元

「見積書の作成・編集」画面で「F8:項目復元」をクリックする事により削除した項目を復元出来ます。

SurveyF	Plan 委託業務積算システム	Ver.7.1.1	【測量業務】 - 見積	責書の作品	ጲ・編集 ∗		10.0					
見積提出先												
業利	業務件名 新規業務件名 業務 測量業務 一測量業務											
	箇所 業務箇所				単価:	標準単価 平	成25年度					
見積	書の作成・編集											
番号	費目		数量	単位	単価	变化率	金額	備考 🔺				
5	作業計画		1.000	業務	67,720	+0.000	67,720					
6	現地踏査		1.000	Km	58,201	+0.200	69,841					
7	中心線測量		1.000	Km	278,600	+0.200	334,320					
削除	仮BM設置測量		1.000	Km	83,389	+0.200	0					
9	縦断測量		1.000	Km	157,114	+0.200	188,536					
10	横断測量	復元の確認	1.000	-	-	200	567,366					
11	打合せ協議											
12	業務着手時		見積明細: 仮B	BM設置測	量を復元します。	.000	28,650	E				
13	成果品納入時		よろしいですか?			.000	28,650					
14	直接測量費						1,933,698					
15	諸経費		Γ	1+1.)()	A 100 ₹0		1,430,936					
16	測量業務計			191.0781	.)	<u>×)</u>	3,364,634					
17	改め			_			3,360,000	1万円未満				
18	目痣个麵个計						3 360 000					
+Shif	t キー : 調査価格 or 低	入札価格 該	设定			見積金額合	清十二	¥ 3,360,000				
F1	F2 F3	F4	F5	F6	F7 F 8	B F9	F10	F11 F12				
一式日	刷 表紙印刷 内訳印刷	变化印刷	代価印刷項	目編集	項目削除」項目	复元	条件設定 :	文書保存 編集終了				
[復元]	はい/いいえを選択して	てください。		<u>לא</u> רית אויר ו	登録数: 18	2013/10/28	17:56	NUM				

⑩見積項目の設定

「見積書の作成・編集」画面で「F10:条件設定」をクリックすると下記「見積項目の設定」画面が 表示されます。

5	見積項目の設定	** 218 LP
	- システム情報設定	
	🔲 消費税項目を追加する(内訳表)	_ 田家 5,000 %
	☑ 消費税項目を追加する(統括表)	701年 3.000 70
	🔲 安全費率項目を追加する	
	📃 冬期補正項目を追加する	
	☑ 冬期補正を外業数量で計算する	
	☑ 合計金額の改め(丸め)項目を追加する	→ 1万円未満丸め(切り捨て) 🗸
1	🔲 値引き項目を追加する	
	🔲 見積書表紙で「件名:」、「場所:」等を印	字しない (Excel オリジナル見積表紙編集用)
i	☑ 単位数量当り単価の場合、有効数字4桁(5	桁目以降切捨て)とする
	◎ 業務価格が1万円単位となるように、諸経費	反び一般管理費で端数を調整(切り捨て)
		F10 F9
L		资史唯正 贫史收集

⑩-1 消費税項目を追加する(内訳表)

消費税項目を追加する(内訳表)にチェックを入れると、見積書に消費税項目が追加されます。

⑩-2 消費税項目を追加する(総括表)

消費税項目を追加する(総括表)にチェックを入れると、見積総括表に消費税項目が追加されます。

※総括表とは、測量業務と設計業務など諸経費率等が異なる複数の業務を同一の見積書として、提出 すべき場合、個々の業務で積算金額を算出し、総括表として合算したものです。 トップメニューの「総括表の作成・編集」により行います。

⑩-3 安全費項目を追加する

安全費項目を追加するにチェックを入れると、見積書に安全費項目が追加されます。 「F6:項目編集」により、対象地域を選択出来ます。

Survey	lan 委託業務積昇シ	ステム Ver.7.1.1	【測量業務】	見積書の作	- 水・編集 *			_	
見積損	是出先 新規見穆	{提出先			宛名	4 O×事務所	ī長		
業利	务件名 新規業務	5件名			業務	8 測量業務 -	測量業務		
	箇所 業務箇所	見積項目 編集							
見積	書の作成・編集	費目	安全費						
番号	費		1 908 744					備考	^
6	現地踏査			N/ / I			.841	1	
7	中心線測量	数量	3.0	単位	%		.320)	
8	仮BM設置測:	選択項目	都市近郊					3	ĺ
9	縦断測量	金額	補正無し				,536	3	
10	横断測量	備去	大市街地				368	3	
11	打合せ協議		中街 地中 市街 地乙				- 1		
12	業務着手		都市近郊				.850)	
13	成果品納。		その他				650	1	E
14	直接経費								
15	安全費		3	.0 %	1,908,	744	57,262	2	
16	冬期補正		11	.0 %	1,908,	744	209,961	1	
17	直接測量費				+		2,300,987	7	
18	諸経費		73	.5 %	2.300.9	387	1.691.225		
10	測具業務計				- / /-		2 000 010	2	Ŧ
+Shift	t キー : 調査価格	or 低入札価格	設定			見積金額合	清十	¥ 3,990,000	
F1	F2	F3 F4	F5	F6	F7	F8 F9	F10	F11 F12	
一式印	刷表紙印刷内	訳印刷 変化印	刷(代価印刷)	項目編集	項目削除項	目復元	条件設定	文書保存 編集終了	~
処理を道	崔択してください。			<u> </u>	15 登録数: 21	2013/10/28	18:41	NUM	

⑩-4 冬期補正項目を追加する

冬期補正項目を追加するにチェックを入れると、見積書に冬期補正項目が追加されます。 「F6:項目編集」により、補正対象期間を選択出来ます。

urveyPlan	委託業務積算システム	Ver.7.1.1 【溴	」量業務】 - 見積書の作成・編集 *
見積提出	先 新規見積提出	先	宛名
業務件	名 新規業務件名	見積項目 編集	
箇	所 業務箇所	費目	8期補正
見積害の	作成・編集		f 1 908 744
番号	費目		備考
5	作業計画	数量	11.000 単位 %
6	現地踏査	選択項目	12月~2月
7	中心線測量	金額	
8	仮BM設置測量	備ま	_ 10月~11月 10月~12日
9	縦断測量		- 10月~ 1月
10	横断測量		10月~ 2月
11	打合せ協議		10月~ 3月
12	業務着手時		
13	成果品納入時		
14 直	「接経費	8	11月~2月
15	冬期補正		11月~ 3月
16 直	「接測量費		12月~12月
17 =			12月~1月
			12H~ 3H
+Shift +-	- : 調査価格 or 低. F2 F3	入札価格 設定 F4	1月~1月 ¥ 3,520,000 1月~2月 F11
一式印刷	表紙印刷 内訳印刷	変化印刷	1月~3月 文書保存 編集終了 2月~2月 2月
心主で進代し			2月~3月

⑩-5 冬期補正を外業数量で計算する

冬期補正を外業数量で計算するにチェックを入れると、冬期補正の計算の際、代価表で人件費及び 労務費に関して外業に該当するもののみを集計して、単価を算出します。

⑩-6 合計金額の改め(丸め)項目を追加するをチェックして、丸め(切り捨て)方法を選択する と、見積書の業務金額計を選択された方法で丸め処理を行います。

J	見積項目の設定
	システム情報設定
ì	□ 消費税項目を追加する(内訳表)
1	☑ 消費税項目を追加する(統括表)
ł	■ 安全費率項目を追加する
l	🔲 冬期補正項目を追加する
l	✓ 冬期補正を外業数量で計算する
l	⑦ 合計金額の改め(丸め)項目を追加する → 1万円未満丸め(切り捨て) ▼
l	■ 値引き項目を追加する 千円未満丸め(切り捨て)
	□ 見積書表紙で「件名:」、「場所:」等を印字した 10万円未満丸め(切り捨て)
i	▼単位数量当り単価の場合、有効数字4桁(5桁目以降切捨て)とする
	■ 業務価格が1万円単位となるように、諸経費及び一般管埋費で端数を調整(切り捨て)
	F10 F9 変更確定 変更破棄

⑩-7 値引き項目を追加する

値引き項目を追加するにチェックを入れると、見積書に値引き項目が追加されます。 「F6:項目編集」により、値引き金額を入力出来ます。

1	SurveyP	Plan 委託業務積算シ	ステム Ver.7.1.1	【測量業務】 - 見利	責書の作用	成・編集 🔹					
	見積損	是出先 見積提出	出先1			罗	名				
	業務件名 新規業務件名 業務 測量業務 - 測量業務										
		箇所				l	き価 木	票準単価 平	4成25年度		
	見積	書の作成・編集					_				
	番号	費	3	数量	単位	単位	i	变化率	金額	備	考^
	11	仮BM設置測量	₽	1.000	Km	83,38	0.000	+0.000	83,380	1	
	12	縦断測量		1.000	Km	157,10	0.000	+0.000	157,100	1	
	13	横断測量	目結酒日 編件	1 000	17 m	470 00	0 000	.0 000	430 800		
	14	打合せ協議	元俱視日 補業						_		
	15	業務着手間	費目 1	直引き					650	1	
	16	中間打合+	值引	כ					050	1	
	17	成果品納	備考						650	1	
	18	直接測量費					F10		-9 440	1	
	19	諸経費				1 Star	更確定	2 変更	破棄 553	1	
	20	測量業務計			_		_		_,,993	1	
1	21	値引き							Δ 0	1	
I	22	改め							2,770,000	1万円未	満
I	23	見積金額合計							2,770,000		
							_				*
	+Shift	t キー : 調査価格	or 低入札価格 詞	设定				見積金額合	àit -	¥ 2,77	70,000
	F1	F2	F3 F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11	F12
	一式印	刷表紙印刷内	訳印刷 愛化印刷	」代価印刷項	目編集	項目削除	項目復	元	条件設定	文書保存	編集終了
	処理を追	躍択してください。			<u>לא−י</u> אי: 2	1 登録数:	23	2013/12/10	13:33		NUM:

⑩-8 見積書表紙で「件名:」、「場所:」等を印字しない

見積書表紙で「件名:」、「場所:」等を印字しないにチェックを入れると、EXCELの見積書表紙 出力際に「件名:」、「場所:」等を印字(出力)しません。

これはEXCELでオリジナルの見着書表紙を作成する際に、お客様が印字内容を自由に設定出来るようにしたものです。

お客様独自の見積書表紙の作成方法については、「<u>第7章 応用編</u>」で説明します。

⑩-9 単位数量当たりの単価の場合、有効数字4桁(5桁目以降切捨て)とする
 単位数量当たりの単価の場合、有効数字4桁(5桁目以降切捨て)とするをチェックすると、
 代価の単位当たりの金額の算出の際、有効数字を4桁とします。

※標準作業量が元々1単位当り(1点当り、1Km当り等)の場合は本端数処理は行いません。

この処理により、単位数量当たりの単価が10円以下の場合でも、有効数字を4桁とするために、 見積書の単価が常に小数点第3位まで表示(印字)されます。

※「単位数量当たりの単価の場合、有効数字4桁(5桁目以降切捨て)」を行うか否かは発注 機関により異なります。

※本端数処理は通常、測量業務及び地質調査業務の場合のみ適用します。

(例) 公図等の転写

次の図のように、単位面積(1 m)当たりの単価は@3.078円となります。

※本項目にチェックを入れない場合、1単位(1㎡)の単価は@3円となります。

SurveyPl	an 委託業務積算	システム	Ver.7.1.1 【測量業務】 - 代付	面項目の登録・	編集						
見積提	出先新規見	し積提出	先		宛名 O×事務所:	Ę					
業務件名 新規業務件名 業務 測量業務 測量業務											
	箇所 業務箇所 単価 標準単価 平成25年度										
代価項	代価項目の登録・編集										
編集業	編集業務工種 1:測量業務-用地測量-資料調査-公図等の転写 ▼										
標準	準作業量 10,0	000㎡当	ŋ				避圮璠別数				
標進化	作業数量 10	0.000.00	0 m² 🔹	当り	変更書次	変更取消					
	***				****	A + 7					
番号		属性	名称・規格	単価	数量・単位	金額	備考				
1	直接人件費		測量技師補	22,400	内(0.40)外(0.30) 0.70人	15,680					
2	直接人件費		測量助手	20,300	内(0.40)外(0.30) 0.70人	14,210					
3	機械経費	経費	機械経費 直接人件費、比率	29,890	1.00 %	298	_				
4	材料費	経費	材料費 直接人件費、比率	29,890	2.00 %	597					
*			新規項目								
* 1	単位当たり		¥ 3.078		小計	¥ 30,785					
F1	F2	F3	F4 F5	F6 F	7 F8 F9	F10	F11 F12				
単印刷	全印刷	前に移動	後に移動し項目編集し項	目追加」項目的	削除 項目複写	費目編集	単位編集 終了				
処理を選	択してください。			カーソル: 1 登録	数: 4 2013/10/28 1	9:24	NUM .::				

※1単位当りの金額が4桁を越えた場合は、5桁目以降は切り捨てられます。 例えば、1単位当り金額が@12,345円の場合は@12,340円となります。 ⑩-10 業務価格が1万円単位となるように、諸経費及び一般管理費で端数を調整(切り捨て) にチェックを入れると、端数の処理を業務費計の後の改めではなくて、諸経費あるいは一般管理費 の算出時点で、業務費計が1万円単位となるように調整(切り捨て)処理を行います。

端数処理を行った場合、	備考欄に	「端数調整」	と表示	(印字)	されます。

SurveyP	Plan 委託業務積算システム Ver.7.1.1	【測量業務】 - 見利	責書の作用	成・編集 *				
見積扱	是出先 見積提出先1			宛名				
業者	務件名 新規業務件名			業務	則量業務 -	測量業務		
	箇所 業務箇所			単価 ┃	漂準単価 平	成25年度		
見積	書の作成・編集							
番号	費目	数量	単位	単価	变化率	金額	備考	*
10	中心線測量	1.000	Km	278,600.000	+0.000	278,600		
11	仮BM設置測量	1.000	Km	83,380.000	+0.000	83,380		
12	縦断測量	1.000	Km	157,100.000	+0.000	157,100		
13	横断測量	1.000	Km	472,800.000	+0.000	472,800		
14	打合せ協議							
15	業務着手時	1.000	業務	28,650.000	+0.000	28,650		
16	中間打合せ	1.000		24,050.000	+0.000	24,050		
17	成果品納入時	1.000	業務	28,650.000	+0.000	28,650		
18	直接測量費					1,580,440		=
19	諸経費	75.9	%	1,580,440		1,189,560	端数調整	
20	測量業務計					2,770,000		
21	改め					2,770,000		
22	見積金額合計					2,770,000		
						j.		-
+Shift	t キー: 調査価格 or 低入札価格	設定			見積金額合	計	¥ 2,770,000	
F1	F2 F3 F4	F5	F6	F7 F8	F9	F10	F11 F12	_
一式印	刷 表紙印刷 内訳印刷 变化印刷	副 代価印刷 項	目編集	項目削除項目復	記	条件設定	文書保存 編集終了	
処理を違	羅択してください。		カ-Yル: 1	9 登録数: 22	2013/12/10	14:50	NUM	

⑪見積書の保存

「見積書の作成・編集」画面で「F11:文書保存」をクリックすると下記「保存の確認」画面が 表示され「はい(Y)」を選択する事により編集(変更)した見積書を上書き保存します。

保存の確認	×
 本見積の内容を現在選択されている業務 存します。 よろしいですか? 見積提出先:新規見積提出先 業務件名:新規業務件名 	8件名の見積書として上書き保
	(はい(<u>Y)</u> しいいえ(N)

「見積書の作成・編集」画面で「Shift」キーを押しながら「 F6:調査価格」をクリックすると 下記画面のように、「各種経費率セットの登録・編集」で設定した、調査基準価格が算出出来ます。

※「Shift」キーを押しながら「 F5:通常見積」をクリックすると、通常の積算価格に戻ります。

※調査基準価格の表示及び印刷は本画面の中でのみ有効です。

※調査基準価格の設定方法については「<u>第7章 応用編</u>」で説明します。

SurveyF	lan 委託業務積算システム Ver.7.1.1	【測量業務】 - 見	積書の作成	戉・編集 ∗			
見積打	是出先 新規見積提出先			宛名	〇×事務所	f長	
業利	务件名 新規業務件名			業務	測量業務 -	測量業務	
	箇所 業務箇所			単価	標準単価 平	□成25年度	
見積	書の作成・編集					計算種別:	調査基準価格
番号		数量	単位	単価	变化率	金額	備考
5	現地踏査	1.000	Km	58,20	1 +0.200	69,841	
6	中心線測量	1.000	Km	278,60	0 +0.200	334,320	
7	仮BM設置測量	1.000	Km	83,38	9 +0.200	100,066	
8	縦断測量	1.000	Km	157,11	4 +0.200	188,536	
9	横断測量	1.000	Km	472,80	5 +0.200	567,366	
10	打合せ協議						
11	業務着手時	1.000	業務	28,65	0 +0.000	28,650	
12	成果品納入時	1.000	業務	28,65	0 +0.000	28,650	E
13	直接測量費	90.0	%	1,966,04	4	1,769,439	調査基準価
14	諸経費	36.9	%	1,966,04	4	725,470	調査基準価
15	測量業務計					2,494,909	調査基準価
16	改め					2,490,000	1万円未満
17	見積金額合計					2,490,000	
						1	.
+Shif	t キー: 調査価格 or 低入札価格 詞	设定			見積金額合	àit -	¥ 2,490,000
F1	F2 F3 F4	F5	F6	F7	F8 F9	F10	F11 F12
		通常見積	間査価格	低入札			
処理を追	崖択してください。		カーソル: 1	. 登録数: 17	2013/10/29	09:50	NUM .::

「見積書の作成・編集」画面で「Shift」キーを押しながら「 F7:低入札」をクリックすると 下記画面のように、「各種経費率セットの登録・編集」で設定した、低入札価格が算出出来ます。 ※「Shift」キーを押しながら「 F5:通常見積」をクリックすると、通常の積算価格に戻ります。 ※低入札価格の表示及び印刷は本画面の中でのみ有効です。

※低入札価格の設定方法については「<u>第7章 応用編</u>」で説明します。

SurveyF	Plan 委託業務積算システム Ver.7.1.1	【測量業務】 - 見利	責書の作成	ᡭ・編集 ∗		1.00	
見積打	是出先 新規見積提出先			宛名	○×事務所	f長	
業利	務件名 新規業務件名			業務	則量業務 -	測量業務	
	箇所 業務箇所			単価は	標準単価 平	□成25年度	
見積	書の作成・編集					計算種別:	低入札価格
番号		数量	単位	単価	変化率	金額	備考
5	現地踏査	1.000	Km	58,201	+0.200	69,841	
6	中心線測量	1.000	Km	278,600	+0.200	334,320	
7	仮BM設置測量	1.000	Km	83,389	+0.200	100,066	
8	縦断測量	1.000	Km	157,114	+0.200	188,536	
9	横断測量	1.000	Km	472,805	+0.200	567,366	
10	打合せ協議						
11	業務着手時	1.000	業務	28,650	+0.000	28,650	
12	成果品納入時	1.000	業務	28,650	+0.000	28,650	=
13	直接測量費	80.0	%	1,966,044		1,572,835	低入札価格
14	諸経費	36.9	%	1,966,044		725,470	低入札価格
15	測量業務計					2,298,305	低入札価格
16	改め					2,290,000	1万円未満
17	見積金額合計					2,290,000	
+Shif	t キー: 調査価格 or 低入札価格 詞	设定			見積金額合	計	¥ 2,290,000
F1	F2 F3 F4	F5	F6	F7 F8	F9	F10	F11 F12
		通常見積調	査価格	低入札			
処理を追	選択してください。		カーソル: 1	登録数: 17	2013/10/29	09:58	NUM

⑭見積書編集の終了

「見積書の作成・編集」画面で「F12:編集終了」により見積書の作成・編集作業を終了します。

ここで作成・編集した見積書は、トップメニューの「既存見積書の呼出・編集」により、呼び出す 事が出来ます。

※バージョン7から、数量・変化率等はもちろん、お客様が作成/編集した工種、代価表も完全に再現出来るようになりました。

見積書の内容が変更されていた場合、下記確認/選択画面が表示されます。

保存の確認	×
?	見積の内容が更新されています。更新された内容を保存します か?
	見積提出先:新規見積提出先 業務件名 :新規業務件名
	書保存 別名保存 いいえ キャンセル

- ⑭-1 同一見積書名でそのまま保存する場合は「上書保存」を選択します。
- ④-2 別の見積書として保存する場合は、下記画面が表示されます。
 業務件名、業務箇所等入力/編集して「F10:変更確定」をクリックします。

業務件名の複写	18 11 18 214 1M		
提出先	2 新規見積提出先		
業務件名	新規業務件名 を複写		
業務箇所	業務箇所		
担当者名	担当者名		
見積条件	見積条件		
作業期間	2013 / 11 / 01 選択 ~ 2013 / 12 / 30 選択		
業務	1 測量業務 測量業務 🗸		
単価セット	1 標準単価 平成 2 5 年度 🗸		
提出日	2013 / 10 / 29 選択		
作成日時	2013/10/29 10:26 F10 F9		
更新日時	2013/10/29 10:26 変更確定 変更破棄		

④-3 編集/変更内容を保存しない(破棄)する場合は、「いいえ」をクリックします。
 ④-4 見積書の編集を終了しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

新規見積書の作成に関する説明は以上です。

第5章 既存見積書の編集

5.1 既存見積書の呼び出し

・トップメニューで「既存見積書の呼出・編集」あるいは「F2:既存編集」をクリックすると下記画面 (以下「既存見積書呼出画面」という)が表示されます。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - 既存見積書の呼出・編集					
既存見積書の呼出・編集					
番号	見積書提出先	業務件名	業務	作成(保存)日時	
1	国土交通省	測量業務委託	測量業務 測量業務	2013/10/29 11:17	
2	国土交通省	道路設計業務	土木設計 道路設計	2013/10/29 11:18	
3	農林水産省	ほ場整備業務	設計業務 ほ場整備	2013/10/29 11:24	
4	農林水産省	土地改良事業 用地調査	補償業務 用地調査(土地改良事業)	2013/10/29 11:25	
5		林道調査設計業務	委託業務 林道工事調査等業務	2013/10/29 11:27	
6		地質調査業務	地質調査 地質調査	2013/10/29 11:28	
7	○×市	地籍調查業務	地籍調查 地籍調查	2013/10/29 11:30	
8	○×市	下水道設計業務	土木設計 下水道設計	2013/10/29 11:32	
9	防衛省	防衛省設計業務	設計業務 設計業務(防衛省)	2013/10/29 11:35	
10	NEXCO	NEXCO 委託業務	委託業務 委託業務(NEXCO)	2013/10/29 11:36	
11	UR都市機構	UR都市機構 測量業務	測量業務 測量作業(UR都市機構)	2013/10/29 11:41	
F1	F2 F3 F4	F5 F6 F7	F8 F9 F10	0 F11 F12	
選択	選択 件名編集 見積複写 見積削除 番号↑↓ 提出↑↓ 件名↑↓ 業務↑↓ 日時↑↓ 戻る				
編集を行う	編集を行う見積書を選択してください。 2013/10/29 11:41 NUM				

① 見積書選択

既存見積書呼出画面で呼出したい業務をダブルクリックするか、呼出したい業務にカーソル(水色) を移動して、「F1:選択」をクリックする事により、以前作成した見積書を呼び出し、編集する事が出来ま す。

② 見積書件名編集

既存見積書呼出画面で「F2:件名編集」をクリックすると、下記画面が表示され、既存業務の件名等を 編集出来ます。

業務件名の編集	2100		
提出先	1 国土交通省		
業務件名	測量業務委託		
業務箇所	測量業務委託箇所名		
担当者名	担当者名		
見積条件	平地/耕地		
作業期間	2013 / 11 / 1 選択 ~ 2014 / 3 / 30 選択		
業務	1 測量業務 測量業務 🗸		
単価セット	1 標準単価 平成 2 5 年度 🗸		
提出日	出日 2013 / 10 / 29 選択		
作成日時	2013/10/29 11:16 F10 F9		
更新日時	2013/10/29 11:17 変更確定 変更破棄		

③ 見積書複写

既存見積書呼出画面で複写したい業務にカーソル(水色)を移動して、「F3:見積複写」をクリックする事 により、以前作成した見積書を複写して、別の業務として使用する事が出来ます。

以前作成した見積書と比較検討したい場合、あるいは類似業務で条件入力等の手間を省きたい場合にご使用 下さい。

下記画面のように「(以前の業務件名)を複写」という業務件名が出来ますので、それらを編集(変更)して使用します。

業務件名の複写	2100		
提出先	1 国土交通省 →		
業務件名	測量業務委託を複写		
業務箇所	測量業務委託箇所名		
担当者名	担当者名		
見積条件	平地/耕地		
作業期間	2013 / 11 / 01 選択 ~ 2014 / 03 / 30 選択		
業務	1 測量業務 測量業務 🗸		
単価セット	1 標準単価 平成 2 5 年度 🗸		
提出日	2013 / 10 / 29 選択		
作成日時	2013/10/29 11:16 F10 F9		
更新日時	2013/10/29 11:54 変更確定 変更破棄		

④ 見積書削除

既存見積書呼出画面で削除したい業務にカーソル(水色)を移動して、「F4:見積削除」をクリックする事 により、以前作成した不用な見積書を削除する事が出来ます。

下記確認画面が表示されますので、削除しても良い場合は、「はい(Y)」をクリックします。

削除の確認	×
業務件名:測 よろしいです	量業務委託を複写を削除します。 か?
	(はい(Y) いいえ(N)

※既存(保存された)の見積書が多くなると、ディスク容量を消費し、動作速度低下の原因にもなります ので、不用な見積書はこまめに整理(削除)するようにして下さい。
⑤ 既存見積書一覧の表示順序の変更

⑤-1 「F6:番号↑↓」をクリックする事により、番号順に表示されます。

⑤-2 「F7:提出↑↓」をクリックする事により、提出先名順に表示されます。

- ⑤-3 「F8:件名 ↑↓」をクリックする事により、件名順に表示されます。
- ⑤-4 「F9:業務↑↓」をクリックする事により、業務名順に表示されます。
- ⑤-5 「F10:日時↑↓」をクリックする事により、作成(保存)日時順に表示されます。
- ⑥ 既存見積書呼出終了

「F12:戻る」をクリックする事により、既存見積書呼出を終了し、トップメニューに戻ります。

5.2 既存見積書の編集

既存見積書呼出画面で既存見積書を選択すると、下記「既存見積書編集メインメニュー」が表示されます。 見積書の作成・編集方法は「第4章 新規見積書の作成」と同じですので、そちらを参照して下さい。



① 見積書の別名保存

既存見積書の内容が変更されていた場合、終了時に下記確認/選択画面が表示されます。 「別名保存」を選択すれば、新たな見積書として保存出来ます。

保存の確認	x
?	見積の内容が更新されています。更新された内容を保存します か?
	見積提出先:新規見積提出先 業務件名 :新規業務件名
	書保存 別名保存 いいえ キャンセル

既存見積書の作成に関する説明は以上です。

第6章 総括表の作成

6.1 総括表の作成

・複数の業務、例えば地上測量、道路設計、補償業務は経費率等が異なるため、同一の見積書では積算 出来ません。

・本システムでまず各々の業務の積算(見積書の作成)を行い、それらの業務価格を合算する、総括表 の作成という方法で、複数業務の見積書作成に対応しています。

・複数の業務と1つの表紙を選択し、総括表の作成(編集)を行います。

※NEXCO、港湾局、地質調査等においては測量、設計、地質調査、解析等の経費率が異なる複数業務 を同一の見積書で作成出来るものもあります。

トップメニューで「総括表の作成・編集」あるいは「F3:総括表」をクリックすると下記画面 (以下「総括表の作成画面」という)が表示されます。

SurveyPlan	rveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - 総括表の作成						
業務の選	択						
番号	業務選択	表紙選択	業務名称	業務件名選択			
1			測量業務	国土交通省:測量業務委託	-		
2			補償調査	国土交通省:補償調査業務	-		
3			道路設計	国土交通省:道路設計業務	-		
4			ほ場整備	農林水産省:ほ場整備業務	-		
5			地質調査	□□県:地質調査業務	•		
6			用地調査(土地改良事業)	農林水産省:土地改良事業 用地調査	•		
7			下水道設計	○×市:下水道設計業務	•		
8			地籍調査	○×市:地籍調査業務	•		
9			測量作業(UR都市機構)	U R都市機構:U R都市機構 測量業務	•		
10			委託業務(NEXCO)	NEXCO:NEXCO 委託業務	•		
11			設計業務(防衛省)	防衛省:防衛省設計業務	•		
12			林道工事調査等業務	□□県:林道調査設計業務	•		
F1	F2	F3	F4 F5 F6	F7 F8 F9 F10 F11	F12		
		総括編集	業務選択選択解除	全解除表紙選択	終了		
				2013/10/31 08:45	NUM .:		

① 業務件名の選択

1つの業務に複数の業務件名で見積書を作成している場合は、業務件名の選択行の クリックして使用する業務件名を選択します。

5	SurveyPlan	委託業務積算	システム Ve	r.7.1.1 - 総括表の作成	MALINE TO LANALSA' S
	業務の選	R			
ſ	番号	業務選択	表紙選択	業務名称	業務件名選択
	1		V	測量業務	国土交通省:用地測量業務
	2			補償調査	国土交通省:測量業務委託
	3	V		道路設計	1 国工交通省:路核测量美務 国土交通省:用地测量業務
	4			ほ場整備	農林水産省:ほ場整備業務 ▼
	5			地質調査	□□県:地質調査業務 🗸
	6			用地調査(土地改良事業)	農林水産省:土地改良事業 用地調査 ▼
	7			下水道設計	○×市:下水道設計業務
	8			地籍調査	〇×市:地籍調査業務
	9			測量作業(UR都市機構)	UR都市機構:UR都市機構 測量業務 ▼
	10			委託業務(NEXCO)	NEXCO:NEXCO 委託業務 ▼
	11			設計業務(防衛省)	防衛省:防衛省設計業務
	12			林道工事調査等業務	□□県:林道調査設計業務 🗸
	F1	F2	F3 総括編生	F4 F5 F6 業務選択 選択解除	F7 F8 F9 F10 F11 F12 全解除 美紙選択 約2 約2 約2 約2
				SHOW AND A TO A T	2013/10/29 17:47 NUM .:
[L					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

② 業務選択

選択したい業務にカーソル(水色)を移動し「F5:業務選択」をクリックするあるいは業務選択の にチェックボックスにチェックを入れる事により、業務選択を行います。

③ 選択解除

選択を解除したい業務にカーソル(水色)を移動し「F6:業務解除」をクリックするあるいは業務選択の にチェックボックスのチェックを外す事により、業務解除を行います。

④ 全解除

「F7:全解除」をクリックする事により選択されている業務を全て解除します。

⑤ 表紙選択

表紙として使用したい、業務にカーソル(水色)を移動し、「F8:表紙選択」をクリックするあるいは 表紙選択のチェックボックスにチェックを入れる事により、その業務の件名情報等表紙として使用します。

6.2 総括表の編集

総括表の作成画面で「F3:総括編集」をクリックすると下記画面(以下「総括表の編集画面」とういう) が表示されます。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - 総招	表の編集					
見積提出先 国土交通省			宛名 〇〇建	設事務所長		
業務件名 測量業務委託			業務 測量業務	务 − 測量業務		
箇所 測量業務委託箇所名			工期 2013/11	/01 ~ 2014/03	/30	
総括表の編集						
番号 費目	数量	単位	単価	金額	備考	i i
1 測量業務	1.000	式		2,640,000		
2 補償調査	1.000	式		1,180,000		
3 道路設計	1.000	式		2,630,000		
4 委託業務費計				6,450,000		
5 消費税	5.000	%	6,450,000	322,500		
6 委託費総計				6,772,500		
			目積全額	通合計	¥ 6 7	72 500
E1 E2 E2 E4	E5 E6	E7	- 201只立1		F11	F12
一式印刷 表紙印刷 統括印刷	項日編集	F7	FO	F9 FIU	PII	編集終了
処理を選択してください。			2013/10/	31 11:58		NUM .:

① 一式印刷

「F1:一式印刷」をクリックすると、下記画面が表示され、「見積書表紙」、「総括表」、「見積内訳書」、 「変化率内訳表」、「代価表」の印刷が出来ます。ExcelファイルあるいはPDFファイルの出力も可能です。

見積書一式 印刷	EE COMBERS
出力先	プリンタ Excel ファイル PDFファイル
用紙設定 用紙サイズ: 用紙方向:	A 4 ▼ 横置き ▼
- プリンタ設定 出力プリンタ名:	RICOH imagio MP C3000 RPCS
フォント名: 印刷部数:	MSゴシック 1 部
 ファイル設定 ファイル名: 	 ファイル保存する ③ ファイル保存しない 見積書-式構-20131031-002.pdf
出力先フォルダ: ビュー ア設定	C:¥SurveyPlan7¥帳票保存¥ 参照
PDF	◎ プレビューから印刷する ◎ プレビューしないで印刷する
	 ビューアを起動する ビューアを起動しない 印刷開始 キャンセル

② 表紙印刷

「F2:表紙印刷」をクリックすると、「見積書表紙」の印刷が出来ます。

③ 総括書印刷

「F3:総括印刷」をクリックすると、「総括書」の印刷が出来ます。

・総括書サンプル

			· · · · · · · · ·		
費目	数量	単位	単価	金額	備考
測量業務	1.000	式		2, 640, 000	
補償調査	1.000	式		1, 180, 000	
道路設計	1.000	枮		2, 630, 000	
委託業務費計				6, 450, 000	
消費税	5.000	%	6, 450, 000	322, 500	
委託費総計				6, 772, 500	

総内訳表

④ 項目編集

「F6:項目編集」をクリックすると、下記画面が表示され、「費目」、「備考」の編集が出来ます。

- 1 --

見積項目 編集			
費目	測量業務		
金額	2,640,000		
備考			
		F10 変更確定	F9 変更破棄

総括表の作成に関する説明は以上です。

第7章 応用編

7.1 業務の登録・編集

トップメニューで「業務の登録・編集・検索」あるいは「F4:業務編集」をクリックすると下記画面 (以下「業務の登録・編集」画面という)が表示されます。

SurveyPlan	委託業	務積算システムヽ	/er 7.1.4.2	- 業務の登録	・編集									
業務の	き 録・ 着 録	編集												
1	名称	測量業務								属性		システム		
	分類	測量業務					補正	加	算	作成日	2	014/04/01	07:00	
	備考						切捨	有	ŋ	更新日	2	014/08/25	14:00	=
2	名称	補償調査								属性		システム		
	分類	補償業務					補正	乗	算	作成日	2	014/04/01	07:00	
	備考						切捨	無	L	更新日	2	014/08/25	14:00	
3	名称	道路設計								属性		システム		1
	分類	土木設計					補正	加	算	作成日	2	014/04/01	07:00	
	備考						切捨	無	U	更新日	2	014/08/25	14.00	
4	名称	交差点設計								属性		システム		
	分類	土木設計					補正	乗	算	作成日	2	014/04/01	07:00	
	備考						切捨	無	L	更新日	2	014/08/25	14:00	
5	名称	道路休憩施言	设設計							属性		システム		
	分類	土木設計					補正	加	算	作成日	2	014/04/01	07:00	
	備考						切捨	無	U	更新日	2	014/08/25	14:00	
6	名称	步道詳細設言	ł							属性		システム		
	分類	土木設計					補正	加	算	作成日	2	014/04/01	07:00	
	備考						切捨	無	L	更新日	2	014/08/25	14:00	
7	名称	道路設計関係	系その他設す	計等						属性		システム		1
	分類	土木設計					補正	加	算	作成日	2	014/04/01	07:00	
	備考						切捨	無	L	更新日	2	014/08/25	14:00	-
F1	F2	2 F3	F4	F5	F6	F7		F8	F9	F10)	F11	F12	
業務検索				名称編集	新規業務	業務削除	業業務	沒有	前に移動	し後に移	動]		終了	
業務を選択	してくた	Eath.			<u> </u>	3 登録数:	76	2014/	08/25 14	4:26			NUM	

① 業務検索

積算したい業務工種がある箇所がわからない場合、その業務工種を検索する事が出来ます。 (1)「業務の登録・編集」画面で「F1:業務検索」をクリックします。

- (2)検索したい業務の「業務選択のチェックボックス」にチェックを入れます。
- (3)「検索業務工種文字列」を入力します。
- (4)「F1:検索」をクリックします。

SurveyPlan	委託業務積算シ	ステム Ver 7.1.4.2 ·	業務工種検索	_					_	_
検索業務	の選択									
番号	業務選択		業務名称			分類名和	Γ.	ステータス	検索網	课 🛕
1	V	測量業務				測量業	務		-	
2	V	補償調査				補償業	務		-	
3	V	道路設計				土木設	i t		-	
4	V	交差点設計				土木設	ā †		-	
5	V	道路休憩施設設計				土木設	ā †		-	
6	v	歩道詳細設計				土木設	(]†		-	
7		道路設計関係その化	也設計等			土木設	(iiit		-	
8		一般構造物設計				土木設	(]†		-	
9		橋梁設計				土木設	[]†			
10		地下橫断歩道				土木設	(1 1		-	
11		トンネル設計				土木設	a t		-	
12		共同溝設計				土木設	(a †		-	
13		電線共同溝(CCBox)設計			土木設	ā†		-	
14		仮設構造物詳細設書	t			土木設	:]†		-	
検索業務	务工種文字列	方眼					••			
F1	F2	F3 F4	F5 F	-6	F7	F8	F9	F10	F11	F12
検索			業務選択選択	解除	全選択	全解除]	終了
検索する業務	勝を選択して下る	さい。				2014/0	8/25 1	4:37		NUM

(5)検索文字列が含まれる業務工種が見つかった場合、「はい(Y)」をクリックするとその詳細が表示 されます。「いいえ(Y)」をクリックする事により、別業務工種を検索します。

SurveyPlan	委託業務積算法	システム Ver 7.1.4.2 - 業務工種検索		_		
検索業務	の選択					
番号	業務選択	業務名称	分類名称	ステータス	検索結果	^
47	~	地籍調査	地籍調査	検索済	無し	
48	~	基本測量(国土地理院)	測量業務	検索済	4 件	
49	~	測量作業(UR都市機構)	測量業務	検索済	1件	
50	~	委託業務(NEXCO)	委託業務	検索済	無し	
51	~	設計業務(防衛省)	設計業務	検索済	無し	
52	V	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	10 m m m m	x 食素済	無し	
53	~	 考		食索済	無し	
54	V	用 2 業務で 5件の検索文字列を含む業務	L種見つかりました。	食索済	無し	
55	V	発 しまたのです。 発 検索結果を表示しますか?		食索済	無し	
56		事		食索済	無し	Ш
57		施			無し	
58	V	夕 (よい	(Y) (IUX(N)	食索済	無し	
59	~	道时用秋日*王未勿	安吨未历	検索済	無し	
60	~	道路許認可審査・適正化指導業務	支援業務	検索済	無し	
検索業務	务工種文字列	」 方眼	115			Ţ
F1	F2	F3 F4 F5 F6 F7	F8 F9	F10	F11 F12	_
		中断				
業務工種を	検索しています	。しばらくお待ち下さい・・・	2014/08/25 1	4:42	NUM	:

検索賞	戦務の選択			
No	検索番号	業務番号	業務名称	工種名称
9				- 地形図等成果の座標補正
10				└ 図郭四隅及び方眼線等の座標修正
11	3	48	基本測量(国土地理院)	測量業務
12				└ 地殼変動位置変化補正業務
13				- 地形図等成果の座標補正
14				- 図郭四隅の座標・方眼線等の位置修正
15	4	48	基本測量(国土地理院)	測量業務
16				- 地殻変動位置変化補正業務
17				└ 地形図等成果の座標補正 🗧
18				□ 図郭四隅の座標・方眼線等の位置修正
19				└ 他業務と同時作業
20				- 図郭線・方眼線の位置展開
21	5	49	測量作業(UR都市機構)	測量業務
22				方眼测量▼
検索 F1	業務工種文字 F2	²² 列 方眼 F3	F4 F5 F6	F7 F8 F9 F10 F11 F12
印刷				終了
処理を選	訳して下さい。			2014/08/25 14:55 NUM

② 名称の編集

カーソル(濃い水色)を編集したい位置に移動し、「F5:名称編集」をクリックすると業務の編集が 出来ます。

(1)種別が「システム」の場合、変更出来るのは「単位数量当り単価の場合、有効数字4桁 (5桁目以降切捨て)」の変更及び「備考」入力だけです。

業務名称編集	
番号	1 種別 システム
業務名称	測量業務
分類名称	測量業務
補正数の言	+算方法
	◎ 加算 ◎ 乗算 ◎ 混合
☑ 単(立数量当り単価の場合、有効数字4桁(5桁目以降切捨て)とする
備考	
作成日時	2013/04/01 07:00 F10 F9
更新日時	2013/12/10 15:44 変更確定 変更破棄

(2)種別が「ユーザー」の場合、変更出来る項目は「業務名称」「分類名称」、「単位数量当り単価 の場合、有効数字4桁(5桁目以降切捨て)」の設定、「備考」です。 「補正数の計算方法」は業務作成時のみ選択(変更)できます。

業務名称編集								
番号	72 種別 ユーザー							
業務名称	業務名称 ユーザー定義業務							
分類名称	分類名称 委託業務 ▼							
補正数の調	计算方法							
	◎ 加算 ◎ 乗算 ◎ 混合							
■ 単(立数量当り単価の場合、有効数字4桁(5桁目以降切捨て)とする							
備考	備考							
作成日時	2013/04/01 07:00 F10 F9							
更新日時	2013/12/10 15:44 変更確定 変更破棄							

③ 新規業務の作成

「F6:新規業務」をクリックする事により、新たな業務を作成出来ます。 お客様が新たな業務を1から作成するのは大変な作業なので、通常は作成したい業務に似通った 業務を「F8:業務複写」して、それを編集した方が作業が楽で失敗も少ないと思われます。

業務名称編集	
番号	73 種別 ユーザー
業務名称	新規作成業務
分類名称	委託業務 ▼
補正数の	计算方法
	◎ 加算 ◎ 乗算 ◎ 混合
□ 単	立数量当り単価の場合、有効数字4桁(5桁目以降切捨て)とする
備考	
作成日時	/: F10 F9
更新日時	//: 新規作成 作成破棄

④ 業務の削除

「F7:業務削除」をクリックする事により、お客様が作成(複写)した業務を削除出来ます。 削除する業務から、見積書を作成している場合は、その見積書内容も全て削除されます。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - 業務の登録・編集												
業務の	登録・	編集										
68	名称	治山事業調査	查等業務							属性	システム	^
	分類	委託業務					補正	混	合	作成日	2013/04/01 07	:00
69	名称	林道工事調	削除の確認				9175		×	屋性	システム	.44
	分類	委託業務								作成日	2013/04/01 07	:00
70	備考	+중 3과 는 #9 는 +	2	業務名称:新	所規作成業務	務 を削除し	<i>」</i> ます。			更新日	2013/12/10 15	44
/0	石 か 分類	简采定别点(土木設計		削除された第 本業務に付除	着務は元に居 値する見積書	ますことは 豊内容も削	:出来ませ 除されま	±ん。 ます。		腐住作成日	2013/04/01 07	:00
	備考			よろしいです	すか?					更新日	2013/12/10 15	:44
71	名称 分類	地質調査(全) 地質調査								属性 作成日	システム 2013/04/01 07	00
	備考	全地連			(;	まい(Y)	- N	いえ(N)		更新日	2013/12/10 15	:44
72	名称	ユーザー定義								属性	ユーザー	
	分類 備者	土木設計					補正切捨	加細	算し	作成日 更新日	2013/04/01 07	:00
73	名称	新規作成業利	 务				2210			属性	ユーザー	
	分類	委託業務					補正	混	合	作成日	2013/12/10 16	52
	備考						切捨	無	L L	更新日	2013/12/10 16	.52
74	名称分類	新規登録業利	务				補正			属性作成日		= =
	備考						切捨			更新日		-
F1	F2	2 F3	F4	F5	F6	F7		F8	F 9	F10	F11	F12
				名称編集	新規業務	業務削除	余 業務	被写	前に移動	り後に移動		終了
[削除]	はい/ぃ	いえを選択して	ください。		カ-ソル: 7	73 登録数	1: 73	2013/	/12/10 1	6:56	1	NUM:

⑤ 業務の複写

選択したい業務にカーソル(水色)を移動し、「F8:業務複写」をクリックする事により、既存の 業務を複写して、新たな業務を作成出来ます。

「業務名称」として「(元の業務名)を複写」という業務名称が作成されますので、お客様がわかり やすい業務名称に変更して下さい。

業務名称編集								
番号	74 種別 ユーザー							
業務名称	測量業務を複写							
分類名称	則量業務							
補正数の調	補正数の計算方法							
	◎ 加算 ○ 乗算 ○ 混合							
□ 単(立数量当り単価の場合、有効数字 4 桁(5 桁目以降切捨て)とする							
備考								
作成日時	F10 F9							
更新日時	/: 複写確定 複写破棄							

⑥ 表示位置を前(上)に移動

位置を移動したい業務にカーソル(水色)を移動し、「F9:前に移動」をクリックする事により、 カーソル位置の業務の表示位置を上に移動出来ます。 ※良く使用する業務を上の位置に配置すると便利です。

⑦ 表示位置を後(下)に移動

位置を移動したい業務にカーソル(水色)を移動し、「F10:後に移動」をクリックする事により、 カーソル位置の業務の表示位置を下に移動出来ます。

⑧ 業務の登録・編集の終了

「F12:終了」をクリックする事により、「業務の登録・編集」を終了しトップメニューに戻ります。

7.2 単価セットの登録・編集

トップメニューで「単価セットの登録・編集」あるいは「F5:単価編集」をクリックすると下記画面 (以下「単価セットの登録・編集画面」という)が表示されます。

SurveyPlan 委託業務科	責算システム Ver.7.1.1 - 単価セットの	登録・編集		**
単価セットの登録	禄・編集			
1 名称	標準単価 平成25年度		属性	システム単価 🔤
借去	其大肖価		作成日時	2013/04/01 07:00
רי אוו				2013/12/10 15:44
2 名称	標準単価 平成24年度		属性	システム単価
備考	基本単価		11 成日時	2013/04/01 07:00
17 Th				2013/12/10 13.44
名称	新規登録		作成日時	
備考			更新日時	
			属性	
10 10			作成日時	
備考			更新日時	
名 称			属性	
借考			作成日時	
בי פוע			更新日時	
名称			属性	
備考			11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	
名称			作成日時	
備考			更新日時	
名 称			属性	
借者			作成日時	
C - m				
F1 F2	F3 F4 F5 百円結年 夕新結年	F6 F7 F8	F9 F1	U F11 F12 5年 2枚マー
	「「「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「」「」」「」」「」」「		刀猕灰吠 刀猕桃	
編集を行う単価セット	を選択してください。	カーソル: 1 登録数: 2 2013/	12/11 14:52	NUM

7.2.1 単価セット項目編集

「単価セットの登録・編集画面」で「F3:項目編集」をクリックすると下記画面(以下「単価項目の登録・ 編集画面」という)が表示されます。

s	SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - 単価項目の登録・編集												
	単価項	目の登録・編	帰集										
I	ł	編集単価セッ	ト標準	車単価 平成	戈25年度								
J		備	考基本	5単価									
	番号	費目	属性		名称・	規格		単位	単価		備考		Â
	1	-		測量業務									
	2	直接人件費		測量上級主任	壬技師			X	42,000				
	3	直接人件費		測量主任技能	π			X	31,600				
8	4	直接人件費		測量技師				X	25,700				
	5	直接人件費		測量技師補				X	22,400				
	6	直接人件費		測量助手				X	20,300				
	7	-		航空関係									
	8	直接人件費		操縦士				Å	43,700				
	9	直接人件費		整備士				X	34,100				
	10	直接人件費		撮影士				Å	30,500				Ŧ
	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11	F12	
	前に移動	り後に移動	印刷	項目編集	項目追加	項目削除	項目複写	検索	再検索	費目編集	単位編集	終了	
3	処理を選択してください。 カーツル: 1 登録数:1868 2013/12/11 15:00 NUM												

① 表示位置を前(上)に移動

位置を移動したい単価項目にカーソル(水色)を移動し、「F1:前に移動」をクリックする事により、 カーソル位置の単価項目の表示位置を上に移動出来ます。

② 表示位置を後(下)に移動

位置を移動したい単価項目にカーソル(水色)を移動し、「F2:後に移動」をクリックする事により、 カーソル位置の単価項目の表示位置を下に移動出来ます。

③ 印刷

「F3:印刷」をクリックする事により、単価一覧表の印刷が出来ます。

プリンタへの印刷およびExcelファイルあるいはPDFファイルへの出力が選択出来ます。

単価表 印刷	*	
出力先	ブリンタ Excel ファイル PDFファイル	
- 用紙設定 用紙サイズ:	(A 4	
用紙方向:	横置き	
- プリンタ設定 出力プリンタ名:	RICOH imagio MP C3000 RPCS -	
フォント名:		
印刷部数:	1 音序	
ファイル設定 ファイル名:	 ファイル保存する ③ ファイル保存しない 単価表様-20131211-001.pdf 	
出力先フォルタ:	C:¥SurveyPlan7¥帳票保存¥	
ビューア設定 Excel	○ プレビューから印刷する ◎ プレビューしないで印刷する	
	 ○ ビューアを起動する ◎ ビューアを起動しない 	
	印刷開始 キャンセル	

④ 単価項目編集

「F4:項目編集」をクリックする事によりカーソル(濃い水色)位置の単価項目の編集が出来ます。

費目	直接人件費		通常項目	-
属性	通常項目			
名称	測量技師			
規格				
備考				
単位	А	•	単価を標	準に戻す
単価		25,700	F10	F9
			変更確定	変更破棄

システムデータ(本システムで初めから用意されている単価項目)に関しては、費目、属性、名称、 単位を変更する事が出来ません。

「単価を標準に戻す」をクリックする事により変更した単価を初期値(初めから用意されていた値) に戻す事が出来ます。

⑤ 単価項目追加

「F5:項目追加」をクリックする事により、単価項目と追加出来ます。

#	単価項目の	編集			
	費目	材料費		通常項目	-
	属性	通常項目			
	名称	追加材料費			
	規格	追加材料規格			
	備考	追加単価			
	単位	個	•	単価を標	進に戻す
	単価		12,000	F10	F9
				変更確定	変更破棄

⑤-1 費目

費目の右側の 🔽 をクリックすると、費目(単価の種別)一覧から費目を選択出来ます。

システムデータは変更する事が出来ません。

費目一覧の左側の「*」は単価経費属性である事を示しています。

	直接人件費	通常項目	*
	労務費	労務の費用	
	材料費	通常項目	
	材料費	燃料項目	
	機械経費	通常項目	
	運転費	通常項目	
*	材料費	材料費	
*	材料費	雑品	
*	材料費 2	材料費 2	
*	機械経費	機械経費	
*	機械経費 2	機械経費 2	
*	精度管理費	精度管理費	Ξ
*	技術経費	技術経費	
*	通信運搬費	通信運搬費等	
*	施行管理費	施行管理費	
*	各種経費	消耗品等	
	その他経費	通常項目	
*	その他経費	その他経費	
	-		
*	雑機材費等	雑機材費等	
*	その他経費	通信運搬費	
	成果品検定料		
	旅費交通費	消費税除く	
	直接業務費		
	市場単価		
*	動力費	軽油・油脂	
*	消耗品費	雑品	
*	消耗品費	測定消耗品	
*	雑材料費	人件費+材料費等、比率	
*	水道光熱費	付帯設備費を含む	-

⑤-2 属性

経費の属性は費目(単価の種別)により決まっています。

「通常属性」と「経費属性」があります。

・通常属性:人件費、労務費等の単位当りの金額が決まっている単価項目を示します。

・経費属性:通常属性(人件費、労務費等)を集計した金額に経費率を掛ける事により算出される単価 項目を言います。

経費属性については、「単価項目の登録・編集」画面の「F10:費目編集」により、設定の確認・編集が 出来ます。

⑤-3 名称

単価の名称を入力します。

⑤-4 規格

単価の規格を入力します。たとえば角材の場合、その大きさ(6×6×180cm等)を示ます。

⑤-5 備考

備考を入力します。

⑤-6 単位

単位を選択します。単位については、「単価項目の登録・編集」画面の「F11:単位編集」により、 確認・編集が出来ます。

	*
点	
Km	
m	=
Km	
fmł	
万m ¹	
測線	
業務	
断面	
人	
本	
箇所	
戸	
枚	
Kg	
m3	
個	
m	
<u>ปงห</u>	
%	
台日	
台時	
筆	
江	
<u> </u> ቃብጋ°	
工法	
橋	
B	-

⑤-7 単価

単位当りの金額を入力します。

⑤-8 標準単価に戻す

「単価を標準に戻す」をクリックする事により変更した単価を初期値(初めから用意されていた値、 お客様が作成した場合は最初に入力した値)に戻す事が出来ます。

⑤-9 変更確定

「F10:変更確定」により、単価項目が追加されます。

お客様が追加(複写を含む)した単価項目はユーザー単価として登録されます。

お客様が追加した単価項目は、<u>次回アップデートした際</u>に「◎旧バージョンで追加された単価データを 移行する。」を選択して頂ければ、引き続き使用出来ます。

⑥ 単価項目削除

削除したい単価項目にカーソル(水色)を移動し、「F6:項目削除」をクリックする事によりお客様が 追加した単価項目を削除出来ます。



最初から用意されているシステムデータは削除出来ません。



⑦ 単価項目複写

複写したい単価項目にカーソル(水色)を移動し、「F7:項目複写」をクリックする事により、既存の 単価項目を最終行に追加出来ます。



複写された項目は「(元の単価名称)を複写」という、名称となりますので、適切な名称に変更して 下さい。

単価項目の	追加			
費目	材料費		通常項目	•
属性	通常項目]		
名称	ポリエステルフィ	(ルムを複写		
規格	A 1 判			
備考				
単位	枚	•	単価を橋	震準に戻す
単価		1,000	F10	F9
			変更確定	変更破棄

⑦ 単価項目の検索、再検索

「F8:検索」をクリックすると、検索文字列の入力画面が表示されます。

単価検索文字列入力	×
フィルム	
	OK キャンセル

検索文字列を入力して「OK」をクリックすると、入力された文字列を含む単価項目を先頭から 検索し検索出来た場合、カーソル(水色)位置を移動します。

SurveyPla	SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - 単価項目の登録・編集												
単価項	目の登録・	編集											
÷,	編集単価セッ	ト標準	青単価 平成	は25年度									
	備考」基本単価												
番号	費目	属性		名称・	規格		単位		単価		備考		*
258	材料費		木杭 4.5×4.5×9	0cm			本		90				
259	材料費		木杭 6.0×6.0×4	5cm			本		85				
260	材料費		木杭 6.0×6.0×6	0cm			本		110				
261	材料費		木杭 9.0×9.0×7	5cm			本		270				-
262	材料費		木杭 9.0×9.0×9	0cm			本		350				
263	材料費		35mmフィ) カラー 3 6 E	LД XP			本		240				
264	材料費		オートポジス 80cm×110	フィルム cm #300			枚		2,021				
265	材料費		モノクロポミ 24cm×26cr	ジフィルム n			枚		221				
266	材料費		カラーポジス 24cm×26cr	フィルム m			枚		560				
267	材料費		引伸用印画約 49.5cm×53	ft Icm			枚		392				+
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8		F9	F10	F11	F12	
前に移動	カ 後に移動	印刷	項目編集	項目追加	項目削除	項目複写	検索		再検索	費目編集	単位編集	終了	
処理を選	沢してください。	,			カ−ソル: 26	3 登録数:1	869 20	013/1	2/16 15:3	33		NUM	:

検索出来なかった場合は、次の画面を表示します。



同じ検索文字列を含む、別の単価項目を検索したい場合は「F9:再検索」をクリックします。

検索された次の行から、同一検索文字列を含む単価項目を検索し、検索出来た場合、カーソル(水色)位置を移動します。

再検索により、検索文字列を含む単価項目が無かった場合は、次の画面を表示します。 さらに先頭から検索する場合は「はい(Y)」をクリック、検索を中止する場合は「いいえ(N)」 をクリックします。

SurveyPla	SurveyPlan 委託業務績算システム Ver.7.1.1 - 単価項目の登録・編集										
単価項	目の登録・	編集									
ĥ	編集単価セッ	ト標準	車車価 平反	戈25年度							
	備考基本単価										
番号	費目	属性		名称・	規格		単位	単価		備考	*
1418	材料費		記録紙 サーマルフ°ロッタ月	1紙			巻	950			
1419	材料費		記録紙				枚				
1420	材料費	単個					10		x	i	
1421	材料費		🔒 指定の)文字列 「 〕	ノイルム」、	を含む、単位	両は見つかり)ませんでした。	.		
1422	材料費		🚢 先頭力	ら再検索し	ますか?						
1423	材料費					[(まい(Y)		(N)		
1424	材料費			_							
1425	材料費		VTRテープ				本				
1426	材料費		フィルム 24枚				本				
1427	材料費		写真				枚				-
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11	F12
前に移動	り後に移動	印刷	項目編集	項目追加	項目削除	項目複写	検索	再検索	費目編集	単位編集	終了
処理を選	択してください。	,			カーソル:142	26 登録数:1	869 201	3/12/16 15:5	8		NUM:

⑧ 費目(単価の種別)編集

「単価項目の登録・編集」画面で「F10:費目編集」をクリックすると下記「費目編集画面」が表示 されます。

費目編集			
1 直接人件費 2 労務費	通常項目 労務の費用		編集
3 材料費 4 材料費 5 機械経費	通常項目 燃料項目 通常項目		追加
6 連転費 7 材料費 8 材料費	通常項目 材料費 雑品	直接人件費、比率 主要材料費、比率	削除
9 材料費2	材料費2	直接入件費干労務費、比率 ▼	終了
		豆球奴 . 39	

⑧-1 費目の編集

「費目編集画面」で「編集」をクリックすると、費目内容確認及び変更が出来ます。

・通常項目の場合は「備考」及び「規格」の変更が出来ます。単位当たりの金額を単価とします。

1 直労 3 材料 4 機 2 労材料 考 費 4 税 料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 巻 7 材料 料 考 7 材料 料 考 7 材料 考 代 約 料 料 考 子 材料 料 考 子 材料 考 子 材料 料 考 子 材 料 料 考 子 材 料 料 考 子 材 料 料 考 子 約 料 料 考 子 約 料 料 考 子 約 料 料 考 子 約 料 料 考 子 約 料 料 考 子 の 約 料 料 考 子 約 料 考 子 約 料 考 子 約 料 考 子 の 約 料 考 子 の 約 月 約 月 約 月 () () ()) () ()) () () ()) () () ()) ()) () () () () () () () () () () () () ()) ()) () () () () () () () () () () ()) () () ()) () () () ()) () () () () () () ()) () () () () () ()) () () () ()) () () ()) () () () () () () () () () () () () ()) () () (費	通常項目 労務項費用 通常項項目 燃料環項目目 通常項目目 材料品 費 料料品 費 2 1 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	直接人件背 主要材料理	費、比率 費、比率 費・比率	•	編集 追加 削除 終了
UN11R2		101118 4		登録数:	39	
編集内容						
費目名称	直接人件費					
単位	X	-				確定
備考	通常項目					
規格					1	取消
数量入力	◎ 数量 or % .	入力(1 数量)	◎ 外業・内業 入	力(2数量)		
経費属性	-					
関連する	費目					
■ 直接人件 ■ 労務料費 ■ 材料費 ■ 機械費 ■ 運転費	:費 :通常; :労務(:通常; :燃料; :通常; :通常; :通常;	頁目 D費用 頁目 頁目 頁目 百日				• •

・経費属性の場合は「経費属性 □」が選択(チェック)されています。。 「備考」、「規格」及び関連する費目(集計する費目)の選択の変更が出来ます。

※下記の場合は、直接人件費、労務費、機械経費の集計金額に精度管理費係数を乗算したものを 精度管理費として、定義している事を示しています。

□構業		は料準の	直拉人件典工学教典	
917122 10 機械経費	10	1974頁2 機械経費 機械経費	■ ほんけり エカ切り 直接人件費、比率 直接人件費+ 当務費	
12 精度管理 13 枯術経費	 費	精度管理費		
14 通信連搬 15 施行管理	費	通信連搬費等 施行管理费	置援入件 叠、 比率	削除
16 各種経費 17 その他経費		消耗品等 通常項目	道接作業費、比率	▼ 終了
			登錄	录数: 39
編集内容				
費目名称	精度管理費			
単位	%	+		確定
備考	精度管理費			
規格	精度管理費係数			取消
- 数量入力	◎ 数量 or % 	入力(1 数量)	◎ 外業・内業 入力(2数	(量)
経費属性	✓			
関連する	費目	- 0		
☑ 直接人件 ☑ 労務費	F買 :通常刊 :労務0	県日 D.費用		<u>^</u>
■ 材料費	: 通常功 : 燃料功			
☑ 機械経費	?		:	
	• 通市社		•	

※費目内容の変更(特に「関連する費目」の選択の変更)は、既存の積算方法(結果)に影響を与えます ので、十分な配慮の上、変更を行って下さい。



⑧-2 費目の追加

「費目編集画面」で「追加」をクリックすると、費目の追加が出来ます。

費目名称、単位、備考、規格、数量入力内容及び経費属性の場合は、関連する(集計する)費目を選択 します。

費目編集			
31 試験費 32 引見積 33 見積 34 電第用費 35 需材料費 36 材料費 38 材料費 39 材料費	費 諸経費含む 直接経費 雑品2 油脂類 付属品 雑品	〕 直接人件費、比率 主要材料費+機械経費、 材料費(燃料項目)比率 人件費+材料費等比率 人件費+材料費等比率	 ▲ 編集 追加 削除 ● 終了
		登録数:	39
- 編集内容			
費目名称			
単位		•	確定
備考			
規格			取消
数量入力	◉ 数量 or % 入力(1 数量	▶ ◎ 外業・内業 入力(2数量)	
経費属性			
関連する	費目		
□直接人件 □労務費 □材料費 □材料費 □機械経費 □運転費	 費 : 通常項目 : 労務の費用 : 通常項目 : 燃料項目 : 通常項目 : 通常項目 : 通常項目 		•

「費目編集画面」で削除した費目にカーソル(水色)を移動し、「削除」をクリックすると、費目の 削除が出来ます。

削除しようとする費目がすでに使用されている場合は、システムエラーとなりますので、削除する前に 代価表の編集等で、その費目を使用していない事を確認して下さい。

削除の確認	
?	費目:ユーザー追加費目を削除します。 すでに使用されている場合はシステムエラーとなります。 よろしいですか?
	(はい(<u>Y</u>) しいいえ(<u>N</u>)

最初から用意されている、システムデータは削除出来ません。



7.3 変化率(補正率)セットの登録・編集

お客様が新たに変化率(補正率)を作成した場合や変更必要になった場合以外については、変化率(補正率)セットの登録・編集による変更を行わないで下さい。

7.3.1 変化率と補正率の違いについて

委託業務の積算に於いては、業務工種の条件による補正を行う場合、「変化率」と「補正率」の2通りの 補正方法があり、それを混合して使用する場合もあります。

測量業務に於いては「変化率」を使う場合が多く、補償調査及び農水省の設計業務に於いては「補正率」を 使用する場合が多いようです。

国交省の場合はその業務により「変化率」、「補正率」及びその混合型を使用します。

トップメニューから「業務の登録・編集」あるいは「F4:業務編集」をクリックすると下記「業務の登録・ 編集画面」が表示されます。

この画面で「補正」の右側に表示してある「加算」「乗算」「混合」が、その業務で使用する補正方法を 示しています。

「加算」は「変化率」、「乗算」は「補正率」、「混合」はその混合型(便宜上「補正率」と表示します)である事を示しています。

SurveyPlan ∰	SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - 業務の登録・編集												
業務の登録	録・約	最集			_	_							
5	名称	道路休憩施設	t@ #∔							屋性	システル		
	分類「	土木設計					補正	hn	笛	作成日	2013/04/01	07.00	
ĺ	備考						切捨		л	更新日	2013/12/13	11:40	
6.4	名称	朱道詳細設計								屋性	システル		
	分類	步進計幅設計					補正	hп	質	作成日	2013/04/01	07.00	
Í	満者	工作政府					切捨		7	更新日	2013/12/13	11:40	
	夕 秋 [学的机业目标	スの出まれま	上在				////			2.7 = 1		-
	口仰	坦的改訂倒來	COULTER	1] - Ț			地工	+n	ケ	周江	777A	07.00	
	力現	工不設訂					1冊正 打陸	/JU 4000	身	TF成口 面新口	2013/04/01	11:40	
	用う						헤ㅁ	**	0	史初口	2013/12/13	11:40	-
8 1	名称	一般構造物設	計				4-8-75			属性	システム		
5	分類	土木設計					補止	混	合	作成日	2013/04/01	07:00	
1	痛 考						切掊	無	L	更新日	2013/12/13	11:40	
9 1	名称	橋梁設計								属性	システム		
3	分類	土木設計					補正	混	合	作成日	2013/04/01	07:00	
1	備考						切捨	無	L	更新日	2013/12/13	11:40	
10 1	名称	地下横断歩道								属性	システム		
3	分類	土木設計					補正	乗	算	作成日	2013/04/01	07:00	
l í	備考						切捨	無	し	更新日	2013/12/13	11:40	
11 4	名称	トンネル設計								属性	システム		
3	分類	土木設計					補正	乗	算	作成日	2013/04/01	07:00	
ſ	備考						切捨	無	L	更新日	2013/12/13	11:40	-
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F	-8	F9	F10	F11	F12	
				名称編集	新規業務	業務削除	業務	被写	前に移動	後に移動		終了	
業務を選択し	てくだ	さい。			<u> </u>	5 登録数	: 71	2013/	12/18 18	8:19		NUM	:

※本書に於いては特にその違いを説明する場合以外、「変化率」という呼び方で説明させて頂きます。

① 変化率の計算方法

変化率は加算となります。

例えば路線測量の横断測量 2.0Kmの場合

地域差変化率の地域区分 交通量変化率 曲線数変化率 測点間隔・測量幅変化率 とすると	平地・都市近郊 1,000~3,000台12時間 単曲線 1Km当 1箇所 20m間隔、45m 満	$\begin{array}{c} + \ 0. \ 2 \ 0 \\ + \ 0. \ 1 \ 0 \\ - \ 0. \ 1 \ 0 \\ - \ 0. \ 1 \ 0 \end{array}$
--	---	---

変化率 設定 業務種別名称 測量業務/路線測量/横断測量 設定変化率名称 設定変化率 変化率名称 変化率 2日77 地域区分 現地条件(交通量) 軍曲線換算曲線数(1Km当り) 軍曲線換算曲線数(1Km当り) +0.200 +0.100 -0.100 地域差変 交通量変 曲線数変 線測量 線測量 線測量 化率率率 選択項目 変化率項目数 No 測点間隔 測量幅 変化率 9 10m 10 10m 11 10m 12 10m 13 10m 13 10m 14 10m 15 10m 16 10m | 2014年 | 45m以上~155m未満 | 55m~165m | 75m~175m | 75m~185m +1.500 +1.600 +1.700 +1.800 +1.800 +1.800 +1.900 +2.100 +2.400 -0.100 185m~195m 195m~195m 195m~205m 205m~250m 250m~300m <mark>45m未満</mark> 17 20m F10 変更確定 変更破棄

変化率合計は +0.20+0.10-0.10-0.10 = +0.10 となります。

4

80

٠

÷

F9

費目	数量	単位	変化率/条件	変化率	備考
測量業務					
路線測量					
横断測量	2.000	Кт	路線測量 地域差変化率 地形:平 地 地物:都市近郊	+0. 200	
			路線測量 交通量変化率 交通量:1,000~3,000台/12時間 適用:ある程度影響をうける	+0. 100	
			路線測量 曲線数変化率 単曲線換算曲線数(1Km当り):1	-0. 100	
			横断測量 測点間隔・測量幅変化率 測点間隔:20m 測量幅:45m未満	-0. 100	
合 計				+0. 100	

変化率内訳表

横断測量の単位数量(1.0Km)当たり歩掛をPとすると

横断測量の金額(A)は $A = P \times 2.0 \times (1+0.1) = P \times 2.2$ となります。

見積	吉の作成・編集						
番号	費目	数量	単位	単価	変化率	金額	備考
1	測量業務						
2	路線測量						
3	横断測 量	2.000	Km	472,805	+0.100	1,040,171	
4	直接測量費					1,040,171	
5	諸経費	80.0	%	1,040,171		832,136	
6	測量業務計					1,872,307	
7	改め					1,870,000	1万円未満
8	消費税	5.000	%	1,870,000		93,500	
9	見積金額合計					1,963,500	

② 補正率の計算方法

補正率は乗算となります。

例えば補償調査、木造建物A 2練 の場合

予備調査の有無 面積補正 とすると	予備調査を行っている 200㎡以上300㎡未満	$\begin{array}{ccc} 0. & 7 \ 0 \\ 1. & 8 \ 0 \end{array}$
-------------------------	----------------------------	---

補正率	設定		ALCONG.	
業務	重別名称			
補償	調査/用地調査等業務/用地調査等/建物等の調	査(調査+積算)/木造建物/木造	皆建物A	
設定	甫正率名称		設定補正率	2
	補正率名	称	補正率	
予備	調査を行っている場合 建	物等、70%補正	0.700	
不适	建物調査、面積補止		1.800	
/3340.	7 0		ting to the second s	
送扒	^{損日}	1	備止率項日致	8
No	建物延べ面積		補正率	
1 2 3	70㎡未満 70㎡以上130㎡未満 130㎡ <u>以上200㎡未満</u>		0.800 0.000 1.300	
4	200㎡以上300㎡未満 200㎡以上450㎡未満		1.800	
6	300m以上430m不凋 450ml以上600m²未満		3.000	, I
2	600㎡以上1,000㎡未満		4.000	
8	1,000㎡以上		5.300	·
			F10 F9	
			変更確定 変更破	糵

補正率合計は 0.70×1.80 = 1.26 となります。

補正率内訳表

費目	数量	単位	補正率/条件	補正率	備考
補償調査					
用地調査等業務					
用地調査等					
建物等の調査(調査+積算)					
木造建物					
木造建物A	2. 000	棟	予備調査を行っている場合 予備調査の有無:予備調査有り	0. 700	
			木造建物調査、面積補正 建物延べ面積:200㎡以上300㎡未満	1.800	
合 計				1. 260	

木造建物Aの単位数量(1練)当たり歩掛をPとすると

木造建物Aの金額(A)は A=P×2.0×1.26 = P×2.52 となります。

見積	言の作成・編集							
番号	費目	数量	単位	単価	補正率	金額	備考	
1	補償調査							
2	用地調査等業務							
3	用地調査等							
4	建物等の調査(調査							
5	木造建物							=
6	木造建物A	2.000	棟	95,846	1.260	241,531		
7	直接人件費計					241,531		
8	直接経費							
9	材料費等(用地調査等)	7.0	%	241,531		16,907		
10	直接原価計					258,438		

③ 混合型の計算方法

混合型は加算と乗算の混合となります。

例えば橋梁詳細設計、コンクリート上部工、(RC)3経間連続ラーメン橋の場合

橋長補正 予備設計の有無 経間変化補正 形状変化補正 類似構造物の有無 標準設計利用の有無	橋長 30m 予備設計なし 4経間 バチ形(幅員方向) 類似構造物あり 標準設計を利用	$\begin{array}{c} + \ 0 \ . \\ + \ 0 \ . \\ + \ 0 \ . \\ 0 \ . \\ 0 \ . \end{array}$	$\begin{array}{c} 0 5 3 \\ 0 5 0 \\ 0 5 0 \\ 3 0 0 \\ 6 5 0 \\ 6 0 0 \\ \end{array}$
とすると			

補正率設定		Carlos a
業務種別名称 橋梁設計/橋梁詳細設計/コンクリート上部工/((RC)3径間連続ラーメン橋(10~35m)	
設定補正率名称		設定補正率 6
	補正率名称	補正率
(RC)3保間連続之一メン橋・橋長補正 橋梁上部工・予備設計補正 橋梁上部工・径間変化補正 橋梁上部工・死状変化補正 橋梁上部工・類以構造物 橋梁上部工・標準設計利用	E v=0.708×L+84.07 コンクリート橋、鋼橋予備設計ない 連続桁 (3径間に対し) 橋梁上部工の形状が変化する場合 標準設計またJIS桁を利用する場合	+0.053 +0.050 +0.050 +0.300 0.650 0.600
選択項目		補正率項目数 2
No (RC)3径間連続ラーメン橋・橋長	補正の有	補正率
1 (RC)3径間連続ラーメン橋橋長初 2 (PC)の28関連結ちニメン橋橋長初	補正あり	+0.053
		1 .0.000
橋長 30 m 橋長を入力して下さい。	既定に戻すの変	F10 F9 更確定 変更破棄

補正率合計は (1+0.053+0.05+0.05+0.30)×0.65×0.60 ≒0.567 となります。

費目	数量	単位	補正率/条件	補正率	備考
橋梁設計					
橋梁詳細設計					
コンクリート上部工					
(RC)3径間連続ラーメン橋(10~35m)					
設計計画	1.000	橋	(RC) 3 径間連続ラーメン橋・橋長補正 (RC) 3 径間連続ラーメン橋・橋長補正の有無: (RC) 3 径間連続	+0. 053	橋長:30m
			橋梁上部工・予備設計補正 橋梁上部工・予備設計補正の有無∶橋梁上部工・予備設計補正	+0. 050	
			橋梁上部工・径間変化補正 橋梁上部工・径間数∶4 径間	+0. 050	
			橋梁上部工・形状変化補正 橋梁上部工・形状変化∶バチ形(幅員方向)	+0. 300	
			橋梁上部工・類似構造物 橋梁上部工・類似構造物の有無∶橋梁上部工・類似構造物あり	0. 650	
			橋梁上部工・標準設計利用 橋梁上部工・標準設計利用の有無∶橋梁上部工・標準設計利用	0. 600	
合 計				0. 567	
設計計算	1.000	橋	(RC)3径間連続ラーメン橋・橋長補正 (RC)3径間連続ラーメン橋・橋長補正の有無:(RC)3径間連続	+0. 053	橋長:30m

補正率内訳表

橋梁詳細設計、コンクリート上部工、(RC)3経間連続ラーメン橋の単位数量(1橋)当たり歩掛をPとすると その金額(A)は A = P × 0.567となります。

見積	唐の作成・編集							
番号	費目	数量	単位	単価	補正率	金額	備考	-
1	橋梁設計							
2	橋梁詳細設計							
з	コンクリート上部工							
4	(RC)3径間連続ラーメ							
5	設計計画	1.000	橋	312,050	0.567	176,932		
6	設計計算	1.000	橋	769,450	0.567	436,278		

7.3.2 変化率(補正率)の編集

「既存見積書編集メインメニュー」あるいは「新規見積書作成メインメニュー」で「変化率セットの登録・ 編集」あるいは「F7:変化率」をクリックすると下記画面(以下「変化率セットの登録・編集画面」という) が表示されます。

SurveyPlan 委許	毛業務積算	章システム Ver.7.1.1 【》	則量業務】 -	変化率セッ	トの登録・	編集 *					
見積提出先	見積掛	是出先1				宛名 亅	見積書	宛名1			
業務件名	測量業	業務				業務	則量業	務 - 測量業	務		
箇所	業務領	箇所				単価 相	標準単	価 平成253	年度		
変化率セッ	トの登	録·編集		_		_	_			_	
1	名 称	基準点測量 地域	差変化率					作成日時	2012/04/01	07:00	
	備 考	地域区分						更新日時	2013/12/18	17:54	
2	名称	水準測量 地域差	変化率					作成日時	2012/04/01	07:00	- =
	備考	地域区分						更新日時	2012/08/29	17:27	
3	名称	平面測量 縮尺•t	也过差变化	~率				作成日時	2012/04/01	07.00	
	備考	縮尺及び地域区分		<u> </u>				更新日時	2012/08/29	17:27	
	日野		**						0010/01/01	07.00	
4	石か	半面測重 作業重	(佣止平					11F 成口呀	2012/04/01	07:00	
	偏考	Y=(486. 38×4	A) + 51. 3	362				更新日時	2012/08/29	17:27	
5	名 称	現地測量 縮尺·步	也域/地形	彡 変化率				作成日時	2012/04/01	07:00	
	備 考	縮尺及び地域区分	}					更新日時	2012/08/29	17:27	
6	名称	現地測量 作業量	補正					作成日時	2012/04/01	07:00	
	備 考	Y=(744.04×4	4)+25. 5	596				更新日時	2012/08/29	17:27	
7	名称	数值図化変化率						作成日時	2012/04/01	07:00	
	備 考	地域差による変化	率					更新日時	2012/04/01	07:00	-
F1	F2	F3 F4	F5	F6	F7	F8	3	F9	F10 F11	F12	
		項目編集通用工種	名称編集	セット追加	セット削除	tyh複	写			終了	
処理を選択して	ください	•		カ−ሃル:	1 登録数:	26	2013/12	2/18 17:54		NUM	:

編集したい変化率セットにカーソル(濃い水色)を移動し、「F3:項目編集」をクリックすると下記、 編集変化率セットの登録・編集画面が表示されます。

SurveyPla	an 委託論	業務積算システム Ve	er.7.1.1 【測量業務】	- 変化率セットの登録・編	集			
見積提	積提出先 見積提出先1				記名 見積	書宛名1		
業務	件名	測量業務		ter en	≹務 測量	業務 - 測量業	能務	
	箇所	業務箇所		Ë	●価 標準	単価 平成25	年度	
変化率	ミセット	の登録・編集						
4=1	言語の作う	タイット 其准さ	词调显 地域美亦/	と弦				
- ann		備者地城区		U-			◎ 加算	● 乗算
	AT #0		- /]	21L al-				<u>+</u> 4. *
借亏	1切期	地形	9	地物				変化率
1		平 地	大市	街地				+0.100
2		平 地	市街	地甲				+0.100
3		平 地	市街	地乙				+0.000
4		平 地	都市	近郊				+0.000
5	2	平 地	耕:	地				+0.000
6		平 地	原	野				+0.000
7		平 地	森:	林				+0.100
8		丘陵地	市街	地乙				+0.000
9		丘陵地	都市	近郊				+0.000
10		丘陵地	耕 :	地				-0.100
11		丘陵地	原	野				-0.100
12		丘陵地	森;	林				+0.000
13		低山地	耕:	地				+0.100
14		低山地	原	野				+0.000
15		低山地	森;	林				+0.200
16		高山地	原	野				+0.100
F1		F2 F3	F4 F5	F6 F7	F8	F9	F10	F11 F12
初期選訪	R	印刷	項目編集	項目追加項目削除	項目複写			編集終了
処理を選	択してく	ださい。		カーソル: 1 登録数: 1	.7 2013	/12/19 16:52		NUM .::

※補正数の計算方法(加算、乗算)については、業務毎に決まっています。

お客様が新たに業務を作成するのみ、その補正方法を選択・変更出来ます。

補正方法の計算方法が「混合」となっている場合は「加算」と「乗算」を変化率セット毎に切り替える事が出来ます。

※参考:新規業務作成の業務名編集画面

業務名称編集				2.0	
番号	72	種別	リューザー		
業務名称	ユーザー定義業務	5			
分類名称	禾託業務 安10未初		-		
補正数の	计算方法				
	◎ 加算	◎ 乗算	◎ 混合		
□ 単	位数量当り単価の地	湯合、有効数:	字4桁(5桁目	以降切捨	て) とする
備考					
作成日時	//	:	F10)	F9
更新日時	//	:	新規作	₽成	作成破棄

① 初期選択

初期選択は変化率を選択する際、はじめに選択されている変化率を設定するものです。

選択したい変化率にカーソルを移動し「F1:初期選択」をクリックすると、その変化率にピンマークが付き初期選択変化率となります。

② 印刷

「F3:印刷」をクリックすると下記、印刷画面が表示され「印刷開始」をクリックする事により 「変化率一覧表」が出力されます。

PDF 変化率一覧表 出力	
出力先 プリンタ Excel ファイル PDI	Fファイル
用紙設定 用紙サイズ: A 4 → 用紙方向: 構置き →	
プリンタ設定 出力プリンタ名: RICOH imagio MP C3000 RPCS フォント名: MS ゴシック 印刷部数: 1	•
 ファイル設定 ファイル保存する ファイル保存する ファイル保存し ファイル名: 変化率一覧表積-20131219-003.pdf 	
出力先フォルタ: C:¥SurveyPlan7¥帳票保存¥ ビューア設定 Excel	シャックションを
PDF ● ビューアを起動する ● ビューアを起動する ● ビューアを起動 印刷開始	

② 項目編集

編集したい変化率項目にカーソル(水色)を移動し、「F5:項目編集」をクリックすると下記、変化率項目 編集画面が表示されます。

お客様が新たに変化率(補正率)を作成した場合や計算式が変更になった場合、それ以外については、項目の変更を行わないで下さい。

変化率項目 編集	** **** * *****
条件1:水面幅補正の有無	変化率算出方法
河川水面幅補正あり	◎ 変化率(定数) +0.000 ◎ 逆数 (定数)
条件2:	◎ 計算式1 Y=(AX +B) -1 ※主に測量業務で使用(C:最大
	◎ 計算式2 Y=(AX +B)/100 ※主に国交省・設計業務で使用
条件3:	◎ 計算式3 Y=A(X/M -C) +B ※主に農水省・設計業務で使用
	◎ 計算式4 Y=A(X/M) ^C +B ※主に下水道設計業務で使用
計算式パラメータ	◎ 計算式5 Y=(AX+B)/X ※主にNEXCO構造物設計で使用
パラメータ (A): 0.0035 標準数量 (M): 100	◎ 平板・地形測量 数量補正(Km) ※総面積に対して補正
パラメータ (B): 0.65 数量単位: m 🗸	◎ 平板・地形測量 数量補正(Kml) ※個別面積毎に補正
パラメータ (C): 0 小数点以下桁数: 2	◎ 地形・詳細測量 数量補正(万㎡) ※総面積に対して補正
	◎ 地形・詳細測量 数量補正(万㎡) ※個別面積毎に補正
人刀値説明:水面幅	◎ 現地測量 数量補正(Km) ※総面積に対して補正
入力ガイダンス: 平均水面幅を入力して下さい。	◎ 現地測量 数量補正(Km) ※個別面積毎に補正
	◎ 地籍現況測量 数量補正(Kmi) ※総面積に対して補正
	◎ 地籍現況測量 数量補正(Km) ※個別面積毎に補正
	F10 F9
	変更確定 変更破棄

・「条件1」、「条件2」、「条件3」には項目毎の条件を入力します。

・計算式パラメータには「変化率算出方法」で計算式1~計算式5のいずれかを選択した場合に入力します。

・「パラメータ(A)(B)(C)」には計算式のパラメータ定数A, B, Cの値を入力します。

・「標準数量」には入力値(X)の初期値、通常は計算結果(Y)が0(加算の場合)か1(乗算の場合) になる値を入力します。

- ・「数量単位」は入力する数量の単位を選択します。
- ・「小数点以下桁数」には計算結果の小数点以下有効桁数を入力します。
- ・「入力値説明」には変化率設定時の数量入力値の内容を入力します。(河川深浅測量の場合:水面幅)

 「入力ガイダンス」には変化率設定時の数量入力時の説明文を入力します。(河川深浅測量の場合:平均 水面幅を入力して下さい。)

※参考:業務種別の選択で変化率を入力値から計算式により算出する場合の入力画面

変化率 設定					-
業務種別名称					
測量業務/深浅測量/河川深浅測量					
設定変化率名称			設定	官変化率	1
	変化率名称			変化率	
河川深浅測量 水面幅変化率	水面幅	Y=0.0035X	+0.65	+0.180	
選択項目			変化率	¥項目数	2
No No 水面幅補正の有無				変化率	
1.河川水面幅補正なし				+0.000	
2 河川水面幅補止めり				+0.180	
水面幅 150 m 平均水面幅を入力して下さい。		既定に戻す	F10 変更確定	F9 変更破棄	ŧ

・「変化率(定数)」及び「定数(逆数)」には変化率が定数の場合、その条件にあった定数を入力します。 計算式1~5を使用する場合は、0(加算の場合)か1(乗算の場合)を入力します。

・計算式によって変化率を求める場合は計算式1~計算式5のいずれかを選択し、計算式パラメータに 適当な値を入力します。

・「平板・地形測量 数量補正(K ㎡) ※総面積に対して補正」->平板・地形測量の場合の数量補正、 業務箇所が複数箇所ある場合、総面積に対して数量補正を行う場合選択する。(「平板・地形測量」は現在使用 されていませんが、参考として残しています。)

・「平板・地形測量 数量補正(K m) ※個別面積毎に補正」->平板・地形測量の場合の数量補正、業務 箇所が複数箇所ある場合、個々の面積毎に数量補正を行う場合選択する。(「平板・地形測量」は現在使用 されていませんが、参考として残しています。)

・「地形・詳細測量 数量補正(K ㎡) ※総面積に対して補正」地形・詳細測量の場合の数量補正、業務箇所 が複数箇所ある場合、総面積に対して数量補正を行う場合選択する。(※「地形・詳細測量」は現在使用さ れていないため、工種から削除しました。)

・「地形・詳細測量 数量補正(K m) ※個別面積毎に補正」地形・詳細測量の場合の数量補正、業務箇所 が複数箇所ある場合、個々の面積毎に数量補正を行う場合選択する。(※「地形・詳細測量」は現在使用さ れていないため、工種から削除しました。)

・「現地測量 数量補正(K m³) ※総面積に対して補正」->現地測量の場合の数量補正、業務箇所が複数 箇所ある場合、総面積に対して数量補正を行う場合選択する。

・「地籍現況測量 数量補正(K m) ※個別面積毎に補正」->現地測量の場合の数量補正、業務箇所が複数 箇所ある場合、個々の面積毎に数量補正を行う場合選択する。

・「地籍現地測量 数量補正(K m) ※総面積に対して補正」->地籍現況測量の場合の数量補正、業務 箇所が複数箇所ある場合、総面積に対して数量補正を行う場合選択する。

・「地籍現況測量 数量補正(K m) ※個別面積毎に補正」->地籍現況測量の場合の数量補正、業務箇所 が複数箇所ある場合、個々の面積毎に数量補正を行う場合選択する。

③ 項目追加

「F6:項目追加」をクリックすると下記、変化率項目編集画面が表示されます。

变化率項目 編集	** **** * 2004 2
条件1:地形 条件2:地物 条件3:	変化率算出方法 ● 変化率(定数) +0.000 ● 逆数 (定数) ● 計算式1 Y=(AX +B) -1 ※主に測量業務で使用(C:最大 ● 計算式2 Y=(AX +B)/100 ※主に国交省・設計業務で使用 ● 計算式3 Y=A(X/M -C) +B ※主に農水省・設計業務で使用
計算式パラメータ パラメータ (A): 標準数量 (M): パラメータ (B): 0 数量単位: m ▼ パラメータ (C): 0 小数点以下桁数: 2 入力値説明:	 計算式4 Y=A(X/M) C+B ※主に下水道設計業務で使用 計算式5 Y=(AX+B)/X ※主にNEXCO構造物設計で使用 平板・地形測量 数量補正(Kml) ※総面積に対して補正 平板・地形測量 数量補正(Kml) ※総面積に対して補正 地形・詳細測量 数量補正(万ml) ※総面積に対して補正 地形・詳細測量 数量補正(万ml) ※総面積に対して補正 現地測量 数量補正(Kml) ※総面積に対して補正
入力ガイダンス:	 現地測量 数量補正(Kmi) ※個別面積毎に補正 地籍現況測量 数量補正(Kmi) ※総面積に対して補正 地籍現況測量 数量補正(Kmi) ※個別面積毎に補正 F10 F9 変更確定

・「条件1」、「条件2」、「条件3」には項目毎の条件を入力します。

・計算式パラメータには「変化率算出方法」で計算式1~計算式5のいずれかを選択した場合に入力します。

「パラメータ(A)(B)(C)」には計算式のパラメータ定数A、B、Cの値を入力します。

・「標準数量」には入力値(X)の初期値、通常は計算結果(Y)が0(加算の場合)か1(乗算の場合) になる値を入力します。

・「数量単位」は入力する数量の単位を選択します。

「小数点以下桁数」には計算結果の小数点以下有効桁数を入力します。

「入力値説明」には変化率設定時の数量入力値の内容を入力します。

「入力ガイダンス」には変化率設定時の数量入力時の説明文を入力します。

・「変化率(定数)」及び「定数(逆数)」には変化率が定数の場合、その条件にあった定数を入力します。 計算式1~5を使用する場合は、0(加算の場合)か1(乗算の場合)を入力します。

・計算式によって変化率を求める場合は計算式1~計算式5のいずれかを選択し、計算式パラメータに 適当な値を入力します。

④ 項目削除

削除したい変化率項目にカーソル(水色)を移動し、「F7:項目削除」をクリックすると下記、削除の 確認画面が表示されます。 「はい(Y)」をクリックする事により選択された変化率項目は削除されます。

※初めから用意されている、システムデータは削除できません。

削除の確認	
?	変化率項目:追加変化率項目を削除します。 よろしいですか?
	(はい(Y) しいいえ(N)

⑤ 項目複写

複写したい変化率項目にカーソル(水色)を移動し、「F8:項目複写」をクリックすると下記、複写の 確認画面が表示されます。

「はい(Y)」をクリックする事により選択された変化率項目は「元の条件名+(を複写)」という名称 で作成されます。

「F5:項目編集」によりその内容を編集します。

複写の確認		J
?	変化率項目:平 地を複写します。 よろしいですか?	
	(はい(Y) いいえ(<u>N</u>)	

⑥ 項目編集終了

「F12:編集終了」をクリックする事により項目編集画面を終了し、「変化率セットの登録・編集画面」に 戻ります。

7.3.3 変化率(補正率)セットを適用する工種の選択

「変化率セットの登録・編集画面」で「F4:適用工種」をクリックするとカーソル位置(濃い水色)の 変化率セットを適用する工種の選択が出来ます。

変化率セットを適用する業務工種の選択	BBB 1021110
セット名称 基準点測量 地域差変化率	
業務工種	
名称	区分 03
□☑測量業務	親区分
ᇦ.፼基準点測量	親区分 📃
□□□1級基準点測量	親区分
┃	子区分
□ ☑ 2級基準点測量	親区分
	子区分
	子区分
┃ □ 図3級基準点測量	親区分
■	子区分
■■■ (以採有り)水久標識設置なし	子区分
	子区分
□ □ □ 20 抹なし 水久悰諏設直なし	于达分 朝豆八
□ 124級基準黒測重 □ 124級本作品を有機認要な	親区分
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	丁匹刀 朝区公 -
	: ##IA // :
	F10 F9
N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	変更確定 変更破棄

チェックボックスをクリックする事により選択/非選択の変更を行います。

親区分をクリックすると、それに付随する全ての親区分、子区分等の選択/非選択が変更になります。

※適用工種の選択(変更)はお客様が新たに変化率セットを作成した場合、適用工種が変更になった場合 以外は行わないで下さい。

7.3.4 変化率(補正率)セット名称の編集

「変化率セットの登録・編集画面」で名称等を変更したい変化率セットにカーソル(濃い水色)を移動し 「F5:名称編集」をクリックすると下記、変化率セットの編集画面が表示されます。

変化率セット名称	の編集
名称	基準点測量 地域差変化率
備考	地域区分
項目タイトル1	地形
項目タイトル2	地物
項目タイトル3	
作成日時	2012/04/01 07:00 F10 F9
更新日時	2013/12/24 09:32 変更確定 変更破棄

- ・名称:変化率セットの名称
- ・備考:変化率セット備考
- ・項目タイトル1:変化率条件1の条件名称
- ・項目タイトル2:変化率条件2の条件名称
- ・項目タイトル3:変化率条件3の条件名称

7.3.5 変化率(補正率)セットの追加

「変化率セットの登録・編集画面」で「F6:セット追加」をクリックすると下記、変化率セットの名称の 登録画面が表示されます。

変化率セット名称	の登録	
名 称	新規変化率セット	
備考		
項目タイトル1		
項目タイトル2		
項目タイトル3		
作成日時 更新日時	/:	F10 F9 変更確定 変更破棄

・名称:変化率セットの名称

・備考:変化率セット備考

- ・項目タイトル1:変化率条件1の条件名称
- ・項目タイトル2:変化率条件2の条件名称
- ・項目タイトル3:変化率条件3の条件名称

各値を入力、「F10:変更確定」した後、項目の編集(「F3:項目編集」)及び適用工種の選択(「F4:適用工種」) を行います。

7.3.6 変化率(補正率)セットの削除

「変化率セットの登録・編集画面」で削除したい変化率セットにカーソル(濃い水色)を移動し、 「F7:セット削除」をクリックすると下記、変化率セットの削除確認画面が表示されます。

「はい(Y)」をクリックする事により選択した変化率セットは削除されます。

※初めから用意されている、システムデータは削除できません。



7.3.7 変化率(補正率)セットの複写

「変化率セットの登録・編集画面」で削除した変化率セットにカーソル(濃い水色)を移動し、 「F8:セット 複写」をクリックすると下記、変化率セットの複写確認画面が表示されます。

「はい(Y)」をクリックする事により選択した変化率セットが「元の変化率名称+(を複写)」という 名称で作成されます。

複写の確認	X
? 変化率セット:基準点測量 よろしいですか?	地域差変化率を複写します。
	(はい(Y) いいえ(N)

次に変化率セット名称の登録画面が表示されますので、セットにの追加同様、適当な値を入力し、「F10:変 更確定」した後、項目の編集(「F3:項目編集」)及び適用工種の選択(「F4:適用工種」)を行います。

変化率セット名称	変化率セット名称の登録	
名 称	基準点測量 地域差変化率を複写	
備考	地域区分	
項目タイトル1	地形	
項目タイトル2	地物	
項目タイトル3		
作成日時	F10 F9	
更新日時	変更確定 変更破棄	

7.4 各種経費率セットの登録・編集

お客様が新たに業務を作成し、各種経費率セットを作成する場合や変更必要になった場合以外については、各種諸経費率セットの登録・編集による変更を行わないで下さい。

7. 4. 1 経費率の種別について

本システムでは経費率の種別を「集計」「経費率」「技術経費率」「安全費率」「冬期補正率」「業務計」 の6種類用意しています。

① 集計 :「直接測量費」、「直接原価計」、「業務原価計」のように金額の集計(小計)を算出する場合に 使用します。

調査価格率及び低入札価格率を設定でき、見積書の作成・編集において調査価格及び低入札価格の確認が出来ます。

1	集計セット名称の	編集		-
	名 称	直接測量費		
	備考			
	調査価格率	90.0 %	低入札価格率	80.0 %
l	作成日時	2012/04/01 07:00	F10	F9
l	更新日時	2012/08/04 11:16	変更確定	変更破棄

- ② 経費率 : 「諸経費」、「その原価」、「一般管理費」、「技術経費」、「施工管理費」、「電子成果品作成費」 等、集計値に決められた経費率を掛けてその費用を算出する場合に使用します。
 - ・有効小数点桁数が設定出来ます。
 - ・端数処理の計算方法が設定出来ます。
 - ・特殊計算については防衛省の成果品費等のように費用の算出に特別な処理が必要な場合に使用します。 ※お客様は変更/編集出来ません。

下限価格、上限価格については、成果品製本費等のように下限価格あるいは上限価格を設定したい場合に使用します。

・調査価格率及び低入札価格率の設定は、見積書の作成・編集において調査価格及び低入札価格の確認 を行うために使用します。

経費率セット名称	の編集
名称	諸経費
備考	
有効小数点	行数 1 🗸
端数処理	0 切り捨て無し
特殊計算	 0 特殊計算しない
下限価格	上限価格
調査価格率	50.0 % 低入札価格率 50.0 %
作成日時	2012/04/01 07:00 F10 F9
更新日時	2012/10/09 16:24 変更確定 変更破棄
③ 技術経費 :「技術経費」を算出する場合に使用します。

(5)

技術経費の場合、通常の経費の入力項目の他に、技術経費に掛かる諸経費率の入力項目があります。

技術経費率セット	名称の編集	
名 称	技術経費(30%)	
備考		
有効小数点体	行数 1 · 技術経費に掛かる諸経費率 120	
端数処理	0 切り捨て無し]
特殊計算	0 特殊計算しない	-
下限価格	上限価格	
調査価格率	% 低入札価格率 %	
作成日時	2012/04/01 07:00 F10 F9	
更新日時	2012/09/20 16:20 変更確定 変更破棄	

④ 安全費 : 安全費は主に測量業務の場合用いられ、変化率(補正率)と同様にその条件により、 安全費率が異なるので、項目タイトルの入力項目があります。。

安全費率セット	名称の編集	
名称	安全費	
備 考	地域区分	
項目タイトル1	地物	
項目タイトル2		
項目タイトル3		
作成日時	2012/04/01 07:00 F10 F9	
更新日時	2012/08/03 08:56 変更確定 変更破棄	
冬期補正率セット	名称の編集	- り、冬期補正率
名 称	冬期補正	
備考	外業期間	
項目タイトル1	外業期間 備考を入力します(省略可能)	
項目タイトル2		
項目タイトル3		
作成日時	2012/04/01 07:00 F10 F9	
更新日時	2012/08/03 08:57 変更確定 変更破棄	
	安全費率セット 名称 項目タイトル1 項目タイトル2 項目タイトル3 作成日時 夏朝補正率セット 冬期補正率セット 名称 項目タイトル3 作 項目タイトル3 作 項目タイトル1 項目タイトル3 作 項目タイトル1 項目タイトル3 市 項目タイトル1 項目タイトル3 市 項目タイトル3 作成日時 更新日時 更新日時	安全費率セット名称の編集 名称 安全費 備考地域区分 項目タイトル1 地物 項目タイトル2 項目タイトル2 項目タイトル3 作成日時 2012/04/01 07:00 F10 F9 更新日時 2012/08/03 08:56 冬期補正率セット名称の編集 名称 冬期補正 備考 外業期間 項目タイトル2 項目タイトル1 外業期間 項目タイトル2 項目タイトル3 年成日時 2012/08/03 08:56 変更確定 変更破棄 冬期補正率セット名称の編集 項目タイトル1 外業期間 備考 外業期間 項目タイトル2 項目タイトル3 作成日時 2012/04/01 07:00 F10 F9 変更確定 変更確定 変更破棄

⑥ 業務計 : 業務計は全ての業務に1つだけ必ず必要で、その業務の積算合計金額となります。

業務計セット名称	の編集		
名称	測量業務計		
備考			
作成日時	2012/04/01 07:00	F10	F 9
更新日時	2012/08/30 16:07	変更確定	変更破棄

7.4.2 各種経費率の項目編集

「既存見積書編集メインメニュー」あるいは「新規見積書作成メインメニュー」で「各種経費率セットの登録・編集」あるいは「F8:経費率」をクリックすると下記画面(以下「経費/集計セットの登録・編集 画面」という)が表示されます。

SurveyPlan 委	託業務積算	章システム V	er.7.1.1 【 🏾	則量業務】 -	経費/集計:	セットの登録	・ 編集		_		<u>.</u>		
見積提出先	見積掛	是出先1				峛	名	見積書	宛名1				
業務件名	測量業	能務				業	转温	則量業	務-測量業	務			
箇所	業務領	箇所				<u> </u>	価格	票準単	価 平成25	年度			
経費/集計	セット	の登録・	帰集	_	_	_						_	
1	名 称	安全費							作成日時	2012/	/04/01	07:00	
安全費率	備 考	地域区分	}						更新日時	2012/	08/03	08:56	
2	名 称	冬期補正	E						作成日時	2012/	/04/01	07:00	
冬期補正	備 考	外業期間	1						更新日時	2012/	08/03	08:57	
3	名 称	直接測量	L費						作成日時	2012/	/04/01	07:00	1
集計	備 考								更新日時	2012/	/08/04	11:16	
4	名 称	諸経費							作成日時	2012/	/04/01	07:00	Ī
経費率	備 考								更新日時	2012/	10/09	16:24	
5	名 称	技術経費	ľ.						作成日時	2012/	/04/01	07:00	Ī
経費率	備 考								更新日時	2012/	/08/03	08:58	
6	名 称	測量業務	务計						作成日時	2012/	/04/01	07:00	Ī
業務計	備 考								更新日時	2012/	08/30	16:07	
	名称	新規登録	*						作成日時				Ī
	備 考								更新日時				-
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8		F9	F10	F11	F12	
		項目編集	適用工種	名称編集	セット追加	セット削除	tyト複	写				終了	
編集を行う経費	譙を行う経費/集計セットを選択してください。 カーソル: 1 登録数: 6 2013/12/24 13:48 NUM ,												

項目編集した経費率セットにカーソル(濃い水色)を移動し、「F3:項目編集」をクリックすると下記、 項目の編集が出来ます。

※経費率の種別のうち「集計」「業務計」については項目編集は出来ません。

※「安全費率」「冬期補正率」と「経費率」「技術経費率」については項目編集の内容が異なります。

(1)「安全費率」「冬期補正率」の項目編集

「安全費率」と「冬期補正率」については変化率と同様に、その条件により補正率(%)が決定されます。 ここでは便宜的に「安全費率」として説明します。

Survey	Plan 委託	業務積算システ	人 Ver.7.1.1 【湯	則量業務】 -	安全費率セ	ットの登録・	編集				
見積	提出先	見積提出先	1			宛	名見	積書宛名1			
業	務件名	測量業務				業	務測	量業務 - 測量:	業務		
	箇所	業務箇所				単	価標準	準単価 平成25	5年度		
安全	費率セ	ットの登録・	編集								
編集	安全智	率セット 安	全雪								
		備考地	域区分								
番号	初期		地物							補正	率 (%)
	1 🦻	補正無し									+0.000
	2	大市街地									+4.000
	3	市街地甲									+3.500
	4	市街地乙									+3.000
	5	都市近郊									+3.000
	5	その他									+2.500
	*	新規項目									
F	1	F2 F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11	F12
初期	羅択	印刷		項目編集	項目追加	項目削除	項目複写				編集終了
処理を	選択して	ください。			カーソル:	1 登録数: 6	5 20	13/12/24 17:36			NUM:

① 初期選択

初期選択は「安全費率」を選択する際、はじめに選択されている「安全費項目」を設定するものです。 選択したい「安全費項目」にカーソルを移動し「F1:初期選択」をクリックすると、その「安全費率項目」 にピンマークが付き初期選択「安全費項目」となります。

2 印刷

「F3:印刷」をクリックすると下記、印刷画面が表示され「印刷開始」をクリックする事により 「安全費率一覧表」が出力されます。

PDF 安全費率 出力	es seges:
出力先	ブリンタ Excel ファイル PDFファイル
用紙設定	
用紙サイズ:	A 4 -
用紙方向:	横置き
プリンタ設定	
出力プリンタ名:	RICOH imagio MP C3000 RPCS -
フォント名:	M S ゴシック ・
印刷部数:	1 音序
- ファイル設定	③ ファイル保存する ⑦ ファイル保存しない
ファイル名:	安全費率橫-20131224-001.pdf
出力先フォルダ:	C:¥SurveyPlan7¥帳票保存¥ 参照
ビューア設定	
Excel	③ プレビューから印刷する 〇 プレビューしないで印刷する
PDF	④ ビューアを起動する 〇 ビューアを起動しない
	印刷開始 キャンセル

編集したい安全費率項目にカーソル(水色)を移動し、「F5:項目編集」をクリックすると下記、安全費 項目編集画面が表示されます。

「安全費率」「冬期補正率」については、条件及び補正率(定数)の箇所のみ編集します。

条件1:地物	補正率算出方法
大市街地	◎ 補正率(定数) +4.000 % ○ 逆数(定数)
条件2:	 計算式1 Y=(AX +B) -1 ※主に測量業務で使用(C:最大
条件3:	 計算式2 Y=(AX +B)/100 ※主に国交省・設計業務で使用 計算式3 Y=A(X/M -C) +B ※主に嵐水省・設計業務で使用 計算式4 Y=A(X/M) C +B ※主に下水道設計業務で使用
計算式パラメータ パラメータ (A): 標準数量 (M):	 計算式5 Y=(AX+B)/X ※主にNEXCO構造物設計で使用 平板・地形測量 数量補正(Km) ※総面積に対して補正
パラメータ (B): 0 数量単位: m マ	 平板・地形測量数量補正(Km) ※個別面積毎に補正 地形・詳細測量数量補正(万m) ※総面積に対して補正
入力值説明:	 地形・詳細測量 数量補正(万㎡) ※個別面積毎に補正 現地測量 数量補正(K㎡) ※総面積に対して補正
入力ガイダンス:	◎ 現地測量 数量補正(Km) ※個別面積毎に補正
	 地籍現況測量 数量補正(Kml) ※総面積に対して補正 地籍現況測量 数量補正(Kml) ※個別面積毎に補正
	F10 F9

「安全費率」は「見積書の作成・編集画面」の「F10:条件設定」で「□ 安全比率項目を追加する」に チェックをして

見積項目の設定	** 214 10
- システム情報設定	
☑ 消費税項目を追加する(内訳表)	→税率 5,000 %
☑ 消費税項目を追加する(統括表)	
☑ 安全費率項目を追加する	
🗹 冬期補正項目を追加する	
☑ 冬期補正を外業数量で計算する	
🗹 合計金額の改め(丸め)項目を追加する	→ 1万円未満丸め(切り捨て) -
🔲 値引き項目を追加する	
📃 見積書表紙で「件名:」、「場所:」等を印	字しない (Excel オリジナル見積表紙編集用)
🔲 単位数量当り単価の場合、有効数字4桁(5	桁目以降切捨て)とする
■ 業務価格が1万円単位となるように、諸経費	及び一般管理費で端数を調整(切り捨て)
	F10 F9
	支史唯正 贫史收果

「見積書の作成・編集画面」でカーソル(濃い水色)を「安全費」に移動し、「F6:項目編集」をクリック する事により、設定出来ます。

J	見積項目 編集			1			
	費目	安全費					
	単価	7,414,731]		
	数量	4.000	単位	%		· ·	
	選択項目	大市街地				•	
	金額	補正無し				Ĩ	
l	sittle bips	大市街地				-	l
1	備考	市街地甲					l
1		市街地乙				1	Ľ
l		都市近郊					ľ
L		その他					

③ 項目追加

「F6:項目追加」をクリックすると下記、安全費項目編集画面が表示されます。

「安全費率」「冬期補正率」については、条件及び補正率(定数)の箇所のみ編集します。

条件1:地物	補正率算出方法 ◎ 補正率(定数) +0.000 % ◎ 逆数(定数)
条件2:	 計算式1 Y=(AX +B)-1 ※主に測量業務で使用(C:最大 計算式2 Y=(AX +B)/100 ※主に国交省・設計業務で使用
条件3: 計算ポパラメータ	 計算式3 Y=A(X/M -C) +B ※主に農水省・設計業務で使用 計算式4 Y=A(X/M)[^]C +B ※主に下水道設計業務で使用 計算式5 Y=(AX+B)/X ※主にNEXCO構造物設計で使用
バラメータ (A): 標準数量 (M): パラメータ (B): 0 数量単位: m ▼ パラメータ (C): 0 小数点以下桁数: 2 入力値説明: 入力ガイダンス:	 平板・地形測量 数量補正(Km) ※総面積に対して補正 平板・地形測量 数量補正(Km) ※個別面積毎に補正 地形・詳細測量 数量補正(Km) ※総面積に対して補正 地形・詳細測量 数量補正(Km) ※総面積に対して補正 現地測量 数量補正(Km) ※総面積に対して補正 明地測量 数量補正(Km) ※総面積に対して補正
	 ○ 地籍現況測量 数量補正(Km) ※個別面積毎に補正 F10 F9 変更確定 変更破棄

④ 項目削除

削除したい安全費率項目にカーソル(水色)を移動し、「F7:項目削除」をクリックすると下記、削除の 確認画面が表示されます。 「はい(Y)」をクリックする事により選択された安全費項目は削除されます。

※初めから用意されている、システムデータは削除できません。



⑤ 項目複写

複写したい安全費率項目にカーソル(水色)を移動し、「F8:項目複写」をクリックすると下記、複写の 確認画面が表示されます。

「はい(Y)」をクリックする事により選択された安全費率項目は「元の条件名+(を複写)」という名称 で作成されます。

「F5:項目編集」によりその内容を編集します。

複写の確認		x
?	安全費率項目:大市街地を複写します。 よろしいですか?	
	(はい(Y) いいえ(N)

⑥ 項目編集終了

「F12:編集終了」をクリックする事により項目編集画面を終了し、「経費/集計セットの登録・編集画面」 に戻ります。

(2)「経費率」「技術経費率」の項目編集

「経費率」「技術経費率」については集計金額の範囲(下限金額〜上限金額)毎にその経費率を設定します。 ここでは便宜的に「諸経費」として説明します。

※諸経費の場合の経費項目の設定例

SurveyPla	an 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【測量業務】 - 経費	率項目の登録・編集		
見積提	出先 見積提出先1	宛名 見積書宛名1		
業務	5件名 測量業務	+名 測量業務 業務 測量業務 - 測量業務		
	箇所 業務箇所	単価 標準単価 平成25年度		
472 PD 76	「「日本書」、短集			
in the second	宿柱貝半ビット」語柱質			
	偏考			
番号	下限金額	上限金額 経費率(%) 🔶		
1		503,000 87.8		
2	503,001	507,000 87.7		
3	507,001	512,000 87.6		
4	512,001	517,000 87.5		
5	517,001	521,000 87.4		
6	521,001	526,000 87.3		
7	526,001	531,000 87.2		
8	531,001	536,000 87.1		
9	536,001	541,000 87.0		
10	541,001	546,000 86.9		
11	546,001	. 551,000 86.8		
12	551,001	556,000 86.7		
13	556,001	. 561,000 86.6		
14	561,001	566,000 86.5		
15	566,001	571,000 86.4		
16	571,001	576,000 86.3		
F1	F2 F3 F4 F5	F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12		
	印刷 項目編集 項目	目追加 項目削除 項目複写 編集終了		
処理を選	択してください。 おんちょう かいしょう おんちょう おんちょう かいしょう かいしょう おんちょう かいしょう おんちょう かいしょう おんちょう かいしょう おんちょう かいしょう かいしょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひ	ーソル: 1 登録数: 431 2013/12/24 18:22 NUM:		

技術経費やその他の経費率の場合、集計金額によらず、経費率が決まっている場合もあります。 ※技術経費の場合のの経費項目の設定例

SurveyPlan 委詞	毛業務積算 :	システム	Ver.7.1.1 [則量業務】 -	経費率項目	の登録・編集	l			4.1		
見積提出先	見積提	出先1				3	包名	見積	書宛名1			
業務件名	測量業	務				34	業務	測量	業務 - 測量詞	業務		
箇所	業務箇	所				ì	単価	標準	単価 平成25	5年度		
経費率項目	の登録・	編集										
編集諸経費	軍率セッ	ト技術	経費									
	備	考										
番号		Т	限金額					上限会	額		×	圣費率(%)
1					0				99,999,999	9,999,999		120.0
*				新規	項目							
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7		-8 1/215	F9	F10	F11	F12 編佳数了
		Cinybi		視日福集			_4 <u>4</u> ⊟	112-7			ſ	福美校
∥処理を選択して	くたさい。				カーソル:	1 登録数:	1	2013	/12/24 18:25			経費率項目編集を

① 印刷

「F3:印刷」をクリックすると下記、印刷画面が表示され「印刷開始」をクリックする事により 「諸経費率一覧表」が出力されます。

DF 諸経費率 出力	as seens
出力先	ブリンタ Excel ファイル PDFファイル
用紙設定	
用紙サイズ:	A 4 -
用紙方向:	構置き ▼
プリンタ設定	
出力プリンタ名:	RICOH imagio MP C3000 RPCS v
フォント名:	M S ゴシック ▼
印刷部数:	1 部
ファイル設定	
	◎ ファイル保存する ○ ファイル保存しない
ファイル名:	諸経費率橫-20131224-001.pdf
出力先フォルダ:	C:¥SurveyPlan7¥帳票保存¥ 参照
ビューア設定	
Excel	◎ プレビューから印刷する ◎ プレビューしないで印刷する
PDF	
	● ビューアを起動する

② 項目編集

編集したい経費率項目にカーソル(水色)を移動し、「F5:項目編集」をクリックすると下記、経費率 項目編集画面が表示されます。

下限金額及び上限金額とその場合の経費率を入力/編集します。

ł	経費率項目の編	集				
	下限金額	0	~	上限金額	999999999	999999
	経費率	120.0	%			
				an Az	F10 更確定	F9 変更破棄

③ 項目追加

「F6:項目追加」をクリックすると下記、経費率項目の追加画面が表示されます。

経費率項目の通	<u>当</u> 加			
下限金額		~ 上限	金額	
経費率	0.0	%		
			F10 変更確定	F9 変更破棄

削除したい経費率項目にカーソル(水色)を移動し、「F7:項目削除」をクリックすると下記、削除の 確認画面が表示されます。 「はい(Y)」をクリックする事により選択された経費費項目は削除されます。

※初めから用意されている、システムデータは削除できません。



⑤ 項目複写

複写したい経費率項目にカーソル(水色)を移動し、「F8:項目複写」をクリックすると下記、複写の 確認画面が表示されます。

「F5:項目編集」によりその内容を編集します。



⑥ 項目編集終了

「F12:編集終了」をクリックする事により項目編集画面を終了し、「経費/集計セットの登録・編集画面」 に戻ります。

7.4.3 経費/集計セットを適用する工種の選択

「経費/集計セットの登録・編集画面」で「F4:適用工種」をクリックするとカーソル位置(濃い水色)の 経費/集計セットを適用する工種の選択が出来ます。

※お客様が業務工種の追加を行った場合は、ここで該当する集計セット・経費率セットに適用(チェック) を追加する必要があります。

冬期補正率セットの集計対象とする業務工種の選択			
セット名称 冬期補正			
業務工種			
名称		区分	Co
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		親区分	
□☑水準測量		親区分	
─────────────────────────────────────		子区分	
─────────────────────────────────────		子区分 ママム	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		<u>구</u> 조 까 구 조 ☆	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		ヨロカ 親区分	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		子区分	
┃		子区分	
白回打合せ協議		親区分	
		子区分	
		子区分 ママム	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		士区ガ 朝区分	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		不区分	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		子区分	•
	F10	F9	
	変更確定	変更破棄	

チェックボックスをクリックする事により選択/非選択の変更を行います。

親区分をクリックすると、それに付随する全ての親区分、子区分等の選択/非選択が変更になります。

※業務工種の行位置が適用しようとする経費/集計セット自身及びその下にある工種については適用 出来ません。

下記の例では適用しようとする諸経費セット自身及びその下の工種についてはチェック出来ないようになっています。

諸経費率セットの集計対象とする業務工種の選択	Lane a
セット名称諸経費	
業務工種	
名称	区分 😋
 ▲ 地区 ▲ 日地区 ▲ 回 市確定測量(出来形測量) ▲ 回 市確定測量(出来形測量) ▲ 回 市確定測量(出来形測量) ▲ 回 10ha(現地点検測量1日) ▲ 20ha(現地点検測量2日) ▲ 30ha(現地点検測量2日) ▲ 30ha(現地点検測量2日) ▲ 40ha(現地点検測量2日) ▲ 40ha(現地点検測量2日) ▲ 50ha(現地点検測量2日) ▲ 50ha(現地点検測量2日) ▲ 50ha(現地点検測量2日) ▲ 50ha(現地点検測量2日) 	子区分子区分分子区区分分子区区分分子区区分分子区区分分子子区区分分子子区区分分子子区区分分子子区区分分子子区区分分子子区分分子子区分分子器。 経 羅 器計 □
F10 亦百碑宅	F9 亦面破棄

7.4.4 経費/集計セット名称の編集

「経費/集計セットの登録・編集画面」で名称等を変更したい変化率セットにカーソル(濃い水色)を 移動し「F5:名称編集」をクリックすると、経費/集計セットの編集画面が表示されます。

編集内容については、種別によって異なります。

各々の編集内容については「7.4.1 経費率の種別について」を参照して下さい。

7.4.5 経費/集計セットの追加

(1)「経費/集計セットの登録・編集画面」で「F6:セット追加」をクリックすると下記、 「経費率セットの名称の登録画面」が表示されます。

最初に経費率の種別を「集計」「経費率」「技術経費率」「安全費率」「冬期補正率」「業務計」の中から 選択します。

入力(編集)内容はその種別により異なります。

各々の入力(編集)内容については「7.4.1 経費率の種別について」を参照して下さい。

経費率セット名称の登録							
経費種別	集計 ▼						
名称	集 計						
	経費率						
備考	技術経費率						
調査価格率	安全費率	入札価格率 %					
	冬期補正率						
作成日時	業務計	F10 F9					
更新日時	//:	変更確定変更破棄					

(2) 名称等の編集後、項目の編集(「F3:項目編集」)を行います。

(3)経費/集計セットを追加した場合、「業務工種の登録・選択画面」に於いて、その経費/集計セット が見積書のどの行に印字されるか、設定する必要があります。

 トップメニューの「システム情報・自社情報の設定」で「6.編集設定」を選択し、「業務種別の 編集で業務種別の位置移動」を「◎許可する」に変更します。

システム情報・自社情報の設定 1.自社情報の設定 2.印刷情報の設定 3.システム設定 4.システム復旧/バックアッフ° 5.データ最適化 6.編集設定 業務種別の編集で親区分のコピー ※ 約客様が新規の業務種別を作成する時以外は親区分のコピーを許可しないでください。 ※ 約区分をコピーレてあるの子区分はコピーされません。							
1. 自社情報の設定 2. 印刷情報の設定 3. システム設定 4. システム復旧/バックアップ 5. データ最適化 6. 編集設定 業務種別の編集で親区分のコピー ◎ 許可しない ※ 約客様が新規の業務種別を作成する時以外は親区分のコピーを許可しないでください。 ※ 約回しない ※ 約回分をコピーしてあるの子区分はコピーされません。							
 業務種別の編集で親区分のコピー 第一日しない ※ 約客様が新規の業務種別を作成する時以外は親区分のコピーを許可しないでください。 ※ 親区分をコピーレてもその子区分はコピーされません。 							
業務種別の種別編集で単位の変更 ※ お客様が新規の業務種別を作成する時以外は単位の変更を許可しないて下さい。 ※ 新客様が新規の業務種別を作成する時以外は単位の変更を許可しないて下さい。 ※ 業務種別の単位を変更しても代価表の内容(歩掛り)は変更しません。 ※ 業務種別の単位を変更した場合は、お客様が代価編集(歩掛りの変更)を行って下さい。 							
 業務種別の編集で区分の変更(親区分く->子区分く->経費区分) ※ お客様が新規の業務種別を作成する時以外は区分変更を許可しないでください。 ※ 親区分が変更された場合、その区分の下に配置されている業務種別は全て削除されます。 子区分が変更された場合、その区分の下に配置されている代価データは全て削除されます。 ※ 経費区分に変更した場合、業務種別名称と一致する経費率セットを作成する必要があります。 							
※ 程料は方に変更した場合、業務権別名称と一致する程料キセットを作成する必要があります。 業務種別の編集で業務種別の位置移動 ◎ 許可しな() ◎ 許可する ※集計区分、経費区分等をまたがって移動を行わないでください。							
 ※ 本編集設定は本システムを終了あるいは再起動により無効(許可しない)になります。 ※ 業務種別を編集する場合は予め「4.データバックアップ」を行う事をお勧めします。 ※ 業務種別編集によりSurveyPlanが正常に動作しなくなった場合は、バックアップデータのリストア、システム復旧あるいはアップデート/再インストール処理を行って下さい。 システム案急終了(F5,F8,F6,F7) 							
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12							

②「既存見積書編集メインメニュー」あるいは「新規見積書作成メインメニュー」で「業務工種の登録・ 選択」あるいは「F3:業務工種」をクリックします。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【測量業務】 - 業務工種の登録・選択	
見積提出先 見積提出先1 宛名 男	1積書宛名1
業務件名 測量業務 業務 測	則量業務 − 測量業務
箇所 業務箇所 単価 樹	票準単価 平成25年度
業務工種の登録・選択	
業務工種名称	作業数量 変化率
■ 測量業務 ■ 基準点測量 ■ 水準測量 ■ 現地測量 ■ 平板測量 ■ 数値図化(写真測量) ■ 路線測量 ■ 河川測量 ■ 河川測量 ■ 「戸地測量 ■ 用地測量 ■ 用地測量 ■ 二流量観測業務	20.000 点 +0.000 100.000 Km +0.000 0.100 Km ² +0.000 0.100 Km ² +0.000 1.000 Km ² +0.000 1.000 Km +0.000 1.000 Km +0.000 10.000 測線 +0.000 10.000 m ² +0.000 1.000 Fm ² +0.000 1.000 手m ² +0.000
●■技術管理費	1.000 式 10.000
- □ 直接測量費 □諸経費 □ 技術経費 □ 測量業務計	集 計 費 卒 費 本 業務計
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 [建決切替] (代価編集) (丁種編集) (丁種編集) (丁種編集) (丁種編集) (丁種編集)	F9 F10 F11 F12 (万) (数量交更) (次化率) (執了)
カ─ソル: 329 登録数: 571 2	2013/12/25 11:29 NUM

- ③ 追加した経費/集計セットを挿入したい行(付近)の親区分のカーソル(濃い水色)位置で 「F6:工種追加」をクリックします。
- ④ 追加した経費/集計セットの印字名称を入力します。
- ⑤ 追加した経費/集計セットと同じ種別の「区分」を選択します。

業務工種の追加		1.00	
名称: 1:測量業系 2: └技術 3: └新	务 所管理費 経費率セット		
区分:	経費項目 🗸		
経費率セット名:	親区分 子区分 線要項日]
	集計項目 安全費項目 冬期補正項目 業務計項目	F10 F9 変更確定 変更破棄	

⑥ 経費率セット名は一覧の中から今回追加した経費/集計セットを選択します。

業務工種の	0 g	
名称:	: 測量業務 : □ 技術管理費 : □ 「新経費率セット	
	区分: 経費項目	
	▲セット名: 4: 諸経費 0: 未定 4: 諸経費 5: 技術経費 7: 新経費率セット	

⑦ 追加した経費/集計セットが印字したい行位置にない場合は、「F3:前に移動」あるいは「F4:後に移動」 をクリックする事により適当な行位置に移動します。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【測量業務】 - 見積業務工種の選択・登録 *		
見積提出先 見積提出先1 宛名 見積書	标名1	
業務件名 測量業務 業務 測量業	ξ務 − 測量業務	
箇所 業務箇所 単価 標準単	值価 平成25年度	
見積業務工種の選択・整録		
業務工種名称	作業数量 変	記述率
 測量業務 基準点測量 水準測量 可,準測量 一部 一部 一部 一部 二 二<!--</th--><th>20.000 点 100.000 Km 0.100 Km² 0.500 Km² 1.000 Km 1.000 Km 1.000 Km 10,000 m² 1.000 万m² 1.000 万m² 1.000 天m² 1.000 天m² 1.000 天m² 1.000 天m² 1.000 天m² 1.000 天m² 1.000 天m² 5 1.000 大m² 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</th><th>+0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000</th>	20.000 点 100.000 Km 0.100 Km ² 0.500 Km ² 1.000 Km 1.000 Km 1.000 Km 10,000 m ² 1.000 万m ² 1.000 万m ² 1.000 天m ² 5 1.000 大m ² 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	+0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000 +0.000
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8	F9 F10 F11	F12
選択切替 (代価編集)(前に移動)(後に移動) 「工種編集)(工種追加) 「工種削除」 工種複写)(数量変更) 変化率	終了
業務工種を選択してください。 カーソル: 569 登録数: 572 2013/1	2/25 11:56	NUM

(4)「経費/集計セットの登録・編集画面」で「F4:適用工種」をクリックし、追加した経費/集計セット を適用する工種を選択します。



7.4.6 経費/集計セットの削除

「経費/集計セットの登録・編集画面」で削除したい経費/集計セットにカーソル(濃い水色)を移動し、 「F7:セット削除」をクリックすると下記、経費/集計セットの削除確認画面が表示されます。

「はい(Y)」をクリックする事により選択した経費/集計セットは削除されます。

※初めから用意されている、システムデータは削除できません。



7.4.7 経費/集計セットの複写

「経費/集計セットの登録・編集画面」で複写したい経費/集計セットにカーソル(濃い水色)を移動し、 「F8:セット 複写」をクリックすると下記、経費/集計セットの複写確認画面が表示されます。

「はい(Y)」をクリックする事により選択した経費/集計セットが「元の経費/集計名称+(を複写)」 という名称で作成されます。



次に経費/集計セット名称の登録画面が表示されますので、セットの追加同様、適当な値を入力した後、 項目の編集(「F3:項目編集」)及び適用工種の選択(「F4:適用工種」)を行います。

7.5 システム情報・自社情報の設定

トップメニューで「システム情報・自社情報の設定」あるいは「F11:システム」をクリックすると 「システム情報・自社情報の設定画面」が表示されます。

7.5.1 自社情報の設定

① 郵便番号からFAX番号まで、見積書表紙の印刷に必要な情報を入力します。

SurveyPlan 委託業務積算システ	テム Ver.7.1.1 - システム情報・自社情報の設定
 システム情報・自社情報 1. 目社情報の設定 2 	
郵便番号	018-5601
住所1	秋田県大館市十二所字太平117
住所 2	
会社名	(株) 地理情報リサーチ
部署名/役職	システム開発部
担当者	高橋 力
電話番号1	0186-52-3753
電話番号 2	
F A X 番号	0186-52-2313
都道府県別 労務期	単価 秋田県 → 労務単価の反映 労務単価の編集
	登録 取消
F1 F2 F3	3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 編集終了
	2013/12/25 16:39 NUM

② 郵便番号からFAX番号まで、上記内容を入力した場合の表紙印刷例は下記のようになります。

御見積書

平成26年1月10日

.

〒018-5601 秋田県大館市十二所字太平117 (株)地理情報リサーチ システム開発部 高橋カ TEL 0186-52-3753 FAX 0186-52-2313

下記のとおり御見積りいたします。

				御見積金額 ¥11,780,000- (この金額に消費税は含まれておりません。)
但し	件	名	:	測量業務委託
	場	所	:	業務委託箇所
	I	期	:	自 平成26年1月20日 至 平成26年3月30日
	見積	条件	:	見積条件A

③ 都道府県別「労務単価の反映」は、インストールあるいはアップデート後、必ず1度は行う必要があります。

※都道府県名がご使用の都道府県名と一致している場合でも必ず1度は、この作業を行って下さい。

労務単価の	の反映	_	_	_			
		設定され 選択され	ている都道府! る単価セットの	県別の労 の労務単	務単価を 価を更新	使用して iします。	
都道府	限別 労	務単価(秋田県			•	
			(Ŷ			
単価セ	ット					全選択	全解除
選択	番号			名	称		
	1	標準単価	平成25年度				
V	2	標準単価	平成24年度				
					反映実行	+·	ァンセル

- ④ 「労務単価の編集」はアップデートのお知らせがあった時に、アップデートを行って頂いていれば、 通常は編集の必要はありません。
 - ・アップデートのお知らせがある前に、お客様が変更したい場合、行って下さい。
 - ・最初に「地方」を選択し、その後「都道府県」を選択して下さい。
 - ・編集方法は「7.2.1 単価セット項目編集」を参照して下さい。

SurveyPla	in 委託業務積算	システム	Ver.7.1.1 - 労務単価の	登録・編集	-	-	-	
労務単	価の登録・約	局集						
	1 東北		-	靜道府県	秋田県	_	-	
番号	費日	属性	名称	_	青森県		単価	備考
1	労務費		製図工		右手県		20,300	測量助手相当
2	労務費		普通船貝		る城県		17,800	
3	労務費		普通作業員				13,500	
4	労務費		軽作業員		福島県		10,900	
5	労務費		特殊作業員		THE POPE		17,200	
6	労務費		一般運転手			人	18,300	
7	労務費		特殊運転手			人	18,800	
8	労務費		とびエ			人	16,000	
9	労務費		鉄骨工			X	15,800	
10	労務費		溶接工			人	16,900	
11	労務費		潜水士			人	32,900	潜水器損料含む
12	労務費		潜水連絡員			人	20,200	
13	労務費		潜水送気貝			人	20,500	
14	労務費		±Ι			人	13,500	普通作業員相当
15	労務費		高級船員			人	21,800	
16	労務費		大工			人	19,200	
17	労務費		立会謝金			人	5,450	軽作業員単価の1/2
*			新規項目					
F1	F2	F3	F4 F5	F6	F7	F8	F9 F	10 F11 F12
前に移動	後に移動		項目編集	項目追加	項目削除」項	∃複写		単位編集 終了
処理を選択	尺してください。			<u>לא-אוי:</u>	1 登録数: 17	2013/12/	25 17:03	NUM

7.5.2 印刷情報の設定

- ・各種帳票を出力する際の初期値をここで設定します。
- ・サイズは「A4」、「B5」から選択出来ます。
- ・用紙方法は「A4」の場合は「横置き」と「縦置き」 「B5」の場合は「横置き」のみとなります。
- ・出力先は「プリンタ」「Excel」「PDF」から選択出来ます。

・出力先を「Excel」とした場合、そのパソコンにMicrosoft Excel 2000以上(Windows8 / Wndows 7 / Vista の場合はMicrosoft Excel 2003以上)があらかじめインストールされている必要が あります。

・出力先を「PDF」とした場合でも、Adobe AcrobatなどPDFファイル出力ノフト(PDFドライバー)は必要ありません。

・出力先フォルダーは出力先を「Excel」あるいは「PDF」に指定した場合、そのファイルを 出力するフォルダーを指定します。

予めフォルダーを作成した上で、「参照」ボタンによりそのフォルダーを指定します。

・これらの設定は印刷時にも変更/設定出来ます。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - システム情報・自社情報の設定			
システム情報・自社情報の設定			
1. 自社情報の設定 2. 印刷情報の設定 3. システム設定 4. システム復旧/バックアップ 5. デ	ータ最適化	と 6. 編集	設定
サイズ A 4サイズ ▼			
方向横置き			
山口の 山口の 山口の 山口の 山口の 山口の 山口の 山口の			
出力先 プリンタ ▼ プリンタの設定			
出力先フォルダ C:¥SurveyPlan7¥帳票保存¥		参照	
Part and a second se	登録	取消	
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9	F10	F11	F12 作 約了
		<u></u>	
2013/12/25 17:11		1	NUM

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - システム情報 - 自社情報の設定
システム情報・自社情報の設定
1. 自社情報の設定 2. 印刷情報の設定 3. システム設定 4. システム復旧/バックアップ 5. データ最適化 6. 編集設定
- 見積項目の設定
□ 消費税項目を追加する(内訳表)
☑ 消費税項目を追加する(統括表)
🔲 安全費率項目を追加する
🔲 冬期補正項目を追加する
図 合計金額の改め (丸め) 項目を追加する → 1万円未満丸め (切り捨て)
□ 見積害衣紙で「什石:」、「場所:」等を叩子しない(EXCel オリンテル見積衣紙構集用)
- パスロードの設定
□ パスワードを有効にする → パスワード
※ 変更されたパフロードは次回記動時上的方効です
※ 安美にもバスノートは人口起動時より有効です。
登録 取消
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12
2013/12/25 17:35 NUM .::

- □ 消費税項目を追加する(内訳表)
 見積内訳表に消費税項目を追加する場合にチェックします。
 この項目は見積書の作成・編集に於ける「F10:条件設定」でも個別に設定出来ます。
- ② □ 消費税項目を追加する(総括表)
 総括内訳表に消費税項目を追加する場合にチェックします。
- ③ 税率

消費税率を入力します。

- ④ □ 安全費率項目を追加する。
 見積内訳表に安全費率項目を追加する場合にチェックします。
 この項目は見積書の作成・編集に於ける「F10:条件設定」でも個別に設定出来ます。
- ⑤ □ 冬期補正項目を追加する。
 見積内訳表に冬期補正項目を追加する場合にチェックします。
 この項目は見積書の作成・編集に於ける「F10:条件設定」でも個別に設定出来ます。
- ⑥ □ 冬期補正を外業数量で計算する。
 冬期補正を人件費及び労務費の外業のみを集計した金額に冬期補正率を掛ける場合にチェックします。
 冬期補正を行う場合は、通常この計算方法を使用します。
 この項目は見積書の作成・編集に於ける「F10:条件設定」でも個別に設定出来ます。

⑦ □ 合計金額の改め(丸め)項目を追加する。

見積内訳表にの業務価格計の後に改め項目を追加して、金額の丸め処理をする場合にチェックします。 この項目にチェックした場合、「千円未満丸め(切り捨て)」、「1万円未満丸め(切り捨て)」、 「10万円未満丸め(切り捨て)」の中から丸め方法を選択します。



⑧ □ 値引き項目を追加する。

見積内訳表にの業務価格計の後に値引き項目を追加して、値引きを行う場合にチェックします。 この項目は見積書の作成・編集に於ける「F10:条件設定」でも個別に設定出来ます。

- ⑨ □ 見積書表紙で「件名:」、「場所:」等を印字しない(Excelオリジナル見積書表紙編集用)
 お客様独自の見積書表紙を作成する場合の為に、見積書の表紙をExcelで出力の際に「件名:」、
 「場所:」等を印字出力しないようにする必要がある場合にチェックします。
- ⑩ □ 業務価格が1万円単位となるように、諸経費及び一般管理費で端数を調整(切り捨て)
 1万円未満の切り捨て処理を行う場合、改め項目を追加して1万円に丸める(切り捨て)のではなく、
 業務価格計が1万円単位になるように諸経費あるいは一般管理費で調整を行う場合チェックします。
- ⑪ □ パスワードを有効にする

自分以外の人に、本システムを使用して欲しくない場合、チェックをして、パスワードを入力すれば、 次回本システムを起動時にパスワードが求められ、ここで入力したパスワードと一致いなければ、 本システムが起動出来ないようになります。

パスワードを設定した場合、パスワードを忘れると次回起動出来なくなりますので、注意して下さい。



7.5.4 システム復旧/バックアップ

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - システム情報・自社情報の設定
システム情報・自社情報の設定
1. 自社情報の設定 2. 印刷情報の設定 3. システム設定 4. システム復旧/バックアップ 5. データ最適化 6. 編集設定
システムの復旧 ※ 全てのデータをインストール/アップデート直後の状態に復旧します。 システム復旧開始 ※ 全てのデータを復旧後、本積算システムを再起動します。
「バックアップフォルダの設定」
C:¥SurveyPlan7¥Backup¥ 参照
データベースバックアップ ※ 上記フォルダにデータをバックアップします。 バックアップ開始 ※ バックアップ開始前にデータを保存し、本積算システムを再起動します。
 ※ 上記フォルダからデータをリストアします。 ※ 現時点のデータを破棄し、バックアップされた時点のデータに復帰します。 ※ リストア終了後に、本積算システムを再起動します。
登録 取消
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 編集終了
2013/12/26 08:41 NUM .::

① システムの復旧

「システム復旧開始」ボタンをクリックすると、全てのデータがインストールあるいはアップデート 直後の状態に戻ります。

インストール/アップデート後にお客様が入力/編集したデータは全て無くなりますので、ご注意 下さい。

復旧後、本システムを再起動します。

② バックアップフォルダの設定

本システムのデータをバックアップするフォルダーを設定します。

予めフォルダーを作成した上で、「参照」ボタンによりそのフォルダーを指定します。

③ データベースのバックアップ

「バックアップ開始」ボタンをクリックすると、本システムの現在のデータを全て、 「バックアップフォルダの設定」で指定したフォルダーにバックアップします。

バックアップ開始前に現在のデータを保存し、本システムを再起動します。

③ データベースのリストア

「リストア開始」ボタンをクリックすると、「バックアップフォルダの設定」で指定されたフォルダ にバックアップされた時点のデータに復帰(リストア)します。

リストア終了後に本システムを再起動します。

7.5.5 データ最適化

① データベース最適化

「最適化開始」ボタンをクリックすると、本システムで使用しているデータベースを最適化します。 最適化を始める前に、現在のデータを保存し、本システムを再起動します。



データベースは最適化処理を行う事なく、長い間使用し続けるとデータベースファイルが大きくなり、 本システムの動作スピードが遅くなる場合があります。

そういった場合データベースファイルを最適化する事により、処理速度が早くなる場合があります。

パソコンは使用し続けると、種々のソフトのインストール等によりパソコン自体の処理速度が遅くなります。

本システムの最適化処理によってパソコン自体の処理速度がアップする事はありません。

またパソコン自体の処理速度の低下は本システムに起因するものではありません。

② 帳票保存ファイルの削除

本システムでは各種帳票をプリンタだけではなく、ExcelファイルあるいはPDFファイルに出力 出来ます。

「削除開始」により帳票保存フォルダに指定されたフォルダ内のExcelファイルあるいは PDFファイルを全て削除します。

「参照」ボタンをクリックする事により、ExcelファイルあるいはPDFファイルを保存してある 帳票保存フォルダを指定します。

・ E x c e 1 ファイルのみを削除する場合は「○ E x c e 1 ファイル削除」

・PDFファイルのみを削除する場合は「〇PDFファイル削除」

・ExcelファイルとPDFファイルのどちらも削除する場合は「○Excel、PDFファイル削除」
 にチェックをします。

7.5.6 編集設定

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 - システム情報・自社情報の設定
システム情報・自社情報の設定
1. 自社情報の設定 2. 印刷情報の設定 3. システム設定 4. システム復旧/バックアップ 5. データ最適化 6. 編集設定
 業務種別の編集で親区分のコピー ● 許可しない ● 許可する ※ 親区分をコピーしてもその子区分はコピーされません。
 業務種別の種別編集で単位の変更 ● 許可しない ● 許可する ※ お客様が新規の業務種別を作成する時以外は単位の変更を許可しないで下さい。 ※ 業務種別の単位を変更しても代価表の内容(歩掛り)は変更しません。 ※業務種別の単位を変更した場合は、お客様が代価編集(歩掛りの変更)を行って下さい。
 業務種別の編集で区分の変更(親区分<->子区分<->経費区分) ※ お客様が新規の業務種別を作成する時以外は区分変更を許可しないでください。 ※ 親区分が変更された場合、その区分の下に配置されている業務種別は全て削除されます。 子区分が変更された場合、その区分の下に配置されている代価データは全て削除されます。 ※ 経費区分に変更した場合、業務種別名称と一致する経費率セットを作成する必要があります。
業務種別の編集で業務種別の位置移動
 ● 許可しない ※ お客様が新規に作成した業務種別の位置移動が出来るようになります。 ※集計区分、経費区分等をまたがって移動を行わないでください。
 ※ 本編集設定は本システムを終了あるいは再起動により無効(許可しない)になります。 ※ 業務種別を編集する場合は予め「4.データバックアップ」を行う事をお勧めします。 ※ 業務種別編集によりSurveyPlanが正常に動作しなくなった場合は、バックアップデータのリストア、システム復旧あるいはアップデート/再インストール処理を行って下さい。 システム開発者専用ファンクション ※ システム開発モード移行 ★ (F1,F4,F2,F3) ※ システム緊急終了 (F5,F8,F6,F7)
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 Image: Ima
2013/12/26 09:50 NUM

ここでの設定(許可)はお客様が新規の業務や工種を作成する場合等、特別な場合に必要な設定です。 通常の積算を行うにあたってはここでの設定(許可)は必要ありません。

ここで設定(許可)を行って、編集作業を行った場合、本システムが正常に動作しなくなる可能性が あります。

業務種別を編集する場合は、予め「7.5.4 データバックアップ」を行う事をお勧めします。

ここでの設定(許可)は本システムの終了あるいは再起動により全て無効(許可しない)になります。

① 業務種別の編集で親区分のコピー

通常、子区分のコピーはここで設定(許可)を行わなくても可能です。

ここで設定(許可)をすると、親区分もコピー出来ます。

親区分をコピーしても、それに付随する子区分はコピーされません。

② 業務種別の種別編集で単位の変更

ここで設定(許可)をすると、業務種別の単位の変更が出来ます。

例えば、「m」の単位であったものを「ha」に変更出来ます。

単位を変更しても、歩係の内容は変わりませんので、単位を変更した場合は、お客様の方で代価表の 編集により、その単位当たりの歩掛も変更する必要があります。

③ 業務種別の編集で区分の変更(親区分<->子区分<->経費区分)

ここで設定(許可)をすると業務種別の区分の変更が出来ます。

区分を変更したそれに付随する、情報は全て削除されます。

経費区分に変更した場合は、「7.4 各種経費率セットの登録・編集」の説明に従って、経費区分を 新たに作成した場合の作業を行って下さい。

- ④ システム開発者専用ファンクション
- 1)システム開発者モード移行

システム開発者モードに移行すると、そこで編集したデータは全てシステム属性データとなり、 その後データを元の状態に戻す事が出来なくなります。

またインストールあるいはアップデートを行っても、正常にアップデート出来なくなります。

システム開発者モードは「業務等を独自に作成し、その後弊社からのサポートやアップデートを必要としない」という場合に行って下さい。

※弊社で新規業務を追加する場合はこのモードで作業を行っています。

※お客様が本システムに無い業務等を新たに追加して、そのデータを弊社に提供して頂けるのであれば、 その業務の本システムへ無料で追加あるいは有償での買い取りを検討させて頂きます。

※本システムに無い業務等の情報をお持ちで弊社にその情報を提供して頂ければ、その業務の本システム への追加を検討させて頂きます。

2)システム緊急終了

システム緊急終了を行うと、本システムを起動後、編集した内容を破棄して、本システムを終了します。 但し、保存された見積書等、破棄出来ない場合もあります。

7.6 お客様独自の見積書表紙の作成

お客様独自の見積書表紙を作成するには、予めExcelの帳票レイアウトをお客様が作成/編集し、帳票 印刷時にその作成/編集されたExcel帳票レイアウトを使用する事により行います。

(注1)帳票フォーマットをExcelで編集するにあたり、そのパソコンにMicrosoftt Excel 2000以上 (Windows8 / Windows7 / Vista の場合はMicrosoft Excel 2003以上)があらかじめインストールされてい る必要があります。

(注2) Excel及びパソコンのフォルダー構成等に関して十分な知識が無い場合は行わないで下さい。

(注3)帳票フォーマットを編集する際はあらかじめ編集する帳票フォーマットファイルを各自でバック アップしておく事をお薦めします。

(注4)帳票フォーマットを編集した事により印刷が正常に出来なった場合は、バックアップした帳票 フォーマットファイルを元に戻して(リストアして)下さい。

(注5) 帳票フォーマット編集に関するサポートは出来かねます。

7.6.1 Excel帳票ファイル

① Excelの帳票レイアウトファイルはSurveyPlan7をインストールしたフォルダ (標準 では「C:¥SurveyPlan7)の下の「帳票レイアウト」フォルダーに格納されています。

2理 ▼ ライブラリに追加 ▼	・ 共有 ▼ 新しいフォルダー			EE •	
🔓 お気に入り	名前	更新日時	種類	サイズ	
- 三 デスクトップ	🕙 安全費率構.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	113 KB	
▲ ダウンロード	■ 安全費率縦.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	113 KB	
◎ 長近表示した担所	🕙 見積書構.xls	2010/04/05 16:21	Microsoft Excel	128 KB	
	■ 見積書縦.xls	2010/04/05 16:23	Microsoft Excel	348 KB	
ט כלייכ	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・<td>2010/02/26 11:38 2010/02/26 11:38</td><td>Microsoft Excel Microsoft Excel</td><td>133 KB 153 KB</td><td></td>	2010/02/26 11:38 2010/02/26 11:38	Microsoft Excel Microsoft Excel	133 KB 153 KB	
	🕙 諸経費率構.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	113 KB	
💵 コンピューター	🕙 諸経費率縦.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	113 KB	
🏭 OS (C:)	🕙 総括表構.xls	2010/04/05 16:23	Microsoft Excel	125 KB	
	🕙 総括表縦.xls	2010/04/05 16:24	Microsoft Excel	345 KB	
ネットワーク	🕙 代価表構.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	137 KB	
	🕙 代価表縦.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	129 KB	
	🕙 単価表構.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	129 KB	
	🕙 単価表縦.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	137 KB	
	🕙 冬期補正率構.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	113 KB	
	🕙 冬期補正率縦.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	113 KB	
	🕙 内訳表構.xls	2010/04/05 16:25	Microsoft Excel	128 KB	
	🕙 内訳表縦.xls	2010/04/05 16:25	Microsoft Excel	128 KB	
	🕙 変化率構.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	93 KB	
	🕙 変化率縦.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	113 KB	
	🕙 変化率内訳表構.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	123 KB	
	🕙 変化率内訳表縦.xls	2010/02/26 11:38	Microsoft Excel	121 KB	

②この中で「見積表紙横.xls」 をコピーして、「**見積書表紙.xls** 」というファイルをお客様の方で作成して下さい。 ※セットアップ(インストール)を行っても「見積書表紙.xls」というファイルは作 成されません。 ※お客様が独自に編集したファイルをセットアップ(アップデート)時に上書きしない為。

③見積書表紙以外の帳票についても、セルの名前、行数等を変更しなければ多少の変更は可能です。 (例)「見積書等のフッターとして会社名を印字する」、「余白に会社のロゴを印字する」等 但し、見積書表紙以外の帳票に関しては、セットアップ(アップデート)すると弊社で提供しているものに上書き されてしまいますので、見積書表紙以外の編集を行った場合は、セットアップ(アップデート)する前にお客様の 方でバックアップを取っておき、セットアップ(アップデート)後にそれらを戻す必要があります。

7.6.2 Excel帳票レイアウト変更

下記がExcel2010で「見積表紙横.xls」をコピーし、ファイル名を「**見積書表紙.xls**」に変更し、それを開いた 状態です。

	7 - 0	- +	Calcord .	1.1	見積書書	题紙.xis	「互換モー	15] - Mic	rosoft i	Excel				-		1 1 100	- II X
77476	赤-	ム 挿入 ページ	レイアウト 数式	7-9 8	閲 表示	77-	() ș	パヤチハタ	電子印度	E JUS	ST PDF 3	Acroba	st 🦻	F <u>L</u> a		۵	
5	ě.	M 5 33-90	• 12 • A	л" = = <mark>—</mark>	æ	÷ 4	(注)			10	1	-	음~가 금추고	以• ∑ 限• □	i 21	n	
PORIA	3	в / Ц - 🖂 -	<u>⊳</u> . <u>A</u> . <u>₹</u>	· 🔳 🗉 🗉	1 (# (#	- H	9 - %	• *	0.00	条件付き; 書式。	テーブルとして	セルの 25イル・	101	nt - Z	並べ替え フィルター	と 検索と	
リップポー	K G	7#5		a 8	200	-12	-	45	6		スタイル		t	the state	展集		
<u>,</u>	積余	件4 * (*	五 見積条件	4(見積有効用	明眼)												
1	д	B	C	D	E		F	8		G	н		I	1		ĸ	L
2																	
3						14-1	_		-						見利	糟番号	
4						御	見	槓	書								
5													作成E	1(平原	299年99月	99日)	
7		見積提出失	- 1														
8		相当者	<u></u>														
9		the state															
0											自社情報	長1					
1											自社情報	授2 日2					
3											自社情報	ко 64					
4											自社情報	₽5					
5							-				日本計算率	校6 47					
7					-	1	0			2	自社情	€8					
8						1	1			· /	1						
9		下記のとおりま	#見積いたしま	7.						-							
1						_											
2		-				4	in m =	ま	5								
3						1	<u>即 兄 f</u> :消暖	<u>貝田部</u> 1883	<u>₹</u>								
5							783	1171	-			-					
6		(0)	16.0														
27		100	14-86														
29			見積条件 1	(場所)													
0			日(書名)(注)	(= #0)													
12			另根宋1十2	(TH)													
13			見積条件3	(見積条件)													
4			目積冬往人	(目積有効期													
6			2018年114	した時日の期	190												1
7		1835 (83)															
TOF 1	1.7.7	NEXAL COL								14					100%		

次にあげる**セル名**については、見積書表紙印刷時に本システムからデータを出力しますので、削除しないで下さい。(その配置位置、大きさ等は変更出来ます)

- (1) 見積書番号 : 業務件名情報の「見積書番号」
- (2) 作成日: 業務件名情報の「提出日」
- (3) 見積提出先1 : 見積書提出先情報の「名称」
- (4) **担当者**: 見積書提出先情報の「宛名」
- (5) **自社情報1**: 自社情報の「郵便番号」
- (6) **自社情報2**: 自社情報の「住所1」
- (7) **自社情報3**: 自社情報の「住所2」
- (8) 自社情報4: 自社情報の「会社名」
- (9) 自社情報5: 自社情報の「部署名/役職」
- (10) **自社情報6**: 自社情報の「担当者」
- (11) **自社情報7**: 自社情報の「電話番号1」
- (12) 自社情報8: 自社情報の「FAX番号」

※自社情報1~自社情報8に関して、入力されていない自社情報に関しては、印字出力されず、その場合次の行情報 が繰り上がります。 例えば、住所2が入力されていない場合は、会社名が自社情報3の位置に印字されます。

(13) 御見積金額 : 見積書の「見積合計金額」

(14) 消費税: 見積書の「消費税」 -> (内消費税 ¥9,999,999-)と印字出力される。
 見積書に消費税項目が追加されていない場合 ->
 (この金額に消費税は含まれておりません。)と印字出力される。

(15) **件名**: 業務件名情報の「業務件名」

(16) 見積条件1: 業務件名情報の「業務箇所」

(17) 見積条件2: 業務件名情報の「作業期間」、作業期間の始まりと終わりの日付が異なっている場合、作業期間が入力されたものとして、印字出力する。

(18) 見積条件3: 業務件名情報の「見積条件」

(19) 見積条件4: 業務件名情報の「見積有効期限」

上記以外の項目に関しては、文字、罫線、画像等を追加/変更する事が出来ます。

7.6.3 条件設定の変更

お客様が独自の見積書表紙を作成する場合は、「システム設定・自社情報の設定」の「見積項目の設定」および「見積書の作成・編集」の「F10:条件設定」で「□ 見積書表紙の印刷をExcelオリジナルフォーマットファイル「見積書表紙.xls」により行う)にチェックをいれて下さい。

この設定を行わないとお客様が作成/編集した「見積書表紙.xls」を使用したオリジナルの見積書表紙の印刷が出来ません。

見積項目の設定		41	**		1.00	
システム情報設定						
🔲 消費税項目を追加する(内訴	(表)		8.000	94		
☑ 消費税項目を追加する(総括	表)		0.000	70		
🔲 安全費率項目を追加する						
🔲 冬期補正項目を追加する						
☑ 冬期補正を外業数量で計算す	3					
☑ 合計金額の改め(丸め)項目	を追加する	→ 1万	円未満丸め	(切り捨て)		
🔲 値引き項目を追加する			_			
□ 見積書表紙の印刷をExcelオ!	リジナルフォー	マットファー	イル「見積調	書表紙.xls」に。	より行う 説明(HP)	
単位数量当り単価の場合、有	効数 子4 桁(5	析目以降切	捨て)とす	3		
二 業務価格が1万円単位となる	ように、諸経費	認及び一般管	理費で端数	を調整(切り排	舎て) する	
			ſ	F10	F9	
			l	変更確定		

7.6.4 見積表紙印刷時に Excelを指定して、印刷する。

これまで準備ができたら、見積書の作成・編集において「F2:表紙印刷」をExcelファイルを指定 して印刷すれば、お客様独自の見積書表紙の印刷が出来ます。

出力された Excelファイルを再編集して、その都度個々の見積書表紙を作成する事も可能です。

Excel 見積表紙 印刷
出力先 プリンタ Excel ファイル PDFファイル
用紙設定 用紙サイズ: A 4 マ 用紙方向: 横置き マ
プリンタ設定 出力プリンタ名: RICOH imagio MP C3000 RPCS ▼ フォント名: MSゴシック ▼ 印刷部数: 1 部
ファイル設定 ・ ・ ・
ビューア設定 Excel
印刷開始 キャンセル

7.7 低入札調査価格の設定

低入札調査価格については発注機関により、その呼び方、適用金額、設定比率が異なります。 また調査価格の他に、低入札価格(最低制限価格)を設定している所もあります。 国土交通省では委託業務に関し、平成25年1月時点で低入札価格調査適用価格は次のようになっています。

業務区分	1)	2	3	4
測量業務	直接測量費の額	測量調査費の額	諸経費の額に10分 の4を乗じて得た額	_
建設関係の建設コ ンサルタント業務	直接人件費の額	特別経費の額	技術料等経費の額に 10分の6を乗じて 得た額	諸経費の額に10分 の6を乗じて得た額
土木関係の建設コ ンサルタント業務	直接人件費の額	直接経費の額	その他原価の額に 1 0 分の 9 を乗じて 得た額	一般管理費等の額に 10分の3を乗じて 得た額
地質調査業務	直接調査費の額	間接調査費の額に 10分の9を乗じて 得た額	解析等調査業務費の 額に10分の7.5 を乗じて得た額	諸経費の額に10分 の4を乗じて得た額
補償関係コンサル タント業務	直接人件費の額	直接経費の額	その他原価の額に 1 0 分の 9 を乗じて 得た額	一般管理費等の額に 10分の3を乗じて 得た額

※国土交通省では予定価格が1,000万円を超える場合に適用。

ここでは土木関係の建設コンサルタント業務における調査価格の設定方法について説明します。

① 第4章 新規見積書の作成に従い、見積提出先及び業務件名の登録を行います。

ここでは「道路設計」業務を選択します。

業務件名の登録	
提出先	1 見積提出先 1 ~
業務件名	道路詳細設計(A)
業務箇所	業務箇所
担当者名	国土交通省
見積条件	低入札調査価格の算出
作業期間	2014 / 01 / 07 選択 ~ 2014 / 01 / 07 選択
業務	3 土木設計 道路設計 🗸
単価セット	1 標準単価 平成25年度 🗸
提出日	2014 / 01 / 07 選択
作成日時	2014/01/07 15:31 F10 F9
更新日時	2014/01/07 15:31 変更確定 変更破棄

② 「各種経費率セットの登録・編集」をおこないます。

※調査価格、低入札価格等は発注機関により異なります。調査価格、低入札価格を算出する際は、 「各種経費率セットの登録・編集」でその設定値を確認して下さい。

ここではまず、「その他原価」を選択します。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【道路設計】 - 経費/集計セットの登録・編集											
見積提出先	見積提出先1 宛名	O×事務所長									
業務件名	路詳細設計(A) 業務 土木設計 - 道路設計										
箇所	a所 業務箇所 単価 標準単価 平成25年度										
経費/集計	セットの登録・編集										
4	名称 電子計算機使用料(対人件費比率:9%)	作成日時 2012/04/01 07:00 1									
経費率	備考	更新日時 2012/08/04 14:23									
5	名称 電子成果品作成費(設計)	作成日時 2012/04/01 07:00									
経費率	備考概略設計、予備設計、詳細設計	更新日時 2012/08/04 16:26									
6	名 称 直接原価計	作成日時 2012/08/04 14:16									
集計	備考	更新日時 2012/08/04 14:18									
7	名 称 その他原価	作成日時 2012/04/01 07:00									
経費率	備 考 $\alpha / (1 - \alpha), \alpha = 35\%$	更新日時 2012/08/04 14:19 🗉									
8	名 称 業務原価計	作成日時 2012/08/04 14:16									
集計	備考	更新日時 2012/08/04 14:19									
9	名 称 一般管理費等	作成日時 2012/04/01 07:00									
経費率	備考 $\beta / (1 - \beta), \beta = 30\%$	更新日時 2012/08/04 14:20									
10	名 称 道路設計計	作成日時 2012/04/01_07:00									
業務計	備 考	更新日時 2012/08/04 17:10 🗸									
F1	F2 F3 F4 F5 F6 F7 F	F8 F9 F10 F11 F12									
	項目編集」適用工種」名称編集」 セット追加 セット削除 セット	複写終了									
編集を行う経費	/集計セットを選択してください。 カーソル: 7 登録数: 10	2014/01/07 15:43 NUM:									

③ 「F5:名称編集」をクリックします。

ここで、調査価格率に90を入力します。(参考として低入札価格率には80を入力しました)

経費率セット名称	の編集
名 称	その他原価
備考	a∕ (1 − a) 、 a = 3 5 %
有効小数点	行数 2 🗸
端数処理	0 切り捨て無し
特殊計算	0 特殊計算しない
下限価格	上限価格
調査価格率	90 % 低入札価格率 80 %
作成日時	2012/04/01 07:00 F10 F9
更新日時	2012/08/04 14:19 変更確定 変更破棄

[※] 経費種別が「集計」属性の場合も、「調査価格率」及び「低入札価格率」を設定出来ます。

- ④ 「一般管理費等」にカーソルを移動し、「F5:名称編集」をクリックします。
 - ここで、調査価格率に30を入力します。(参考として低入札価格率には20を入力しました)

経費率セット名称	の 編集	
名称	一般管理費等	
備考	$\beta \neq (1-\beta)$, $\beta = 3.0\%$	
有効小数点材	行数 2 🗸	
端数処理	0 切り捨て無し	
特殊計算	0 特殊計算しない	
下限価格	上限価格	
調査価格率	30 % 低入札価格率 20 %	
作成日時	2012/04/01 07:00 F10 F9	
更新日時	2012/08/04 14:20 変更確定 変更破棄	

⑤ 「業務工種の登録・選択」をおこないます(ここからは通常の積算と同様です)。 ここでは「道路詳細設計(A)」を選択します。

SurveyPlan 委託業務積算システム Ver.7.1.1 【道路設計】 - 業務工種の登録・選択		
見積提出先 見積提出先1 宛名 O×事	幕務所長	
業務件名 道路詳細設計(A) 業務 土木語	2計 - 道路設計	
箇所 業務箇所 単価 標準単	单価 平成25年度	
業務工種の監録・選択		
業務工種名称	作業数量	变化率
□ ☑ 道路設計		<u>^</u>
│││││││││││││││││││││││││││││││││	10.000 Km	+0.000
☆□道路予備設計	1.000 Km	+0.000
☆☑道路詳細設計	1.000 Km	+0.000
Ģ☑道路詳細設計(A)	1.000 Km	+0.000
─────────────────────────────────────	1.000 Km	+0.000
	1.000 Km	+0.000
	1.000 Km	+0.000
──☑横断設計	1.000 Km	+0.000
	1.000 Km	+0.000
─────────────────────────────────────	1.000 Km	+0.000 =
	1.000 Km	+0.000
──────────────────────────────────────	1.000 Km	+0.000
	1.000 Km	+0.000
	1.000 Km	+0.000
▲■道路詳細設計(B)	1.000 Km	+0.000
■●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	1.000 業務	+0.000
■直接人件費計	集 計	
■□□接経費	1.000 式	+0.000
──■直接原価計	集 計	
	査 率	
┉■業務原価計	集計	-
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8	F9 F10	F11 F12
	数量変更 多	「化率」 終了
カーソル; 56 登録数: 93 2014/0	01/07 15:39	NUM:

⑥ 「見積書の作成・編集」をおこないます。

通常の積算金額が算出されます。

Survey	Plan 委託業務積算システム Ver.7.1.1	【道路設計】 - 見称	責書の作ら	戍・編集 ★					
見積	見積提出先 見積提出先1 宛名								
業	業務件名 道路詳細設計(A) 業務 土木設計 - 道路設計								
	箇所 業務箇所 単価 標準単価 平成25年度								
見積	書の作成・編集								
番号	費目	数量	単位	単価	变化率	金額	備考 ^		
11	数量計算	1.000	Km	267,400	+0.000	267,400			
12	照査	1.000	Km	80,700	+0.000	80,700			
13	報告書作成	1.000	Km	169,900	+0.000	169,900			
14	直接人件費計					1,708,050			
15	電子計算機使用料(対人	8.0	%	1,708,050		136,644			
16	電子成果品作成費(設計)	1.0	仧	1,708,050		196,000	6.9×(単価^		
17	直接原価計					2,040,694			
18	その他原価	53.85	%	1,708,050		919,784			
19	業務原価計					2,960,478	_		
20	一般管理費等	42.86	%	2,960,478		1,268,860	=		
21	道路設計計					4,229,338			
22	改め					4,229,000	千円未満切		
23	見積金額合計					4,229,000			
							•		
+Shif	+Shift キー:調査価格 or 低入札価格 設定 見積金額合計 ¥ 4,229,000								
F1	F2 F3 F4	F5	F6	F7 F8	B F9	F10	F11 F12		
一式日	刷表紙印刷内訳印刷変化印刷	」代価印刷」項	目編集	項目削除項目復	复元	条件設定	文書保存 編集終了		
処理を	瞿択してください。		<u></u> <u> </u>	. 登録数: 23	2014/01/21	09:48	NUM		

⑦ この画面(「見積書の作成・編集」画面)で「Shift」 キーを押下するとファンクションキー「F5:通常見積」、 「F6:調査価格」、「F7:低入札」が表示されます。

但し、「各種経費率セットの登録・編集」の「F5:名称編集」で「調査価格率」の設定を行っている経費率 セットが無い場合は「F6:調査価格」は有効になりません。 同様に「低入札価格率」の設定を行っている経費率セットが無い場合は、「F7:低入札」は有効になりません。

Survey	Plan 委託業務積算システム Ver.7.1.1	【道路設計】 - 見利	責書の作品	戍・編集 ★ *	-	-				
見積打	是出先 見積提出先1			宛名						
業利	業務件名 道路詳細設計(A) 業務 土木設計 - 道路設計									
	箇所 業務箇所			単価:	標準単価 平	成25年度				
見積	書の作成・編集									
番号	費目	数量	単位	単価	変化率	金額	備考 ^			
11	数量計算	1.000	Km	267,400	+0.000	267,400				
12	照査	1.000	Km	80,700	+0.000	80,700				
13	報告書作成	1.000	Km	169,900	+0.000	169,900				
14	直接人件費計					1,708,050				
15	電子計算機使用料(対人	8.0	%	1,708,050		136,644				
16	電子成果品作成費(設計)	1.0	仧	1,708,050		196,000	6.9×(単価^			
17	直接原価計					2,040,694				
18	その他原価	53.85	%	1,708,050		919,784				
19	業務原価計					2,960,478				
20	一般管理費等	42.86	%	2,960,478		1,268,860	=			
21	道路設計計					4,229,338				
22	改め					4,229,000	千円未満切			
23	見積金額合計					4,229,000				
							•			
+Shif	+Shift キー: 調査価格 or 低入札価格 設定 見積金額合計 ¥ 4,229,000									
F1	F2 F3 F4	F5	F6	F7 F8	8 F9	F10	F11 F12			
		通常見積調	查価格	低入札						
処理を追	処理を選択してください。 カーソル: 1 登録数: 23 2014/01/21 10:02 NUM:									

⑧ 「Shift」 キーを押下したまま「F6:調査価格」をクリックすると、調査基準価格が算出されます。

Survey	Plan 委託業務積算システム Ver.7.1.1	【道路設計】 - 見種	責書の作品	戏・編集 ∗					
見積打	是出先 見積提出先1			宛名					
業利	業務件名 道路詳細設計(A) 業務 土木設計 - 道路設計								
	箇所 業務箇所 単価 標準単価 平成25年度								
見積	見積書の作成・編集 計算種別:調査基準価格								
番号	費目	数量	単位	単価	変化率	金額	備考 ^		
11	数量計算	1.000	Km	267,400	+0.000	267,400			
12	照査	1.000	Km	80,700	+0.000	80,700			
13	報告書作成	1.000	Km	169,900	+0.000	169,900			
14	直接人件費計					1,708,050			
15	電子計算機使用料(対人	8.0	%	1,708,050		136,644			
16	電子成果品作成費(設計)	1.0	仧	1,708,050		196,000	6.9×(単価^		
17	直接原価計					2,040,694			
18	その他原価	48.465	%	1,708,050		827,805	調査基準価		
19	業務原価計					2,868,499			
20	一般管理費等	13.270	%	2,868,499		380,658	調査基準価		
21	道路設計計					3,249,157	調査基準価		
22	改め					3,249,000	千円未満切		
23	見積金額合計					3,249,000			
+Shif	+Shift キー: 調査価格 or 低入札価格 設定 見積金額合計 ¥ 3,249,000								
F1	F2 F3 F4	F5	F6	F7 F8	B F9	F10	F11 F12		
		通常見積調	查価格	低入札					
処理を追	躍択してください。		<u></u> <u> </u>	登録数: 23	2014/01/21	16:05	NUM		

③ ここで「調査価格率」が設定されている工種(ここではその他原価)にカーソルを移動し、「F6:項目編集」 をクリックすると、調査価格適用前の価格が「備考」により確認出来ます。

SurveyP	lan 委託業務積算シ	ステム Ver.7.1.1	【道路設計】 - 見稼	書の作用	成・編集 ∗					
見積热	是出先 見積提出	出先1			宛名					
業利	業務件名 道路詳細設計(A) 業務 土木設計 - 道路設計									
	箇所 業務箇所 単価 │標準単価 平成25年度									
見傾	雪の作成・編集	_			No. 1		計算種別:	調食基準価格		
番号	費	Ħ	数量	単位	単価	変化率	金額	備考 ^		
11	数量計算		1.000	Km	267,400	+0.000	267,400			
12	照査	見積項目編集		-	8.0		700			
13	報告書作用	費日	その他原価				900			
14	直接人件費計						050			
15	電子計算機(1,708,050				644			
16	電子成果品(数量	48.465	単位	%			6.9×(単価^		
17	直接原価計	金額	327,805				694			
18	その他原価	備考	調査基準価格率適	師前 ¥	919,784		805	調査基準価		
19	業務原価計				F10		F9 499	-		
20	一般管理費等				変更確定	至 <u>変</u> 更	破棄 658	調査基準価		
21	道路設計計						157	調査基準価		
22	改め						3,249,000	千円未満切		
23	見積金額合計						3,249,000			
								+		
+Shift	キー: 調査価格	or 低入札価格 詞	设定			見積金額合	計	¥ 3,249,000		
F1	F2	F3 F4	F5	F6	F7 F8	B F9	F10	F11 F12		
(刷表紙印刷内	訳印刷 堂化印刷	」代価印刷項	目編集	項目削除」項目後	見元	条件設定	文書保存」編集終了		
処理を選	崖択してください。			b-YN: 18	8 登録数: 23	2014/01/21	16:06	NUM .::		

① 「Shift」 キーを押下したまま「F5:通常見積」をクリックする事により、通常の積算金額に戻ります。
 低入札調査価格の算出方法についての説明は以上です。

7.8 バージョン・アップデート情報/ヘルプ

トップメニューで「バージョン・アップデート情報/ヘルプ」あるいは「F10:ヘルプ」をクリック、 見積書編集メニューでは「ヘルプ(ホームページ)」をクリックすると「バージョン情報画面」が表示され ます。



① 「バージョン番号」は上記画面では「7.1.1」となります。

その右側の日付(2014/01/06)は斑起動中のSurveyPlan7の作成日付です。

バージョン番号が同じでも、作成日付がホームページの<最終更新日付>と異なる場合はアップデート されている事を示しています。

- ② 「製品コード」はライセンスキーを問合せ(取得)する際に必要な番号です。
- ③ 「OS」は現在ご使用中のWindowsのバージョンです。
- ④ 「(株) 地理情報リサーチ(ホームページ)」をクリックすると弊社ホームページのトップ画面が表示 されます。

⑤ 「アップデート情報(ホームページ)」をクリックすると弊社ホームページの「ダウンロード/セット アップ」画面が表示されます。

詳細なアップデートについては、メール等でお知らせする事なく、アップデートを行っている場合が あります。

ご使用中の製品のバージョン番号及び作成日付がホームページの<最終更新日付>と同じか確認する事をお薦めします。

※「ダウンロード/セット」を行う場合は、ご使用中のSurveyPlan7を一旦終了する必要があります。



⑥ 「操作に関するよくある質問」及び「購入前によくある質問」をクリックすると弊社ホームページの SurveyPlan7に関する説明画面が表示されます。

ホームページには本マニュアルに記載されていない、最新の情報が記載されている場合があります。

第8章 操作に関する、よくある質問

ここでは、本システムをご使用頂いたお客様から多くお問合せのあった事項について、その説明箇所への リンクを一覧にしています。

※質問文の青色下線の部分をクリックするとその説明箇所にジャンプします。

8.1 インストール時によくある質問

- (1) 前バージョンでお客様が作成した見積書の移行
- (2) 前バージョンでお客様が入力/変更した単価の移行
- (3) 各都道府県別の労務単価の登録(選択)

8.2 設定の変更に関するよくある質問

- (4) 単位数量当り単価の有効桁数を4桁にする方法
- (5) 単価セットの変更(切り換え)について

8.3 見積書作成時によくある質問

- (6) 同一の業務種別で複数の変化率(補正率)を設定する方法
- (7) 業務種別の単位の変更について
- (8) 見積書に消費税項目、値引き項目等を追加するには
- (9) 打合せ旅費/旅費交通費について
- (10) 複数業務の積算を同一の見積書で行うには?、総括表作成方法は?
- (11) 帳票印刷のExcelファイル、PDFファイル出力について
- (12) オリジナル(お客様独自)の見積書表紙等を作成するには
- (13) 調査価格、低入札価格の設定方法
- (14) 業務工種を追加した場合、見積書に反映するには

お客様が業務工種を追加した場合、それを見積書に反映するためには、

<u>「7.4.3 経費/集計セットを適用する工種の選択」</u>により、追加した工種を集計セット(直接人件費、 直接作業費)あるいは経費率セット(諸経費等)の対象となるように設定する必要があります。

(15)積算したい業務工種がある箇所がわからない、業務工種を検索するには?

8. 4 メンテナンスに関しての質問

(16) 動作スピードが遅くなった、データファイルが大きくなった場合は?

(17) データのバックアップ方法は?

8.5 特殊な操作関しての質問

(18) 業務種別の新規作成/編集方法

(19) 業務種別の経費区分について

8.6 個々の業務特有な事項に関してのよくある質問

(20) 現地測量・平板測量の作業量補正について

(21) 地質調査等の市場単価について。

地質調査等においては市場単価を使用しているものがあります。

システムに設定してある市場単価は作成時に調査した一般的なものです。

お客様が積算を行う地域あるいは時期に合わせて、各地域の最新のデータに更新する必要があります。

また材料費、機械経費、損料等に関しては、単価が設定されていないものもありますので、その場合は お客様が適当な単価を設定する必要があります。

単価の設定方法については「7.2 単価セットの登録・編集」を参照して下さい。

(22) 林道工事測量の輸送費について。

委託業務(森林総合研究所)の林道工事測量については、材料費等(機械器具損料、材料費、輸送費)の 種別がもうけられてありますが、その比率が明確にされていません。

本システムにおいては、それらが公表されている他の歩掛(国交省等)を参考にして、その比率を個々の 業務種別に参考値として設定しています。

輸送費についてはその数量(日)が記載されていますが、個々の業務種別に設定した、材料費、機械経費 の比率は輸送費も含んだ値となっています。

輸送費の歩掛も用意してありますが、積算にあたっては、輸送費が重複する事となるので、そのままでは 計上すべきでないと思われます。

輸送費を計上する場合は個々の業務種別に設定した材料費、機械経費を削除して、独自に算出した、機械 器具損料及び材料費を計上するようにして下さい。 第9章 エラーとその対処

1. 本システムでは何らかの原因でエラーが発生した場合、その障害情報送信の確認メッセージが表示 されます。

SurveyPlan7 障害情報送信 (ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。) ----- エラーが発生しました ------バージョン : Ver7.1.1 (2014/01/06) 発生箇所 1 : FormMain 発生箇所 2 : ConnectMainDB 発生箇所3 : 3024 エラー内容 : ファイル 'C:¥SurveyPlan7¥DataFile¥PlanJob000000.MDB' が見つかりません でした。 OS Version : Windows 7 (Ver 2-6.1 Build 7601) この情報を(株)地理情報リサーチ(info@gi-r.com)に送信してもよ ろしいですか?。 < SurveyPlan7 をより効率的にご利用いただくために障害情報の送信 にご協力下さい。> 「障害情報以外の情報を収集/送信する事は致しません。 障害情報をその修正/改良以外の目的で使用する事は致しません。 Т (tu)(Y) いいえ(N)

これはエラー発生の原因を弊社((株)地理情報リサーチ)にメール送信し、その対策のために使用するもの です。

障害情報及びその要因となる情報以外を収集/送信する事は致しませんし、障害情報を本システムの 修正/改良以外の目的で使用する事は致しません。

メールが使用出来ない環境にある場合等、やむを得ない場合以外はなるべく「はい(Y)」を 選択して下さい。

※ 「Windows Live メール」、「Outlook Express」以外のメールソフトをご使用の場合は、送信出来ない (エラーになる)場合があります。

その場合は画面のハードコピー等の情報をメール等で送信して頂ければ、有り難く存じます。 <画面のハードコピーの方法はこちら>

※ 通常のメール送信と同じ処理を行うため、送信したメールはお客様がご使用のメールソフトに残ります。 送信したメールの内容が障害情報のみである事をご確認頂けます。 エラーが複数回発生した場合を想定し、Excelファイルにその情報を書き込んでいるため、Excelファイルを

添付しています。
2.「はい(Y)」を選択して頂くと、お客様の使用環境によって異なりますが、お客様がご使用のメールソフト から下記のメッセージが表示される場合があります。

なるべく「送信	(S)」を選択して頂く	よ うお願いします。
---------	-------------	------------

Windows Li	ve メール
	プログラムがユーザーの代わりに次の電子メール メッセージを送 信しようとしています。
宛先:	info@gi-r.com
件名:	SurveyPlan7 エラー情報送信
	メッセージを送信しますか?
	送信(S) 送信しない(D)

またお客様が使用しているウィルス対策ソフトにより異なりますが、ウィルス対策ソフトから警告 メッセージが表示される場合があります。

その場合もなるべく「許可」等を選択して頂くようお願いします。

3. その後、下記緊急終了確認画面が表示されます。

ここで「はい(Y)」を選択すると、システム起動後に変更/編集したデータを破棄しSurveyPlan7を終了します。

エラー発生前の正常な状態に戻る事が出来る可能性があります。

但し、既にデータベースファイルに保存されたデータについては破棄されず、エラー発生の原因がデータ 内容に起因するもので無い可能性もありますので、再起動後に再度エラーが発生する場合があります。

エラー発生による緊急終了?
本システムを起動後に変更/編集したデータを全て破棄して緊急終了 しますか?
はい(Y) いいえ(N)

ここで「いいえ (N))」を選択すると、そのまま作業を続ける事が出来ます。

但し、エラーの要因はそのまま残りますので、再度エラーが発生したり、データが壊れ、事態が悪化する 可能性が高まります。 弊社では上記「障害情報」メールを受信した場合、直ちにその原因を調査し、その原因がわかり次第、 修正したプログラムを弊社ホームページにアップロードし、お客様にその旨メール等でお知らせします。

上記の「障害情報送信」メッセージが表示されない場合でも、お客様がご使用頂いて、不備な点や 改良/追加して欲しい機能等が有りましたら遠慮なく info@gi-r.com までメールを下さるようお願いします。

4. エラーが発生し本システムが正常に動作しなくなった場合、次の3とうりの復旧方法があります。

① バックアップデータがある場合は「データベースのリストア(復帰)」により、データベースをバック アップした時点まで戻る事が出来る可能性があります。

<u><データベースのリストア方法はこちら></u>

② 全てのデータをインストール/アップデート直後の状態に復旧する場合は「システムの復旧」により ダウンロード/セットアップ直後の状態に戻す事により復旧出来る可能性があります。

この場合ダウンロード/セットアップ後にお客様が編集したデータはなくなります。

<u> <システムの復旧方法はこちら></u>

③ ダウンロード/セットアップを行う事により、ほとんどの場合正常に動作するようになります。

この方法では、それまでに保存したデータをアップデート後のデータとして移行出来ます。

但し、エラーの要因が保存されたデータにある場合は、移行したデータを選択した時にまたエラーが発生 する可能性がありますので、そのデータ使用しないで下さい。

また、エラーの発生が、ダウンロード/セットアップ直後に発生する場合は、セットアップ(インストール) 方法に問題があると考えられますので、その場合はエラー発生状況の詳細をメール等で弊社までご連絡下さる ようお願い致します。

<ダウンロード/セットアップ方法はこちら>

- 5. 画面のハードコピーの方法
- ① ハードコピーを取りたい画面を表示(この場合エラー情報画面)
- 2 キーボードの「PrtScn」キーを押下。
 ※「PrtScn」キーを押下すると、画面(ディスプレイ)全体がコピーされます。
 コピーしたい画面(この場合エラー情報画面)のみをコピーしたい場合は「Alt」キーと「PrtScn」キーを同時に押下します。
- ③ 画像編集ソフト(Windowsl標準で入っている「ペイント」)を起動。
- ※「ペイント」は「Windows タート」->「すべてのプログラム」->「アクセサリ」の中にあります。 Windows8の場合はペイント」で検索します。
- ④ 「貼り付け」をクリック、ハードコピーした画面が表示されます。
- ⑤ 「名前を付けて保存(A)」で適当なファイル名を付けて、保存場所がわかる場所に保存します。
- ⑥ 保存した画像ファイルを info@gi-r.com までメールで送付して下さい。 エラー発生状況も教えて頂ければ、なお有り難く存じます。

Survey Plan

測量設計積算システム

操作マニュアル

初		版	1995年 7月 10日	Ver5
第	2	版	2004年 4月 15日	Ver6
第	3	版	2005年10月 1日	
第	4	版	2007年 6月 1日	
第	5	版	2010年 6月 1日	
第	6	版	2014年 1月 15日	Ver7
第	7	版	2014年 8月 26日	

【販売元/開発元/問合せ先】

(株)地理情報リサーチ

70185601

秋田県大館市十二所字大平117

TEL 0186-52-3753

FAX 0186-52-2313

E-Mail: <u>info@gi-r.com</u>

URL <u>http://wwgi -r.c.om/</u>

※問合せ 技術管理室/高橋 (なるべく電子メールかFAXでお願いします。)
 Copyright(c) 1995-2014 (株)地理情報リサーチ